

9.24 土木学会 80 年年表

本年表は学会創立の1914(大正3)年から1993(平成5)年度末までの80年間における「土木学会の動き」を6項目に分類整理したものに、土木関連(内外)の主要な動きを「土木一般」で、また社会(内外)の主な出来ごとを「社会一般」として掲げ参考に供した。

土木学会関係の年表作成の原資料は『土木学会誌』の記事、総会議案書、『土木工学ハンドブック』の年表、過去の略史年表および『土木学会の80年』の本文記事である。したがって、これらに記載されていない事項には触れていない。

出版物に関しては第9編9.22に一括して示し、定期刊行物にかかわる情報のみを組織・運営欄に示した。

年表の肉付けとなる主要記事の大半は『土木学会の80年』に記載されており、本文の中にも主要事項は略年表で整理してあるので参考にされたい。なお、本年表末に「土木一般」ならびに「社会一般」で参考にした文献を掲げた。また、膨大な資料のため一部の表現に不統一、不十分な表現が見られることをお詫びするとともに、各位の忌憚のないご意見、誤り・記載もれ等の情報をお待ちしている。

参 考 資 料

明治1(1968)年~大正2(1913)年間の略年表

| 年 | 主 要 項 目 |
|------|---|
| 1868 | ●明治と改元 ●治河使を設置 |
| 1869 | ●江戸を東京と改称 ●民部省職制を定め土木ほか4司を置く ●治河使を廃し民部省土木司が水利行政を所掌 ●北海道に開拓使設置 |
| 1870 | ●工部省設置、鉱山、製鉄、鉄道、燈台、電信の5掛を民部省より移管 |
| 1871 | ●民部省廃止、土木司は工部省へ移管 ●樺太に開拓使設置 |
| 1873 | ●工部省工学寮工学校設立(6年制・全寮)7専門学科 |
| 1874 | ●1973内務省設置に伴い土木はじめ6寮と測量司を設置 |
| 1876 | ●札幌学校開校式、札幌農学校と改称 |
| 1877 | ●工部省、工学寮を廃し付属の工学校を工部大学校と改称、鉄道ほか9局設置 ●内務省に土木ほか6局設置 ●東京開成学校と東京医学校を合併、東京大学と改称、理学部に工学科設置(78.土木専攻の3名の理学士を出す) ●東京数学会社、化学会設立 |
| 1879 | ●11.18.工部大学校第1回卒業生7科23名(土木3名)により工学会設立(1930.日本工学会と改称) |
| 1880 | ●日本地震学会設立、会員117名(うち外人80名) |
| 1881 | ●11.機関誌『工学叢誌』(月刊84.より工学会誌と改題)第1巻創刊,1921.10.の廃刊まで40輯452巻を刊行,土木学会誌創刊(1915.2)以前の土木の主要記事を取録 |
| 1883 | ●東京専門学校(後の早稲田大学)土木工学科を設置、公募するが不振で84年に募集中止 |
| 1885 | ●工部省廃止、工部大学校は文部省へ移管 ●東京大学に工芸学部設置、理学部より土木はじめ5科を移す ●日 |
| | 本鉱業会設立 |
| 1886 | ●内務省、土木監督区署官制を公布 ●東京大学工芸学部と工部大学校が合併、帝国大学工科大学となる(古市公威が内務省土木局長兼務で初代学長(1986~98)となる ●造家学会創立(会員26名,97.建築学会と改称) |
| 1887 | ●札幌農学校に土木主体の工学科新設(94.廃止,97.高程度度の土木工学科を設置し1918年北大土木専門部となる) |
| 1888 | ●日本最初の博士25名誕生、工学は5名(土木は松本花一郎、古市公威、原口要の3名) ●電気学会創立 |
| 1890 | ●治水協会設立、『治水雑誌』発刊(1894.解散) |
| 1892 | ●鉄道庁を内務省より通信省に移管(93.鉄道局と改称) |
| 1894 | ●第三高等学校工学部設置、土木、機械の2科(96.廃止) |
| 1895 | ●94.8.1の日清戦争終了、台湾を併合し総督府設立 |
| 1897 | ●京都帝国大学設立、理工科大学は土木、機械の2科・第五高等学校工学部設置、土木、機械の2科、1906熊本高工となる ●機械学会創立 |
| 1898 | ●帝国鉄道協会創立、鉄道技術者の多くが工学会を退会、工学会改組の遠因となる ●工業化学会設立 |
| 1905 | ●名古屋高工設立、土木ほか3科 |
| 1906 | ●仙台高工設立、土木ほか2科,1912.東北帝大工業専門部と改称するが21.もとの校名へ戻る。 ●鉄道国有法公布 ●南満洲鉄道(株)設立 |
| 1907 | ●東北帝大を新設、札幌農学校を東北帝大農科大学とする(農科大学と理科大学) |
| 1910 | ●韓国を併合、朝鮮総監府設置 |
| 1911 | ●九州帝国大学工科大学開設、土木工学科ほか5科を設置 |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|---------------|---|---|--|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1914 (大正3) | 9.15 会 長 古市 公威 副会長 沖野 忠雄 野村龍太郎 12. 末 会員数 443名 | 3.30 古市公威、土木学会創立の件について28名に書面を發する 4.6 古市公威、工学会事務所に17名を招請し定款および規則の草案を作製するための特別委員7名を選出 5.29~31 設立有志者総会の決議を基に趣意書ならびに定款および規則案を600余通發送、発起人承諾者380余名 6.21 設立有志者の会開催、創立総会について協議 8.10 設立有志者7名の名義にて発起人総会開催の通知 11.24 文部大臣より社団法人土木学会設立の許可 12. 末 寄附金430円を受領(発起人承諾者) | 4.12,17,22,26の各日 特別委員会(古市公威ほか6名出席) 5.5 設立有志者総会(定款および規則草案提出) 5.17 設立有志者総会(発起人勧誘を決議) 9.15 発起人総会(築地精養軒)土木学会定款および土木学会規則を可決 9.22 役員会(法人設立に関して協議) 11.19 役員会(会費等について協議、正員12円に決定) | 12.10 役員会 |
| 1915 (大正4) | 1.30 会 長 古市 公威 副会長 沖野 忠雄 野村龍太郎 12. 末 会員数 1535名 | 2.17 学会の英語名称を“Civil Engineering Society”と決定 2. - 学会誌発刊、第1巻第1号(縦組で341頁、表紙に目次、役員写真、本文目次、創立経過紹介、論説、報告、会務報告より構成)、隔月刊 3.24 古市・沖野両博士還暦記念資金募集委員会より15600円の寄附金(尚博士還暦記念基金) 7.9 福岡県三井郡千歳治水会長關虎太より50円の寄附金 *.- 事務所を京橋区山城町工学会内におく | 1.30 第1回定時総会(築地精養軒) 5.8 第1回講演会「土木工事に応用する衛生の必要」三宅秀吉、「隧道の建設について」瀧山與 9.25 講演会「土地収用法について」岡野敬次郎、「倫敦港改良工事について」福田次吉 9. - 万国工業大会(サンフランシスコ)に論文提出、沖野忠雄「本邦河川改修特に淀川改修工事について」 *.- 役員会(この年12回開催) | 9.23 会誌編集委員長に柴田健作を委任(初の委員委嘱) |
| 1916 (大正5) | 1.22 会 長 沖野 忠雄 副会長 石黒五十二 古川阪次郎 12. 末 会員数 1727名 | 1.14 手塚善君より寄附金(金額不明) 1.22 定時総会において土木学会規則を審議、第20条を修正、他はすべて原案通り可決 1.31 事務所の移転(東京市麴町区有楽町1丁目1番地に変更)を文部大臣に申請 2.25 文部大臣より事務所移転の許可書受領 3.1 事務所を東京市麴町区有楽町1丁目1番地に移転 | 1.22 定時総会(築地精養軒) 5.6~7 第1回視察旅行(足尾銅山) 6.10 講演会「宇治川電気株式会社第一期水路工事について」永井専三、「印度と南阿」坂井鳴海 10.22 講演会「日本における水力について」森忠蔵、「日本経済財政について」田尻稲次 *.- 役員会(この年11回開催) | |
| 1917 (大正6) | 1.13 会 長 野村龍太郎 副会長 廣井 勇 古川阪次郎 12. 末 会員数 1856名 | | 1.13 定時総会(帝國鉄道協会) 5.5~6 視察旅行(日立鉱山) 6.22 臨時総会 6.22 講演会「潜航艇について(幻燈説明)」木原耿介 10.20 講演会「日本製鉄事業の将来における二大問題」今泉嘉一郎 *.- 役員会(この年11回、 | 5.3 工学会からの依頼により明治工業史編纂に関する委員会 5.15 東京市内交通調査委員会 5. - 農商務省鉱山局長からの照会による鋼質および鋼材の標準規格に関する調査 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---|--|
| *.- 仙石貢, 鉄道院総裁に 就任 | | 8.- パナマ運河開通(延長 81 km. 1904 年アメリカ工兵隊が 着工) 12.- 東京駅開業 | 1.- 桜島大噴火, 流出溶岩で 大隅半島と地続きとなる. 死者 35 人 7.- 第一次世界大戦勃発 |
| | | 3.- 猪苗代水力電気会社, 東 京田端発電所までの 225 km に 11 万 5 000 V の長距離送電開 始 (当時世界第 3 位の長距離送 電) | 1.- 日本, 中国に 21 カ条の 要求 |
| 11.12 東京土木建築業協会設 立 | | *.- カナダ, セントローレ ンス川上にケベック橋架設 (支 間 549 m のカンチレバー式ト ラス橋) | 6.- 日本郵船, 横浜-ニュー ヨーク間の航路 (パナマ運河経 由) 開設 |
| 6.6 古市公威, 工学会会長に 就任 *.- 国沢新兵衛, 満鉄理事 長に就任 | | 11.- 横浜港第二期埋立・陸 上設備工事を完了, 大栈橋竣工 *.- 東京市区改正事業終了 *.- 鉄道院, 房総西線鋸山 トンネル (全長 1 252 m) 完成 | 9.- 近畿, 東海, 関東, 東北 に大暴風雨. 東京湾に明治以降 最大の高潮. 全国で死者・行方 不明 1 324 人以上 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 臨時1回開催) | |
| 1918 (大正7) | 1.12 会長 石黒五十二 副会長 長谷川謹介 廣井 勇 12. 末 会員数 1964名 | | 1.12 定時総会(帝国鉄道協会) 5.4 講演会「水底隧道について」平井喜久松, 「せいしゅの研究」岡田武松 5.5 視察旅行(鉄道院房総線勝山付近における建設工事の状況) 6.22 講演会「米国における石炭船積設備について」山田隆二, 「交戦諸国陸軍飛行界の現勢」草刈思郎 10.26 講演会「石黒会長の視察談」, 「山崩れの学術的研究」脇水鐵五郎 *.- 役員会(この年10回, 臨時3回開催) | |
| 1919 (大正8) | 1.18 会長 白石 直治 副会長 原田 貞介 長谷川謹介 4.- 会長 廣井 勇 (会長白石直治急逝に伴い就任) 12. 末 会員数 2047名 | 1.18 会費および一時納付金の値上げを討議3月1日より次のとおり実施を決議, 会員12円を13円50銭(一時納付金120円) 准員9円(一時納付金80円), 学生員6円 4.10 故白石工学博士記念資金として, 遺族白石多士良(会員)より3000円の寄附金(故白石博士記念基金) 12.11 故山崎工学博士記念資金として, 同記念基金募集委員総代石黒五十二ほか5名より1560円の寄附金 | 1.18 定時総会(帝国鉄道協会) 3.15 臨時総会(帝国鉄道協会) 4.16 交通調査会, 鉄道協会, 土木学会の聯合編輯委員会 4.26 講演会「道路法について」佐上信一, 「米国見聞雑話—土塚堤の築造その他二三の事項について」白石多士良 5.12 視察旅行(相州横須賀軍港) 9.27 講演会「北米合衆国の自動車輸送ならびに道路について」牧野雅楽之丞 11.8 講演会「北米合衆国最近の水力」岡崎文吉 *.- 役員会(この年11回, 臨時1回開催) | 3.28 工業用材料ならびに機械類の形状, 寸法等, 統一に関する委員会 |
| 1920 (大正9) | 1.17 会長 仙石 貢 副会長 中島 銳治 原田 貞介 12. 末 会員数 2298名 | 1.17 規則を改正 5.11 故白石博士功績記念資金として, 故白石博士記念資金募集実行委員会より10350円の寄附金(故白石博士記念基金) 6.3 役員会において廣井勇君の寄附金の名称を廣井博士寄附土木賞牌基金とすることを決議 | 1.17 定時総会(帝国鉄道協会) 5.1 講演会「隧道の掘削について」鶴田勝三 5.15~16 視察旅行(桂川水力電気会社および東京電燈会社の土木工事と発電所) 11.16 講演会「野戦における水道」小泉親彦, 「欧米の水力工事」森忠蔵 *.- 役員会(この年11回開催) | 2.- 大阪市内外高速鉄道調査会 9.10 東京及び横浜付近交通調査会 |
| 1921 (大正10) | 1.15 会長 原田 貞介 副会長 吉村 長策 中島 銳治 12. 末 会員数 2411名 | 12.- 団体会員として工学会に入会 | 1.15 定時総会(帝国鉄道協会) 4.2 講演会「紐育市高速鉄道工事について」伊藤常夫, 「電力統一について」洪沢元治 5.14~15 視察旅行(鉄道省上越線工事) | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|--|---|
| 7. 一 会長石黒五十二, イギリス土木学会 (ICE) 訪問 | | 4. 一 丹那トンネル起工 8. 一 近畿日本鉄道(株), 生駒山ケーブルカー開通 (わが国初) 10. 一 富士電気鉄道(株), 空地川に野花南発電所完成 (出力: 5 100 kW で本格的なダム式発電所の最初) | 8. 一 米騒動全国的に勃発 8. 一 スペイン風邪世界を襲う. 世界で 2 500 万人, 日本でも 35 万人が死亡 11. 一 第一次世界大戦終了 12. 一 大学令・高等学校令公布 |
| 3. 10 道路改良会設立 | | 3. 一 鉄道院, 中野-東京-渋谷-上野間の「の」の字運転開始 * 一 都市計画法, 道路法, 地方鉄道法公布 * 一 スペイン, マドリードに地下鉄開通 | 10. 一 アメリカで全国禁酒法成立 (翌年施工) |
| * 一 本年度より土木賞設置, 第 1 回受賞者, 物部長穂 4. 24 古市博士男爵 (1919.12) 受爵連合祝賀会 (14 学協会共催, 小石川植物園) 9. 一 石丸重美, 鉄道次官に就任 12. 5 日本工人倶楽部発会式 | | 5. 一 鉄道院が鉄道省となる 9. 一 鉄道院, 羽越本線折渡トンネルで初のシールド工法採用 (1924 年完成) * 一 台湾で嘉南大圳ダム完成, 八田與一の功績 | 1. 一 国際連盟発足 3. 一 戦後恐慌はじまる 5. 一 初のメーデー 10. 一 第 1 回国勢調査 11. 一 明治神宮完成 |
| 12. 3 ワデル氏来日, 講演会 * 一 林桂一がドイツ (スプリンガー) からドイツ語の本を初出版 | | 4. 一 工事中の丹那トンネル東口で崩壊事故. 33 人埋没. 死者 16 人 4. 一 公有水面埋立法, 軌道法, 航空法公布 8. 一 鉄道省, 釧路本線西和田-根室間開通し滝川-根室間全 | 4. 一 改正会計法公布, 度量衡法改正公布, 市制・町村制改正公布 10. 一 メートル法の改正国際条約に調印 11. 一 原敬首相刺殺される |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|--|--|--|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 10.4 講演会「欧米における都市計画の現況」笠原敏郎, 「支那漫遊雑談」那波光雄 *.- 役員会 (この年9回開催) | |
| 1922 (大正 11) | 1.14 会 長 古川阪次郎 副会長 中山秀三郎 吉村 長策 12. 末 会員数 2 532 名 | 2.22 大正 11 年 2 月発行の会誌より 1 部 2 円で分与を決議 4.15 原田貞介君より金 3 000 円の寄附金 (原田博士記念基金) 12.13 廣井博士還暦記念祝賀実行委員会より 7 000 円の寄附金 (廣井博士還暦記念基金) 12.26 小川梅三郎君より 1 000 円の寄附金 (小川博士還暦記念基金) | 1.14 定時総会 (帝国鉄道協会) 4.15 講演会「北米大湖地方と大西洋との水路の連絡」鈴木雅次, 「丹那隧道について」青木勇・山田亀治 5.13~14 視察旅行 (鉄道省熱海線工事) 5.31 連合講演会「地下鉄道について」八田嘉明, 「道路の話」牧野雅楽之丞 *.- 役員会 (この年 11 回, 臨時 2 回開催) | 10.12 金属材料抗張試験片特別委員会 |
| 1923 (大正 12) | 1.20 会 長 中原貞三郎 副会長 丹羽 鋤彦 中山秀三郎 12. 末 会員数 2 623 名 | 1.20 規則を改正, 会費を 50% 値上げ 2.10 富田武夫君より 500 円の寄附金 (故富田博士記念基金) 10.14 西尾辰吉君より 100 円の寄附金 10.14 会誌第 9 巻第 5 号, 印刷所震災で全焼のため印刷不能につき発行延期を決議 10.26 「帝都復興ニ関スル土木学会ノ建議書」を内閣総理大臣・逓信大臣・鉄道大臣・帝都復興院総裁・東京府知事・東京市長・神奈川県知事・横浜市長に提出 | 1.20 定時総会 (帝国鉄道協会) 3.24 講演会「港湾と航路標識」石川源二, 「英国における路政の沿革と道路の発達」牧彦七 5.5~6 視察旅行 (利根川下流改修工事および銚子築港) 6.30 講演会「東京市の道路」竹内季一 12.8 帝都復興聯合協議会の土木学会代表として岡野昇, 丹羽鋤彦, 比田孝一君を推薦 *.- 役員会 (この年 9 回, 臨時 2 回開催) | 2.20 工業品規格第一調査会特別委員会 10.17 帝都復興調査委員会 |
| 1924 (大正 13) | 1.19 会 長 中山秀三郎 副会長 岡野 昇 丹羽 鋤彦 12. 末 会員数 2 659 名 | 2.12 故石黒五十二君記念資金募集実行委員会より 7 000 円の寄附金 (故石黒工學博士記念基金) 2.- 本年 2 月発行の会誌第 10 巻第 1 号から組み方を縦組から横組へ変更, 加えて「かな」が「かたかな」から「ひらがな」に変更 3.10 賛助員川崎寛美君より, 3 000 円の寄附金 (震害調査費に充当) 7.18 近藤光之君より 4 300 円の寄附金 (故近藤工學博士記念基金) | 1.19 定時総会 (帝国鉄道協会) 3.1 講演会「震災に関する被害ならびに応急処置の概況」小川織三・加賀山学・曾山親民 4.11 講演会「東京都市計画土地区画整理について」直木倫太郎, 「東京市道路橋梁に対する震害被害および応急概況について」竹内季一 4.27 視察旅行 (村山貯水池および境浄水場) 7.2 講演会「帝都復興計画について」太田円三, 「横浜港の震害と復旧工事」安芸杏一 11.15 講演会「米国における隧道工事について」堀越清六, 「米国における市街橋雑感」谷井陽之助 *.- 役員会 (この年 11 回開催) | 1.16 震害調査委員会 1.19 東京都市内外高速度鉄道調査委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---|---|
| | | 通 9. - ベルリンに世界初の高速自動車道「アプス」完成 | |
| 8. - (社)工学会、個人会員を廃し12学会の連合体となる 10.12 日本港湾協会設立 | | 9. - 内務省土木試験所設置 11. - 鉄道省、函館-稚内間(函館本線)全通 *.- 東京市、三河島下水道処理場運転開始 *.- スイスとイタリア国境にシンプロン第二鉄道トンネル(延長:19 823 m)完成 | 7. - 日本共産党結成 7. - 帝国ホテル(ライト設計)完成 |
| | | 6. - アラスカ鉄道が完成 9. - 帝都復興院設置 12. - 特別都市計画法公布(関東大震災による焼失区域を区画整理し近代都市への脱皮を図る) *.- 函館市に笹流ダム(我が国初のバットレスダム)完成 | 2. - 東京に丸ビル完成 9. - 関東大地震(M=7.9)発生。全壊家屋12万8 266戸、焼失家屋44万7 128戸。死者9万9 331人 |
| *.- 仙石貢、鉄道大臣に就任 *.- 直木倫太郎、復興局長官に就任 *.- 岡野昇、鉄道次官に就任 *.- 鷹部屋福平がドイツ(スプリンガー)から出版、1925フランスからも出版 | | 2. - 鉄道省、工事中の丹那トンネル西口で崩壊事故。死者16人 3. - 宇治川電気橋、志津川ダム(H=53.4 m)完成(大ダム時代の幕開け) 4. - 北海道大学に土木工学科設置 7. - 鉄道省、羽越本線全通し日本海岸縦貫鉄道完成 10. - 内務省、荒川放水路完成 10. - 物部長穂が土木学会誌に地震上下動に関する考察並びに振動雑論を發表 | 8. - 甲子園球場完成 |

(社) 土 木 学 会 の 動 き

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-------------------------|---|--|---|---|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1925 (大正14) | 1.17 会 長 中島 鋭治 副会長 市瀬恭次郎 岡野 昇 2. - 会 長 日下部辨次郎 (会長中島鋭治急逝 に伴い就任) 12. 末 会員数 2 741 名 | 4.20 故坂田貞明君記念事業取 扱者の井上秀二君より1 250 円 の寄附金(故坂田貞明君記念基 金) 4.20 中島清夫君より3 000 円 の寄附金(故中島工学博士記念 基金) 9.24 故岡崎芳樹君記念資金募 集実行委員総代の眞田秀吉君よ り2 000 円の寄附金(故岡崎工 学博士記念基金) | 1.17 定時総会(帝国鉄道協 会) 3.14 講演会「橋梁の基礎工事 および地下鉄道について」デイ ・ヒューズ、「工事状況の映画 化」金森誠之 5.16~17 視察旅行(清水港) 7.8 講演会(題目、講師不 明) 11.6 講演会(題目、講師不 明) *.- 役員会(この年10回、 臨時3回開催) | 2.- 復興局長官より、土木工 事災害に対する調査の依頼あり、同年4月経費15 000 円で 受託(会員頒布を条件) |
| 1926 (大正15) (昭和1) | 1.16 会 長 吉村 長策 副会長 那波 光雄 市瀬恭次郎 12. 末 会員数 2 826 名 | 6.16 本会の功労者に対し会誌 に肖像および伝記を掲載するこ とを決議、最近発行の会誌に故 常議員太田円三君(復興局土木 部長)の掲載決議 12.24 故太田円三君遺族弔慰 金募集取扱者の平山復二郎君よ り2 500 円の寄附金(故工学士 太田円三君記念基金) | 1.16 定時総会(帝国鉄道協 会) 4.8 講演会「獨逸の河川につ いて」辰馬鎌藏 5.15~16 視察旅行(利根川お よび江戸川改修工事その他) 6.16 講演会「船渠について」 乾慶蔵 11.2 臨時講演会「大都市の恐 威」レオナルド・エル・スミス 11.30 講演会「東京より観た る欧米の公園」井上清 *.- 役員会(この年10回、 臨時2回開催) | *.- 1929年開催予定の万国 工業大会準備協議委員として中 山秀三郎、廣井勇両君を依頼 |
| 1927 (昭和2) | 1.15 会 長 市瀬恭次郎 副会長 井上 秀二 那波 光雄 12. 末 会員数 2 957 名 | 1.30 事務所を東京市麴町区水 楽町1丁目1番地丸の内ビル ディング第460号室に移転 2.17 事務室賃貸に関する三菱 地所部との契約書を承認 7.20 会誌に土木工事関係の広 告を掲載し、増収を計ることを 決議 12.16 関西支部設置(支部長 眞田秀吉) | 1.15 定時総会(帝国鉄道協 会) 3.29 講演会「欧米の道路を視 察して」平川保一 4.28~30 視察旅行(大井ダム および鉄道省木曾川橋梁工事そ の他) 6.28 講演会「南米ブラジル旅 行談」谷口三郎 11.3~7 第1回連合工学会 (工学会ほか12学協会連合開 催)、市瀬会長講演「明治維新 以来我国土木施設の一歩」 11.4 工学会大会土木部会講演会 (1日目) 11.5 工学会大会土木部会講演会 (2日目) *.- 役員会(この年11回、 臨時1回開催) | |
| 1928 (昭和3) | 1.21 会 長 岡野 昇 副会長 中川 吉造 井上 秀二 12. 末 会員数 3 034 名 | 1.25 編輯委員増員(6名から 7名)を決議 7.8 事務所を東京市麴町区八 重洲町1丁目1番地(時事ビル 内)に移転 10.30 会誌を昭和4年度第15 巻第1号より月刊とすることを 決議 10.30 日本ポルトランドセメ | 1.21 定時総会(生命保険会社 協会) 3.30 講演会「鉄道防雪施設に ついて」鷲谷瀧雄 5.12~15 視察旅行(北陸地方 庄川水電および日本電力発電工 事) 6.26 講演会「ミシシッピー河 における1927年の大水害およ | 3.22 万国工業会議の委員とし て中川吉造、大河戸宗治両君を 選出 9.- 混泥土調査会 9.- 用語調査会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|--|
| *.- 物部長穂, 構造物の振動殊に耐震性の研究で学士院恩賜賞受賞 | | 11.- 鉄道省, 神田-上野間の高架線を完成し山手線の環状運転開始 11.- 東京帝国大学に地震研究所設置 *.- 京都市, 活性汚泥法によるし尿処理施設完成 | 1.- 日ソ基本条約締結 3.- 普通選挙法案を修正可決 4.1 治安維持法公布 |
| *.- 八田嘉明, 鉄道次官に就任 5.- 工学会編: 明治工学史・鉄道編出版 | | 12.- 内務省復興局, 永代橋完成 (1924年着工) *.- 内務省, 宇治川三栖洗堰完成 | 12.- 大正天皇没, 昭和と改元 4.- 陸地測量部, 日本全土の5万分の1地形図の内地測量完了 *.- 東京に円タク登場 |
| | | 3.- 東京府, 村山貯水池を完成 3.- 内務省, 大河津分水完成 (直後に可動堰が崩壊. 1931年6月修築完了) 8.- アメリカとカナダを結ぶナイアガラ川横断の平和橋完成 11.- アメリカ, ハドソン川を潜りマンハッタンとジョージシティを結ぶホランドトンネル完成 12.- 東京地下鉄(浅草-上野間 2.6 km)を開業 (日本最初の地下鉄) | 3.- 金融恐慌はじまる 3.- 丹後地震. 京都府下での死者 3 589 人 5.- リンドバーグ (米) が大西洋無着陸飛行に成功 *.- 東北地方に冷害 |
| 2.21 イギリス土木学会百年記念式に本会代表 (ロンドン駐在永田民也) 参加 | 1.28 関西支部発会式 (来賓ほか会員 400 名出席) および第 1 回総会を大阪市で開催, 創立基金 2 万 7 000 円を募金し関西支部維持基金として本部が保管 | 3.- 内務省復興局, 清州橋完成 (これをもって隅田川六大橋一相生, 言問, 駒形, 蔵前, 清州, 永代一すべてを完成し橋梁技術に画期的進歩) 4.- 日本大学に土木工学科設置 (私立で最初) *.- フランス, E. フレシネーがプレストレストコンク | 3.- パリー-ニューヨーク間に電話開設 11.- 第 124 代天皇裕仁, 即位礼挙行 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---------------|---|---|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | ント同業会技術会より混凝土調査会調査費用として寄附金 | びその善後策について」金古久次 *、- 役員会（この年10回、臨時1回開催） | |
| 1929 (昭和4) | 1.19 会 長 田辺 朔郎 副会長 八田 嘉明 中川 吉造 12. 末 会員数 3 116 名 | 1. - 会誌が隔月から毎月発行となる（第15巻第1号から） 6.4 事務所を東京市麴町区丸の内2丁目18番地に変更登記 6.27 故廣井工学博士記念事業委員長中山秀三郎君より英和工学辞典著作権の無償譲渡ならびに金2000円の寄附金（著作権管理費として）（故廣井工学博士記念基金に編入） 12.15 本邦土木工事に対する功労者ファン・ドールン氏の銅像建設計画の発起者になることおよびそれに関連し、リンドウ氏に対し、感謝状を贈呈することを承認 12.15 明治初年以來、本邦土木工事に対する功労者の伝記を会誌に登載することを決議 | 1.19 定時総会（帝国鉄道協会） 3.25 講演会「和蘭における世界的土木事業について」森田三郎、活動写真「隅田川橋梁復興の実況」 4.28~29 視察旅行（京阪地方における土木工事その他） *、- 役員会（この年11回開催） | 6.23 万国工業会議論文委員として田中豊君を推薦 |
| 1930 (昭和5) | 1.18 会 長 中川 吉造 副会長 眞島健三郎 八田 嘉明 12. 末 会員数 3 210 名 | 1. - 土木学会誌の月刊化決定 | 1.18 定時総会（帝国鉄道協会） 5.10~11 視察旅行（鉄道省上越線清水隧道工事ほか） 5.27 講演会「軌近における平面交叉分離（Grade Separation）について」川口利雄 9.26 座談会「東京市の下水道について」 *、- 役員会（この年10回開催） | |
| 1931 (昭和6) | 1.17 会 長 那波 光雄 副会長 前川 貫一 眞島健三郎 12. 末 会員数 3 196 名 | 8.20 事務所を東京市麴町区丸の内1丁目6番地1（海上ビルディング5階500号室）に移転 | 1.17 定時総会（帝国鉄道協会） 3.21~22 視察旅行（伊豆地方清水地震害状況） 4.14 講演会「赴戦江水電工事について」松村種雪 5.18 座談会「各種堰堤について」 7.15 座談会「請負について」 10.7 講演会「軌近における欧米諸国の道路について」藤井眞透 10.14 座談会「軌近における獨逸構造界について」 10.31~11.2 応用力学大会（本会ほか4学会連合主催） *、- 役員会（この年10回開催） | 3.5 世界動力会議大堰堤国際委員会日本国内委員会 5.26 日本工学会申出に係る用語統一調査委員会に委員2名を選出 8. - 土木建設士法案調査委員会 9. - 鉄筋コンクリート標準示方書を初制定 |
| 1932 (昭和7) | 1.11 会 長 名井 九介 副会長 大河戸宗治 | 9.9 定款および規則を改正。名誉員、特別員設置 | 1.11 定時総会（帝国鉄道協会） 4.5~9 第2回工学会大会、本 | 9. - 維新以前日本土木史編纂委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---|--|
| | | リートの特許 | |
| <p>4. - 工学会編：明治工業史・土木篇出版</p> <p>5. - 農業土木学会設立</p> <p>5.14 ウィリアム・ハバート・パー氏来日，講演会</p> <p>10.29～11.7 万国工業会議（主催工学会）</p> | | <p>9. - 小牧ダム（富山県庄川，$H=79.2$ m）完成，わが国初の耐震設計）</p> <p>*. - 早強セメントの製造開始</p> <p>*. - スイス，チューリッヒ工科大学内にIABSE設立</p> | <p>9. - 東京一下関間に特急「富士」「さくら」が登場</p> <p>10. - ニューヨーク株式市場大暴落（暗黒の木曜日）</p> <p>10. - 世界恐慌はじまる</p> |
| <p>3. - 工学会が日本工学会と改称</p> <p>12.15 万国工業会議の「レゾリューション」に関する委員会の本会代表として中川吉造会長を推薦</p> <p>*. - 古市公威，ICE，ASCEの名誉会員に推挙</p> | | <p>3. - 宮城前広場で帝都復興完成式典挙行</p> <p>10. - 内務省，利根川，荒川，淀川の改修工事完成（1900年着工）</p> <p>*. - スイス，マイヤールによりサルギナトーベル橋架設</p> | <p>1. - ロンドン海軍軍縮会議</p> <p>*. - 昭和恐慌</p> |
| <p>10. - オランダ土木技師コルネリス・ヨハネス・ファン・ドールン氏の銅像竣工，猪苗代湖畔にて除幕式，那波会長列席祝辞</p> <p>10.9 久保田敬一君の鉄道次官就任祝賀会</p> <p>12. - 工学会編：明治工業史（全11編）の出版を完了</p> | | <p>4. - 国立公園法，自動車交通事業法公布，電気事業法改正公布</p> <p>5. - マンハッタンとニュージャージーの間，ハドソン川に世界最長（1 067 m）の吊橋ジョージワシントン橋完成</p> <p>6. - 内務省，信濃川補修工事（大河津分水工事）完成（1927年破壊の再工事）</p> <p>8. - 鉄道省，清水トンネル（延長9 704 m）完成，1922年着工）</p> <p>8. - 羽田の東京国際飛行場開設</p> | <p>5. - ニューヨークにエンパイアステートビルディング（102階，高さ375 m）完成</p> <p>8. - 揚子江の大洪水で230万人が家を失い，8 000人が死亡</p> <p>9. - 柳条溝事件，満州事変</p> <p>11. - パナマ運河が大規模な地すべりで不通となる</p> |
| <p>5. - 日本水道協会設立</p> <p>12.28 日本学術振興会設立</p> | | <p>3. - オーストラリア，シドニー・ハーバー橋（最大支間503 mの鋼アーチ橋）架設</p> | <p>1. - 上海事変起こる</p> <p>3. - 満洲国建国宣言</p> <p>5. - 5.15事件勃発，青年将</p> |

| 年 | 会副会 員 長 長 数 | 組 織・運 営 | 事 業 | |
|---------------------------|--|---|--|--|
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | | | | |
| | 前川 貫一 12. 末 会員数 3 210 名 | | <p>会代表副会長 大河戸宗治「鉄筋コンクリートの将来について」講演</p> <p>4. 6 工学会大会土木部会講演(1日目)</p> <p>4. 7 工学会大会土木部会講演(2日目)</p> <p>4. 8~9 (工学会大会) 通俗講演会「最近の満蒙における鉄道について」根橋楨二</p> <p>4. 28~29 視察旅行(省線大阪改良工事, 大阪市営地下鉄道工事ほか)</p> <p>6. 7 講演会「将来戦における都市防衛と建造物について」山内静夫</p> <p>11. 4 臨時総会(帝国鉄道協会)</p> <p>*. - 役員会(この年9回, 臨時1回開催)</p> | |
| 1933 (昭和8) | 1. 20 会長 真田 秀吉 副会長 米元 晋一 大河戸宗治 12. 末 会員数 3 159 名 | <p>1. 20 定時総会において古市元会長を名誉員に推挙</p> <p>1. 27 故坂本雅雄君遺族より, 500 円の寄附金(故坂本雅雄記念基金)</p> <p>5. 23 地方委員制度を設け, 各地方の報告, 入会者の勧誘等を依頼することとし, 委員の人選を役員会で協議</p> <p>5. - 故川上浩二郎君遺族より 1 000 円の寄附金(故川上浩二郎博士記念基金)</p> <p>11. 30 定款を一部改正, 正員の資格を緩和</p> <p>*. - 学会活動の沈滞打破のため改革運動起こる. 振興委により 23 項目が理事会に提案され実行に移される(会費値下げ 18 円→12 円, 委員会拡充, 事務改革など), 初代書記長 柴原龍児(~1937)</p> | <p>1. 20 定時総会(帝国鉄道協会)</p> <p>3. 4 座談会「満洲を聴く」</p> <p>3. 30 講演会「最近の満洲事情について」柴山兼四郎</p> <p>5. 6~7 視察旅行(熱海線泉越, 丹那の両隧道工事ほか)</p> <p>6. 27 講演会「北鮮の鉄道視察談」山田隆二, 「欧米の管見」田中豊, 「満洲視察談」木津正治</p> <p>10. 11 臨時総会(帝国鉄道協会)</p> <p>10. 28~29 視察旅行(東京府下大島)</p> <p>*. - 役員会(この年11回, 臨時2回開催)</p> | <p>1. 27 振興委員会</p> <p>5. - 創立 20 周年記念委員会</p> <p>6. 19 日本標準型鋼調査委員会</p> <p>6. - 日本工学会工業博物館建設委員会に本会代表として井上秀二君を選出</p> <p>6. - 日本工学会セメント試験方法調査委員会に本会代表として, 大河戸宗治, 吉田徳次郎, 野坂孝忠 3 君を選出</p> |
| 1934 (昭和9) 創立 20 周年 | 2. 15 会長 久保田敬一 副会長 草間 偉 米元 晋一 12. 末 会員数 4 492 名 | <p>3. 19 土木学会徽章制定を決定, 森井健介君にデザイン依頼</p> <p>7. 29 事務所を東京市麴町区丸の内 3 丁目 6 番地(旧ユニオン館)に移転(223 m²)</p> <p>12. - 学会誌創立 20 周年記念号</p> | <p>2. 15 通常総会(帝国鉄道協会)</p> <p>3. 24 見学会(川崎市東京電気株式会社工場, 明治製菓株式会社工場ほか)</p> <p>5. 12 見学会(山口貯水池)</p> <p>6. 9~11 視察旅行(鉄道省信濃川発電所工事ならびに新潟港)</p> <p>6. 26 講演会「近代建築様式について」岸田日出刀, 「テレビジョンについて」山本忠興</p> <p>7. 7 見学会(横浜港ならびに東京港埋立地)</p> | <p>2. 22 会館設立準備委員会</p> <p>3. 19 土木工學論文抄録編集委員会</p> <p>3. - 創立 20 周年記念土木工學論文編集委員会</p> <p>3. - 創立 20 周年記念土木学会誌編集委員会</p> <p>3. - 創立 20 周年記念講演委員会</p> <p>4. - 創立 20 周年記念会館に関する委員会</p> <p>5. - 創立 20 周年記念祝賀準備委員会</p> <p>10. - 関西地方風水害調査委</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|--|--|
| | | <p>7. - 自動車専用道路 熱海-箱根間 (20.8 km) 開通</p> <p>9. - 時局匡救土木事業はじまる</p> <p>10. - 名古屋市, 中川運河(全長 8 208 m) 完成</p> <p>10. - ソ連, ドニエプル川に世界最大のレーニン発電所完成 (1927 年 5 月着工)</p> <p>*. - オランダ, ゴイデル海締切工事 (延長 30 km, 1927 年着工) 完成</p> <p>*. - フランス, フレシネにより, プルガステル橋 (支間長 186 m で当時最長の鉄筋コンクリートアーチ橋) 架設</p> | <p>校が犬養首相を射殺</p> <p>8. - 日本映画がトーキー化</p> <p>*. - この年, アメリカの失業者が 1 160 万人, ドイツの失業者 613 万人</p> |
| | | <p>2. - 鉄道省, 山陰本線開通し, 山陰裏日本縦貫線が全通</p> <p>5. - 大阪市営高速鉄道 (地下鉄), 梅田-心斎橋間 (3.1 km) 開通</p> <p>5. - アメリカ, TVA 地域開発計画発足</p> <p>8. - 土木会議官制発足. 道路, 河川, 港湾の 3 部会を置く</p> <p>*. - ソ連, 白海バルト海運河 (延長 227 km) 開通</p> <p>*. - ミシシッピー川を經由して 5 大湖とメキシコ湾を結ぶイリノイ運河開通</p> | <p>1. - ヒトラー, ドイツ首相に就任</p> <p>3. - 三陸地方に大地震, 大津波発生死者・行方不明 2 671 人</p> <p>3. - 日本国際連盟脱退</p> |
| <p>10.24 久保田敬一会長「国民より観たる土木工学」をラジオ放送</p> <p>*. - 中山秀三郎, 学士院会員に推挙</p> | | <p>6. - 東京地下鉄道線, 銀座-新橋間 (6.3 km) 開通し, 浅草-新橋間全通</p> <p>10. - 台湾電力線, 日月潭水力第一発電所 (出力 10 万 kW) 完成</p> <p>10. - 満鉄, 大連-新京間に特急アジア号運転開始</p> <p>11. - 鉄道省, 丹那トンネル (延長 7 804 m) を完成 (1918 年着工)</p> <p>*. - ドイツ, 14 000 km に及ぶアウトバーン計画がスタート</p> | <p>3. - 雲仙, 霧島, 瀬戸内海が初の国立公園に指定</p> <p>4. - 帝人事件</p> <p>9. - 室戸台風. 全国で死者・行方不明 3 036 人</p> <p>*. - 東北地方に冷害・大凶作</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|--|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>9.29 見学会(内閣印刷局澁野川工場ならびに理化学研究所)</p> <p>10.26 創立20周年記念祝賀会(来賓鉄道大臣ほか42名)</p> <p>10.27~28 創立20周年記念見学会, 第1日「東京地方専売局業平工場ならびに新帝國議事堂建築」, 第2日「東京市中央卸売市場, 東京築港台場および東京芝浦下水処分場」</p> <p>11.18 視察旅行(富士五湖ならびに箱根)</p> <p>*. - 役員会(この年11回, 臨時4回開催)</p> | 員会 |
| 1935 (昭和10) | <p>2.15 会 長 青山 士 副会長 平井喜久松 草間 偉</p> <p>12. 末 会員数 5 766名</p> | <p>2.8 古市六三君より故男爵古市公威君記念土木賞牌贈呈基金として500円の寄附金</p> <p>2.15 昭和10年1月1日より昭和10年12月末日までに入会を承認された正員, 准員, 学生員に対して特別に入会金を免除することを決議</p> <p>5. - ~11. - 日本学術振興会より2回にわたり, 明治以前日本土木史編纂補助として2000円の寄附金</p> <p>6.17 東亜部設置(東洋部より名称変更)部長に平井喜久松</p> <p>7.30 故来島良亮君記念碑建設発起人代表香坂昌康君より500円の寄附金(故来島良亮君記念土木賞牌贈呈基金)</p> <p>10.23 会務分掌のため法制部, 調査部設置</p> <p>12.28 株式会社間組社長小谷清君より東亜事業部資金として1000円の寄附金</p> | <p>2.15 通常総会(帝國鉄道協会)</p> <p>4.6 見学会(大日本麦酒川口工場, 大宮公園および9号国道)</p> <p>4.16 講演会「飛行機による地形測量について」篠邦彦, 「地震動について」石本己四雄</p> <p>5.5 視察旅行(香取鹿島神社参拜, 霞ヶ浦航空隊, 横根根間門ほか)</p> <p>6.4 講演会ならびに映画会, 講演「昭和9年関西風水害気象について」ほか映画3本</p> <p>7.10 映画会「上越線清水隧道三角測量検測ほか5本」</p> <p>9.25 会員5000名突破祝賀会</p> <p>10.27~28 視察旅行(第1号国道, 5大橋, 名古屋港ほか)</p> <p>*. - 役員会(この年10回, 臨時1回開催)</p> | <p>5. - 台湾地方震災調査委員会</p> <p>6. - コンクリート調査委員会</p> <p>11. - 定款および規則改正委員会</p> |
| 1936 (昭和11) | <p>2.14 会 長 井上 秀二 副会長 辰馬 鎌藏 平井喜久松</p> <p>12. 末 会員数 6 144名</p> | <p>1.24 王子製紙株式会社社長藤原銀次郎君より事業資金として1000円の寄附金</p> <p>2.7 服部報公会より明治以前日本土木史編さん補助として1000円の寄附金</p> <p>3.14 定款を一部改正, 理事3人を9人に増加し, 常議員会と理事会を分離, 実質的な理事制度の設置</p> <p>4.1 中山秀三郎君より土木賞牌基金として500円, 記念基金として2000円の寄附金</p> <p>5.28 会誌発行日を7月より毎月1日に変更することを決定(これまでは25日発行)</p> <p>10.26 常議員会で年次学術講演会開催に関する件の原案を可</p> | <p>2.14 通常総会(帝國鉄道協会)</p> <p>4.4~8 第3回工学会大会土木部会(東大)</p> <p>5.10 視察旅行(箱根自動車専用道路, 宇佐美隧道(網代口)工事ほか)</p> <p>6.10 講演会ならびに映画会, 講演「昭和10年利根川未曾有の大出水について」金森誠之, ほか映画2本</p> <p>7.30 大堰堤を語る講演と映画の会(共催), 講演「奥多摩小河内貯水池堰堤について」小野基樹, 映画「フシントン第3回世界動力会議ならびに第2回大堰堤会議は拓く, ボルダー堰堤の工事実況」</p> | <p>5.18 東亜調査委員会, 東亜連絡委員会</p> <p>5. - 土木技術者相互規約調査委員会</p> <p>5. - 請負工事標準契約書調査委員会</p> <p>5. - 行政機構改正調査委員会</p> <p>5. - 鋼橋示方書調査委員会</p> <p>5. - 土木士法案調査委員会</p> <p>9. - 土木学会用語調査常置委員会</p> <p>9. - 財政調査委員会</p> <p>9. - 土木文化映画作成委員会(12.14より文化映画委員会と改称)</p> <p>10.5 杭の支持力公式委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|----------------------------------|---|---|
| 1. - 全国治水砂防協会設立 | *.- 関西支部で安治川トンネル調査委員会などの委員会活動を開始 | 5. - ソ連, モスクワで地下鉄ゴーリキー線 (12.1 km) 開通 8. - オーストリア, アルプスを南北に貫くグロースグロックナー・ホッホアルペン街道開通. 自動車によるアルペン越えが実現 9. - アメリカ, コロラド川にフーバーダム (H=221 m) 完成 11. - 鉄道省, 土讃線多度津—須崎間全通 | 2. - 東京市中央卸市場開場 3. - ヒトラー, ベルサイユ条約を破棄. 再軍備を宣言 9. - 関東で大暴風雨, 死者190人 10. - ドイツ, 国際連盟から脱退 |
| 4.30 講演会「ニューヨーク, ハドソンおよびイーストリバーにおけるシールド工法について」エル・アール・クラフト 7.6 イギリス土木学会と会誌交換 9.29 講演会(満洲國土木技師趙成楷, シャム國有鉄道運転課長ルアン・ヴィデュラ・ヴィデュコール) | | 4. - 鉄道省, 関門鉄道トンネルに着工 7. - ニューヨークのイーストリバーにマンハッタンとクィーンズブロンクスを結ぶ3本の橋「トライボロ橋」完成 11. - 朝鮮窒素(株), 長津江第1発電所(出力10万8000kW)送電開始('1937年全工事完了) | 2. - 2.26事件発生. 東京に戒厳令布告 11. - 国会議事堂落成式 11. - 日独防共協定 |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|----------------|---|---|---|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | 決、大学、専門学校所在地を選び、4月に開催、日本工学会大会開催年は開催せず2日間開催等を可決、昭和12年は京都大学で開催することを決議 *、- 振興委員会提案により10委員会を新設 | 10.10~11 視察旅行(東京電燈株式会社小野川発電工事ほか) 10.23 講演会「土木工作物に対する爆弾の威力について」鎌田銈一 *、- 役員会(この年4回、臨時4回開催、4月以降理事会、常議員会) *、- 理事会(昭和10年4月より12月まで16回開催) *、- 常議員会(昭和10年4月から12月まで8回開催) | |
| 1937 (昭和12) | 2.15 会 長 大河戸宗治 副会長 新井 栄吉 辰馬 鎌藏 12. 末 会員数 6 726 名 | 1.25 工学博士岡崎文吉君より記念基金として1000円の寄附金 1.25 水野甚次郎君より300円の寄附申出、常議員において同君を賛助員に推薦 4.5 伊能忠敬翁顕彰会より申出の伊能忠敬翁遺物保存館建設寄附金募金に対し学会の名を以て印刷物により勧誘(1円以上の金額で正員、准員が対象) 4.19 農業土木学会、化学機械協会、台湾技術協会と学会誌の交換を決議 5.17 東亜鉄道研究会より事業資金として7000円の寄附金 5.26 故古市男爵記念事業会に対し1000円を寄附 6.7 古市六三君より前会長古市公威君の胸像寄贈 8.1 非売品の会誌を定価制とし、同年8月1日発行のものより定価1円 8.13 東北支部設置(支部長 鶴見一之) 8.28 支那事変のため応召した正員、准員、学生員に対し出征中会費の免除を決議 10.18 特別員の広告を会誌に無料掲載 12.12 北海道支部設置(支部長 吉町太郎一) *、- 会誌での有料広告を開始 *、- 2代書記長中村孫一(～1948) | 1.28 講演会(共催)。講演「ボールダーム工事について」小野基樹、「第3回世界動力会議ならびに第2回国際大堰堤会議見学旅行参加報告(附映画、米国における堰堤工事の実写)」石井頼一郎 2.15 通常総会(帝国鉄道協会) 4.10~12 第1回年次学術講演会(京都帝国大学) 発表論文93編 5.8~9 視察旅行(関東水力電気株式会社佐久発電所ほか) 5.10 中華民国全国経済委員会水利處簡任技正汪胡楨君ほか7名の歓迎晩餐会 5.28 講演会「欧米土木事業視察談」山下輝夫、「欧米の橋梁を見て」堀威夫 6.3 講演会および映画会、講演「最近における除雪作業について」山田二三男、ほか映画 9.4 講演会および映画会、講演「支那事変について」大久保弘一、ほか映画 11.11 講演会および映画会、講演「支那事変について」水野恭介、ほか映画 *、- 理事会(この年21回開催) *、- 常議員会(この年12回開催) | 2.19 オリンピック大会土木施設調査委員会 2.19 防空施設研究委員会 3.8 企画委員会 9.- 地下構造物における鋼材節約委員会 |
| 1938 (昭和13) | 2.14 会 長 辰馬 鎌藏 副会長 新井 栄吉 平山復二郎 (副会長辞任につき堀越清六就任) | 1.12 陸軍造兵廠大阪研究所、日本大学工学部図書館と会誌交換を決定 3.22 土木映画資料懸賞募集規定を決定(文化映画委員会より提案) | 2.14 通常総会(帝国鉄道協会) 4.15 講演会および映画会、講演「中支の水道について」岩崎富久、講演「最近の北京鉄道について」児島重次郎、ほか映画 | 3.22 時局対策委員会 6.6 外人功績調査委員会 6.17 黄河決潰対策委員会(時局対策委員会の中に設置、のち黄河研究委員会と改称) 6.20 土木学会論文抄録編纂委 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|--|
| *.- 門野重九郎, 日本商工会議所会頭に就任(土木で初) | 4.10~12 関西支部 第1回年講(京都大学)開催に協力 11.9 東北支部発会式(来賓21名, 会員213名出席)会長記念放送「東北振興と土木」, 講演会「仙台トンネルの話」平山復二郎, 「東北工業会社の事業とその使命」金森太郎 | 5.- 鉄道省, 仙山トンネル(延長5361m)完成. 初めてオートフィーダ付削岩機使用 5.- アメリカ, サンフランシスコにゴールデンゲート橋(最大支間1280m)完成 *.- ソ連, モスクワ-ボルガ間のモスクワ運河(延長128km)完成 | 2.- 文化勲章令公布 4.- 防空法公布 5.- 西宮球場開場 7.- 蘆溝橋事件起こり, 日中戦争始まる 9.- 後楽園球場開場 11.- 日独防共協定に伊が参加 |
| 6.11 支那方面土木事業視察および現地会員慰問 8.20 北支那方面土木事業視察および現地会員慰問 11.22 中華民国臨時政府建設総署長, 殷同君を招待し茶話会 | 4.23~24 北海道支部発会式(来賓および講演会10名, 会員209名出席)記念講演「我が土木技術者の自覚」新井榮吉, 「支那開発と技術」宮本武之輔, 「鉄道土木技術軌近の趨 | 3.- 中華民国臨時政府に建設総署設置 4.- 電力管理法公布. 日本発送電株式会社法公布(電力の国家管理実現) 10.- 九州電力(株), 塚原ダム | 4.- 国家総動員法公布 7.- 全国で梅雨豪雨, 阪神地方では死者9330人 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | 12. 末 会員数 8 110 名 | 4. 4 工学協会より事業資金として 100 円の寄附金 4. 18 土木協会より 100 円の寄附金 5. - 「土木技術者の信条」「土木技術者の実践要綱」発表 5. 16 中部支部設置 (支部長 杉山榮) 7. 25 西部支部設置 (支部長 君島八郎) | 5. 14~15 視察旅行 (東北支部と共催で東北振興電力株式会社発電所工事ほか) 5. 24 晩餐会 (土木学会代表中支視察委員を招待) 6. 13 午餐会 (内務省関係の学会地方委員を招待) 7. 11 特別員招待会 7. 12 講演および映画会. 講演「中支土木事業について」井上秀二・青山士・橋本敬之, ほか映画 7. 12 映画会「土木学会代表視察員中支視察の実況」 7. 16~17 第 2 回年次学術講演会 (北海道帝国大学) 発表論文 86 編 7. 29 協議会 (関東および関西地方水害調査委員会に関する事項について) 10. 11 講演会および映画会, 講演「北支土木事業について」大河戸宗治・新井榮吉, ほか映画 11. 15 会員 8 000 名突破祝賀晩餐会兼八田嘉明君の拓務大臣新任祝賀会 11. 22 第 1 回支部長会議 * - 理事会 (この年 22 回開催) * - 常議員会 (この年 13 回, 臨時 1 回開催) | 員会 8. - 関東および関西地方水害調査委員会 |
| 1939 (昭和 14) 創立 25 周年 | 2. 14 会 長 八田 嘉明 副会長 谷口 三郎 堀越 清六 12. 末 会員数 9 154 名 | 7. 19 故野口誠君記念基金として 1 000 円の寄附金 9. 25 朝鮮支部設置 (支部長 新田留次郎) 11. 9 南満洲鉄道株式会社より 25 周年記念事業資金として 10 000 円の寄附金 12. 末 日本製鉄株式会社より 25 周年記念事業資金として 36 872 円 03 銭の寄附金 12. - 学会誌創立 25 周年記念号 | 2. 14 通常総会 (帝國鉄道協会) 4. 14 講演会および映画会. 講演「土木と映画」瀧尾達也, ほか映画 5. 20~21 視察旅行 (愛岐水力今渡発電所ほか) 6. 8 講演会および映画会. 講演「秋田県男鹿地方地震害について」高井信一・松村孫治, ほか映画 6. 9 第 1 回土木材料節約に関する座談会 10. 18 創立 25 周年記念晩餐会 10. 19~20 25 周年記念講演会 (講演 23 題) 10. 19~20 25 周年記念見学会 (鉄道省大宮工場, 東京湾, キリンビール横浜工場等) 11. 28 談話会「シャム国事情並に大同炭輸送計画について」稲垣茂樹・立花次郎 12. 8 講演会および映画会. 講演「黄土を浴びて」青木楠男, | 4. 24 創立 25 周年記念講演委員 4. 24 創立 25 周年記念事業資金調達委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> *. - 八田嘉明, 拓務大臣に就任 *. - 電力土木技術協会設立 | <p>勢」橋口行彦</p> <p>5.29 中部支部発会式(来賓22名, 会員220名出席) 講演会「河水統制について」高橋嘉一郎, 「事変と鉄道改良計画」山中良樹, 「コンクリート高堰堤築造について」大西英一</p> <p>7.16~17 北海道支部, 第2回年講(北海道大学)開催に協力, 7泊8日の樺太旅行</p> <p>10.16~17 西部支部発会式(来賓12名, 会員198名出席) 講演会「ヒットラー道路について」久野重一郎, 「関門隧道について」釘宮磐, 「時局における帝国海軍の使命」三坂直廉</p> | <p>(H=87.0 m) 完成</p> <ul style="list-style-type: none"> *. - 長津江水力発電所全工事(総出力40万kW)完成 | |
| <ul style="list-style-type: none"> *. - 八田嘉明, 商工兼拓務大臣, 日本商工会議所会頭に就任 *. - 大村卓一, 満鉄総裁に就任 | | <ul style="list-style-type: none"> 1. - 東京高速鉄道(株), 新橋-渋谷間(6.5 km) 開通し地下鉄銀座線全通 4. - 日本発電電機株式会社設立 7. - 川崎市, 初の公営工業用水道完成 | <ul style="list-style-type: none"> 4. - 米穀配給統制法公布 5. - ノモンハン事件 9. - 第二次世界大戦始まる |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|---|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | ほか映画 *.- 理事会 (この年 23 回開催) *.- 常議員会 (この年 12 回, 臨時 1 回開催) | |
| 1940 (昭和 15) | 2. 15 会 長 中村 謙一 副会長 吉田徳次郎 谷口 三郎 12. 末 会員数 10 175 名 | 2. 14 本年 1 月より職員に臨時 手当支給を決議 2. 15 常議員を増員 (20 名→24 名) 4. 13 大同電力株式会社より学 術研究事業費として金 20 000 円の寄附金 5. 17 定款を一部改正, 常議員 を増員 9.- (旧満洲土木学会設立 (会 長 佐藤應次郎) | 2. 1 セメントの増産ならびに 配給の円滑に関する協議会 2. 7 静岡市大火視察報告会 2. 15 通常総会 (帝国鉄道協 会) 4. 2~5 工学会大会土木部会講 演会 (提出論文 121 題) 4. 25 講演会と大陸映画の夕, 講演「文化映画委員会の仕事」 片平信貴, ほか映画 6. 22~23 視察旅行 (群馬県天 神沢砂防工事ほか) 10. 18 講演会「阿弗利加およ び南米を旅して」太田尾広治, 「新体制について」井田馨楠 12. 18 講演会および映画会, 講演「三國々道の話」水山嘉 徳, ほか映画 *.- 理事会 (この年 24 回開 催) *.- 常議員会 (この年 12 回 開催) | 3. 18 昭和 14 年旱害調査委員 会 4. 22 定款改正委員会 6. 17 水理公式調査委員会 12. 9 防空土木委員会 *.- 鋼鉄道橋設計示方書初 制定 |
| 1941 (昭和 16) | 2. 17 会 長 谷口 三郎 副会長 黒田 武定 吉田徳次郎 12. 末 会員数 11 216 名 | 2. 17 総会において野村龍太 郎, 田辺朔郎, 古川阪次郎の 3 名を名誉会員推挙 3. 14 一時納付会費 (正員池辺 稲生, 120 円) の基金編入を決 定 3. 26 定款を一部改正, 満洲土 木学会会員は本会会員とみなす 6. 24 華北支部設置 (支部長 三浦七郎) 8. 4 中国四国支部設置 (支部 長 佐土原勲) 12. 22 故物部長穂君遺族より 土木賞牌基金として 600 円の寄 附金 | 2. 17 通常総会 (帝国鉄道協 会) 4. 5 支部長会議 10. 31~11. 1 第 3 回年次学術 講演会 (九州帝国大学) 発表論 文 91 編 12. 13 講演会および映画会, 講演「鴨緑江の話」星野三郎, 「雪の話」稻積豊二, 「タコマ 橋」青木楠男, ほか映画 *.- 理事会 (この年 20 回開 催) *.- 常議員会 (この年 16 回, 臨時 1 回開催) | 6. 9 防空土木施設促進委員会 8. 20 対爆調査委員会 |
| 1942 (昭和 17) | 2. 16 会 長 草間 偉 副会長 鈴木 雅次 黒田 武定 12. 末 会員数 12 896 名 | 2. 6 東部軍経理部へ会誌の寄 贈を決定 2. 6 土木学会誌表紙裏面の英 字印刷を第 28 巻第 3 号より廃 止することを決定 3. 23 満洲国立開拓研究所資料 室へ会誌第 28 巻第 1 号から寄 贈 6. 8 大学院生の資格を希望に より准員扱いを決議 7. 6 日本出版文化協会, 本会 発行の書籍の例外配給を承認 9. 15 故前会長中川吉造遺族よ | 2. 16 通常総会 (帝国鉄道協 会) 4. 13 講演会および映画会, 講 演「最近のフィリピン事情」新 納克己, ほか映画 7. 4 講演会および映画会 (詳 細不明) 10. 10~11 第 4 回年次学術講 演会 (東北帝国大学および仙台 高等工業学校) 発表論文 49 編 10. 19 支部長会議 12. 4 講演会「南方より帰 りて」江崎善愛, 「動乱の欧州を | 1. 26 建設機械研究委員会 3. 23 大東亜建設調査委員会 10. 19 日本標準規格番号調査 委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|---|---|
| 11. - 日本河川協会設立 | 5.25 朝鮮支部発会式（来賓および会員 150 名参加）講演会「水圧管における圧力について」山本茂, 「防空橋梁と複斜材構橋について」小田彌之亮, 「高強度コンクリートについて」吉田徳次郎 | 6. - 隅田川の勝閑橋（橋長 46 m）完成 8. - 鉄道省, 紀勢西線と歌山一紀伊木本間全通 * - アメリカのタコマ橋落橋事故（吊橋の長大化に警鐘） | 9. - 日独伊三国同盟調印 * - ガソリン不足で木炭車登場 |
| 5. - 震災予防協会設立 * - 八田嘉明, 鉄道大臣に就任 * - 釘宮馨, 有馬宏, 加納儉二（以上「関門隧道の貫通」）, 久保田豊, 佐藤時彦, 玉置正治（以上「水豊堰堤の建設」）が昭和 16 年朝日賞（文化賞）受賞 | 7.4 華北支部発会式（北京飯店・谷口会長列席） 8.4 中国四国支部設立により岡山県が関西支部より分離 9.23 満洲土木学会発会式（日満軍人会館・満洲土木研究会と合併）機関誌『土木満洲』（1941.2~44.5）24 冊 10.12 中国四国支部発会式講演会「広島工業港に就て」大島六七男, 「鉄筋コンクリート今とは昨非の問題」吉田徳次郎, 「鉄道新幹線に就て」伊集院久 10.31~11.1 西部支部第 3 回年講開催に協力 | 7. - 帝都高速度交通営団設立 9. - 鴨緑江水力発電機, 一部営業送電を開始（ダム completion は 1943 年 6 月） 10. - 北海道, 十勝大橋完成 11. - ナイアガラの滝の直下レインボー橋が完成 | 12. - 日本, 英米に宣戦布告（太平洋戦争開戦） 12. - 史上最大の戦艦大和（69 100 トン）が竣工 |
| | 10.10~11 東北支部第 4 回年講開催に協力 | 2. - バンコク-シンガポール間（3 000 km）のマレー縦貫鉄道開通 3. - 鉄道省, 鉄道技術研究所設置 4. - 朝鮮総督府, 中央線原州-慶北安東間 147.8 km を開通し, 朝鮮中央部における縦貫鉄道完成 4. - 東京大学, 第二工学部（土木工学科を含む）設置 6. - 鉄道省, 関門鉄道トンネル下り線開通（1936 年着工） | 2. - 食料管理法公布 4. - 翼賛選挙 6. - ミッドウェー海戦 8. - 西日本に台風, 全国で死者・行方不明 1 158 人 11. - 大東亜省官制公布 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|--|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | り記念基金として3000円の寄附金 | 巡りて」立花次郎 *.- 理事会(この年21回開催) *.- 常議員会(この年11回開催) | |
| 1943 (昭和18) | 2.15 会 長 黒河内四郎 副会長 内海 清温 鈴木 雅次 12. 末 会員数 14 397名 | 2.15 総会において丹羽鋤彦, 名井九介, 那波光雄の3名を名誉会員推挙 6.7 台湾支部設置(支部長松本虎太) 6.14 戦時下により調査部に部員若干名, 幹事1名を置くことを決定 6.14 厚生省研究所図書室発行“厚生科学”と本会会誌第29巻第6号よりの交換決定 8.23 急速飛行場建設の研究に関する論文を懸賞をもって募集 9.13 北海道庁土木試験所へ会誌の第29巻第9号以降を寄贈 *.- 事務所を三軒茶屋に疎開 *.- 創立30周年記念事業の中止を決定 | 2.15 通常総会(帝国鉄道協会) 7.22 第5回年次学術講演会(名古屋市にて準備中であつたが中止, 既に提出した論文は年次学術誌上講演として取扱う) *.- 理事会(この年14回開催) *.- 常議員会(この年10回, 臨時2回開催) | 2.8 昭和17年潮害調査委員会 5.8 建設力統制研究委員会 6.14 戦時規格委員会 9.13 鳥取地震調査委員会 10.18 西部地方風水害調査委員会 11.- 定款調査特別委員会 |
| 1944 (昭和19) | 2.15 会 長 鈴木 雅次 副会長 佐土原 勲 内海 清温 5.22 会員数 14 728名 | 3.- 土木学会誌臨時増刊, 特輯論文集を発行(現論文報告集の創刊) 5.- 会誌第30巻第4, 5号発行後発行を停止(工具激減, 材料不足, 印刷所焼失, 学会職員の罹災等のため) 6.- 昭和19年6月現在会誌定価2円 *.- 事務所を再び麴町区丸の内3丁目6番地, 旧ユニオン館へ移転 | 2.15 通常総会(帝国鉄道協会) *.- 理事会(この年5回開催) *.- 常議員会(この年5回, 臨時1回開催) | |
| 1945 (昭和20) | 2.14 会 長 田中 豊 副会長 鮫島 茂 佐土原 勲 *.- 会員数不明 | | 2.14 通常総会(土木学会) | |
| 1946 (昭和21) | 5.18 会 長 鹿島 精一 副会長 鮫島 茂 岡田 信次 *.- 会員数不明 | 5.18 総会において吉町太郎一, 牧彦七, 生野團六の3名を名誉会員推挙 5.- 会誌を再刊行し第31巻第1号とする(次号は昭和22年8月第32巻1号にとぶ) 6.8 常議員会において事務所の移転を決定 6.15 GHQに事務所を接収され鹿島建設の尽力により東京都京橋区新川2丁目12番地に移転 | *.- 常議員会(この年2回開催) | 10.- 水理委員会再開 11.- 新聞編輯委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> 11. - アメリカ, アラスカハイウェイ(延長2 673 km)が開通 *. - アメリカ, コロラド川に重力式のグランドクーリーダム(堤体積809万m)完成 | |
| <ul style="list-style-type: none"> *. - 八田嘉明, 運輸通信大臣に就任 | <p>12.4 台湾支部創立総会(来賓23名, 会員93名出席)講演会「清水溪天然堰堤について」磯田謙雄, 「航空燃料の常識」安藤一雄, 「帝国海軍と航空作戦」原直久</p> | <ul style="list-style-type: none"> 4. - 早稲田大学に土木工学科設置 6. - 朝鮮・満洲鴨緑江水力発電(株), 水豊ダム(H=106.4 m)完成 10. - タイ-ビルマを結ぶ泰緬鉄道(延長415 km)完成 *. - アメリカで世界最大のオイルパイプライン(テキサス州ロングビュー-ペンシルバニア州フェニックス間2 000 km)完成 | <ul style="list-style-type: none"> 6. - 東京都制公布. 東京都発足 11. - 軍需省, 運輸通信省, 農商務省設置. 商工, 農林, 鉄道各省と企画院廃止 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 2. - 満洲国, 第二松花江豊満発電所(出力85 000 kW)の運転開始. 豊満ダムはH=91 mの重力式ダム 10. - 運輸通信省, 日本坂トンネル(全長2 173 m)および関門鉄道トンネル上り線開通 *. - 安治川河底トンネル完成(初の沈埋工法採用) | <ul style="list-style-type: none"> 6. - 北海道内浦湾東岸で大噴火, 昭和新山誕生 6. - マリアナ海戦 7. - 東条英樹内閣総辞職 11. - 東京, 初空襲 12. - 東南海地震発生. 死者998人 |
| <ul style="list-style-type: none"> 11. - 日本道路建設業協会設立 | <p>8.15 朝鮮, 華北, 台湾の3支部および満洲土木学会は終戦により自然解散</p> | <ul style="list-style-type: none"> 9. - 内務省に地理調査所設置 *. - アメリカ, キャッツキル山のデラウエア水路トンネル(延長136.8 km)完成 | <ul style="list-style-type: none"> 1. - 三河, 東海地方に大地震. 死者1 961人 7. - ポッドム会談 8. - 広島, 長崎に原爆投下 8. - 第二次世界大戦終了 9. - 枕崎台風. 死者・行方不明3 128人 10. - 国際連合成立 12. - 農地改革指令 *. - 日本社会党結成 *. - 婦人参政権が実現 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1.15 山崎匡輔, 文部次官に就任 9. - 都市計画協会設立 9. - 日本セメント技術協会設立 12. - 全日本建設技術協会設立 *. - 杉山宗次郎, 長崎県知事に就任 *. - 阿部美樹志, 戦災復興院総裁に就任 | <ul style="list-style-type: none"> *. - 関西支部で1928年以來の土木工学研究会が再開 | <ul style="list-style-type: none"> 3. - 戦災復興院に特別建設部設置 5. - 連合国総司令部, 日本公共事業計画の10原則を日本政府に指示 6. - 鉄道会議官制公布 9. - 特別都市計画法公布. 東京など115都市を戦災都市に指定 12. - 全府県に土木部設置 *. - ロンドン, ヒースロー | <ul style="list-style-type: none"> 5. - 極東国際軍事裁判所開廷 11. - 日本国憲法公布(1947年3月施行) 12. - 南海道地震. 死者1 330人 *. - この年, 電力危機が深刻 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | <p>9. - 日本建築学会ほか4団体と連名で建設省(仮称)設置に関する建議書を関係方面に提出</p> <p>10.5 定款を全面改正. 正員資格緩和, 入会金廃止, 理事制確立, 常議員選出地域の全国化. 常議員24人を50人以内に増加, 会計年度の変更.</p> <p>10.5 会費を正員60円, 准会員54円, 学生員48円, 特別会員: 1級2000円, 2級1000円, 3級500円に改正(戦前の5~10倍となる)</p> <p>11.15 新聞編輯委員会(委員長奥田教朝)を設置, 土木ニュースを刊行(月刊)昭和24年12月15日発行第38号で廃刊</p> | | |
| 1947 (昭和22) | <p>6.14 会長 岡田 信次 副会長 加藤 伴平 廣瀬孝六郎 *.- 会員数不明</p> | <p>8. - 会誌の定価20円となる</p> | <p>*.- 常議員会(この年1回開催)</p> | |
| 1948 (昭和23) | <p>5.29 会長 岩澤 忠恭 副会長 廣瀬孝六郎 田中 茂美 3. 末 会員数 16 625名</p> | <p>3.27 会費を正員300円, 准員270円, 学生員240円, 特別員: 1級3000円, 2級2000円, 3級1000円に改正</p> <p>12. - 3代書記長 中川一美 (~1958)</p> | <p>5.29 通常総会(交通協会)</p> <p>7.31 北陸地震講演会</p> <p>8.16~21 夏期講習会「土木における災害と対策」</p> <p>10.11 支部長会議</p> | <p>3. - 最近土木技術史編集委員会</p> <p>7.29 用語委員会</p> <p>8. - 土木工学叢書委員会</p> <p>9.12 コンクリート常置委員会再開</p> |
| 1949 (昭和24) | <p>5.21 会長 吉田徳次郎 副会長 大西 英一 田中 茂美 10. - 会員数 18 142名</p> | <p>3.31 会費を正員500円, 准員500円, 学生員400円, 特別員: 1級6000円以上, 2級4000円, 3級2000円, 正員の一時納付20年で終身会員(正員の会費完納年数に応じた一時納付方法, 10年以上15ヶ年分, 20年以上10ヶ年分, 25年以上7ヶ年分, 30年以上4ヶ年分とする), 賛助員一時に3万円以上, と改正</p> <p>4.13 国鉄の尽力により事務所を千代田区大手町2の4に移転</p> <p>4. - 職場班結成運動開始</p> <p>10.24 会誌定価を1部80円に改正</p> <p>12. - 本年12月の38号をもって土木ニュース終刊, 25年1月から学会誌に合併, 月刊とする</p> | <p>5.21 年次総会(名古屋工業大学)</p> <p>5.21~22 第5回年次学術講演会(名古屋工業大学)発表論文107編(戦後初)</p> <p>7.25~27 夏期講習会「コンクリート標準示方書」</p> <p>10.8~9 合同講演会(共催) 8日「土, 粉体, 粒体について」, 9日「構造について」</p> <p>12.9 講演会「常磐線小貝川橋梁改良工事について」田中倫治, 「軌道測定車について」坂芳雄, 「山陽電鉄加古川橋梁橋脚振動調査報告」岡部達郎</p> <p>12.19~21 水理講習会(水理公式集の発刊を機としてその内容の解説)</p> <p>*.- 理事会(この年2回開催)</p> | <p>*.- 水理公式集, コンクリート標準示方書を刊行</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|--|--|
| | | 空港開港 | |
| <p>2. - 日本鉄道技術協会設立 6. - 日本道路協会設立 6. - 砂防学会設立 12. - 鋼材倶楽部設立 * - 近藤博夫, 大阪市長に就任 * - 大西英一, 日本発送電(株) 総裁に就任</p> | | <p>3. - 国土計画審議会官制公布. 内閣に直属 12. - 内務省廃止. 建設院設置法公布</p> | <p>3. - 帝国大学廃止 3. - 教育基本法, 学校教育法, 国家公務員法, 地方自治法, 職業安定法公布 8. - 最高裁判所発足 9. - カスリーン台風. 死者・行方不明 1 930 人 10. - トヨタ自動車(株) 乗用車の生産開始</p> |
| <p>3. - 鉄骨橋梁協会設立 3. - 全国建設業協会設立 4. - セメント協会設立 5. - 土木工業協会設立</p> | <p>6.29 関西支部第1回研究発表会(大阪大 12 題)</p> | <p>1. - 建設院発足(1月1日) 1. - 建設院第一技術研究所設置(のち, 建設省土木研究所) 7.10 建設省設置 7. - 建設省に建築研究所設置 7. - ニューヨークに世界最大の空港(現ケネディ空港)開港 12. - 日本国有鉄道法公布</p> | <p>6. - 福井地震. 死者 3 769 人. 全壊家屋 36 184 戸 8. - 揚子江・黄河の大洪水で 300 万人が家を失う. 9. - アイオン台風. 死者・行方不明 838 人</p> |
| <p>10.1 日本土質基礎工学委員会設立, 本会内に事務所をおく(1929 土質工学会) * - 井口鹿蔵, 室蘭工大(旧北大専門部)学長就任 * - 田中豊, 日本学士院会員に推挙 * - 原口忠次郎, 神戸市長に就任 * - 岩沢忠恭, 建設事務次官に就任 * - 日本学術会議会員に本会の安芸皎一, 田中豊, 中原寿一郎, 末松栄, 大坪喜久太郎が当選 * - 阿部美樹志, 特別調達庁長官に就任</p> | <p>5.7~8 西部支部第1回研究発表会(九大, 以後定期開催) 5.21~22 中部支部, 戦後ようやく再開した第5回年講開催に協力, 物資乏しく運営に苦心が多かった 6.30~7.2 東北支部戦後初の講演講習会(仙台工専) 10.8~9 中国四国支部第1回学術講演会(山口大 28 題, 以後定期開催) 10.15~16 1928 年以來の関西工学連合講演会を開催(京大, 土木・応力部門 40 題) 4 回ほどで中断</p> | <p>5. - 運輸省, 農林省, 通商産業省設置 5. - 東京大学, 第二工学部を廃止し生産技術研究所設置 5. - 建設業法公布 6. - 日本国有鉄道発足 * - フランスのネールピック水理研究所でテトラポッドが完成</p> | <p>5. - 国立学校設置法公布. 新設の国立大学 69 校発足 6. - 日本工業規格(JIS)を制定 8. - キティー台風関東地方に襲来. 死者 135 人 8. - シャープ勧告 11. - 湯川秀樹, ノーベル物理賞受賞</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|--|--|---|--|
| | 会 副 会 長 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | <p>*. - 学会誌英名, JOURNAL OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS と決定</p> <p>*. - 会費滞納者の大整理</p> <p>*. - 土木学会賞, 奨励賞として再開を決定</p> | <p>*. - 常議員会 (この年 2 回, 臨時 1 回開催)</p> | |
| 1950 (昭和 25) | <p>5. 27 会 長 三浦 義男 副会長 稲浦 鹿蔵 大西 英一</p> <p>12. 末 会員数 9 919 名</p> | <p>1. 9 土木学会の英訳を次のとおり決定 土木学会: Japan Society of Civil Engineers 会 誌: JOURNAL 論文集: TRANSACTION</p> | <p>1. 9 講演会「アメリカの鉄道工事について」田中茂美</p> <p>4. 16 測量講習会</p> <p>5. 27 通常総会 (東大法学部)</p> <p>5. 27~28 第 6 回年次学術講演会 (東京大学工学部) 発表論文 111 編</p> <p>5. 28~29 視察旅行 (国鉄信濃川発電所)</p> <p>8. 9 講演会と映画「米国の最近における土木工事について」種谷実</p> <p>8. 24~26 土質工学講演会および見学会</p> <p>10. 27~28 土, 粉体, 粒体に関する 9 学会連合講演会</p> <p>11. 12 秋のエクスカーション (横浜市水道鶴ヶ峰導水路工事現場ほか)</p> <p>*. - 理事会 (この年 11 回開催)</p> <p>*. - 常議員会 (この年 2 回開催)</p> | <p>1. 30 土木賞委員会</p> <p>5. 4 法規委員会</p> <p>4. 10 土木学会事務所増築委員会</p> <p>10. 12 地ニ対策委員会</p> <p>10. - 法面築堤崩壊防止研究委員会</p> |
| 1951 (昭和 26) | <p>5. 26 会 長 大西 英一 副会長 立花 次郎 稲浦 鹿蔵</p> <p>12. 末 会員数 10 647 名</p> | <p>3. 29 正員の会費を 600 円に改正, また会費滞納者に対する発送停止を滞納 1 年以上の者から 6 ヶ月以上の者に変更</p> <p>4. 事務所増築に関して, 委員会を設置</p> <p>5. 26 総会において Gail. A. Hathaway, 久保田敬一, 島重治, 松島寛三郎の 4 名を名誉会員推挙</p> <p>6. 5 日本発送電 (株) 解散に伴い, 500 万円の寄付金, 基金に繰り入れる</p> <p>11. - 国電の高架増設に伴い事務所増築工事完成 (約 300 m²)</p> <p>11. 5 International Association for Bridge and Structural Engineering (IABSE) に入会</p> <p>11. - 事務所増築工事竣工, 事務所を移転</p> | <p>5. 8 文化映画会 (CIE フィルム 7 編)</p> <p>5. 26 通常総会 (大阪大学医学部講堂, 地方における初の総会)</p> <p>5. 26~27 第 7 回年次学術講演会 (大阪大学医学部講堂) 発表論文 147 編</p> <p>6. 29 第 1 回学生員見学会 (東京湾々内巡航, 勝鬨橋開閉施設ほか)</p> <p>8. 23~24 夏期講習会「コンクリートとダム, 橋梁」</p> <p>8. 25 見学会 (小河内ダム建設工事ほか)</p> <p>11. 2~4 第 1 回応用力学連合講習会 (本会ほか 7 学協会連合共催)</p> <p>11. 10~11 秋のエクスカーション (群馬大橋, 東電箱島発電所ほか)</p> <p>11. 21 講演会「欧米瞥見」, 板橋三郎</p> <p>11. 30 土質工学講演会 (日本土質基礎工学委員会主催)</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|--|
| <p>2.5~6 アメリカ土木学会 Gail A. Hathaway 会長訪 日, 講演会 6.4 赤木正雄, 岩沢忠恭, 岡 田信次が参議院議員に当選 12.12 日本学術会議会員に本 会の石原藤次郎, 稲浦鹿蔵, 黒 田静夫, 中原寿一郎, 吉田徳次 郎, 大坪喜久太郎, 田淵壽郎, 伊藤令二が当選 *.- 吉田徳次郎, 日本学士 院会員に推挙</p> | | <p>3.- 運輸省, 港湾技術研究所 設置 5.- 国土総合開発法公布, 港 湾法公布, 建築基準法公布 6.- 北海道開発庁発足 9.- 岩国の錦帯橋流出 11.- 電気事業再編成令, 公 益事業令公布</p> | <p>6.- 朝鮮戦争始まる 9.- ジェーン台風. 死者・行 方不明 509 人</p> |
| <p>1.- 日本測量協会設立 7.19 アメリカ工業教育使節特 別講演会 10.4 John L. Savage 博士訪 日, 講演会 10.- 日本都市計画学会設立 *.- 池田徳治, 秋田県知事 に就任 *.- 柳沢米吉, 海上保安庁 長官に就任</p> | <p>5.26~27 関西支部, 昭和 26 年度総会, 第 7 回年講開催に協 力 2.2~3 北海道支部第 1 回研究 発表会 (北大, 以後定期開 催), 「技術資料」第 1 号発行 (1951.10), 論文報告集として継 続 (94 年で 50 号)</p> | <p>3.- 京都大学, 防災研究所設 置 4.- 早稲田大学に土木工学専 攻大学院発足 (新制大学で初) 4.- 建設省, 河川総合開発事 業開始 5.- 電気事業再編成令による 9 電力会社が発足 (日本発送電 機廃止) 7.- 北海道開発庁北海道開発 局設置 11.- 電力中央研究所設立 *.- 西ドイツ, デュッセル ドルフにノイス橋架設</p> | <p>7.- 日本航空機設立. 木星号 (東京一大阪間) 就航 9.- 対日平和条約調印 9.- 日米安全保障条約調印 10.- ルース台風. 死者・行 方不明 943 人</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | *. - 理事会 (この年 13 回開催) *. - 常議員会 (この年 3 回開催) | |
| 1952 (昭和 27) | 5.24 会 長 稲浦 鹿蔵 副会長 福田 武雄 立花 次郎 12. 末 会員数 11 526 名 | 1.11 理事会において会誌発行日の変更を決定 (本年から毎月 1 日を毎月 15 日に変更) 3.29 会費を正員 800 円, 准員 600 円, 学生員 500 円, 特別員: 1 級 8 000 円以上, 1 級 5 000 円, 3 級 3 000 円, 一時納金 5 000 円以上に改正 3.30 会員の学歴別調査結果を公表 4.1 会誌の広告料金を改正 5.24 総会において丹治経三, 草間偉の 2 名を名誉会員推挙 6.15 会誌定価を 1 部 100 円に改正 | 5.24 通常総会 (早稲田大学法文系大学院講堂) 5.24~25 第 8 回年次学術講演会 (早稲田大学法文系大学院講堂) 発表論文 112 編 5.26~27 見学会および懇親会 (年次学術講演会に続いて五十里ダム工事現場) 8.20~21 夏期講習会「建設機械化」 11.9~10 秋のエキスカッション (新潟県営三面川ダム工事視察) *. - 理事会 (この年 12 回開催) *. - 常議員会 (この年 2 回開催) | 1.11 土工学ハンドブック編集委員会 1.11 製図規格委員会 2.8 海外連絡委員会 2.15 サベージ博士文献管理委員会 |
| 1953 (昭和 28) | 5.23 会 長 平井喜久松 副会長 菊池 明 福田 武雄 12. 末 会員数 11 868 名 | 5.30 総会において J.L. Savage, 久保田敬一, 鶴見一之の 3 名を名誉会員推挙 | 5.23 通常総会 (東北大学工学部) 5.23~24 第 9 回年次学術講演会 (東北大学工学部) 発表論文 143 編 5.25~26 見学会 (北上川, 只見川の発電所現場) 8.26~28 夏期講習会「プレストレストコンクリートと構造力学」 8.28 見学会 (ピーエスコンクリート会社鴨宮工場ほか) 9.8~10 第 3 回応用力学連合講演会 11.14~15 秋のエキスカッション (神奈川県下箱根早雲山の地すべり現場ほか) *. - 理事会 (この年 12 回開催) *. - 常議員会 (この年 2 回, 臨時 1 回開催) | 3.12 プレストレストコンクリート委員会 4.14 会誌抄録委員会 7.13 橋梁構造委員会 12.14 鉄筋コンクリート鉄道構造物設計基準委員会 (受託) 12.14 鋼鉄道橋設計示方書委員会 12.14 土工学論文抄録委員会 |
| 1954 (昭和 29) 創立 40 周年 | 5.29 会 長 青木 楠男 副会長 藤井松太郎 菊池 明 12. 末 会員数 13 377 名 | 5.29 総会において辰馬鎌藏, 黒河内四郎, 米元晋一の 3 名を名誉会員推挙 12. - 学会誌 40 周年記念号 | 1.13 水理講演会 (講演 3 題) 5.29 通常総会 (早稲田大学大隈講堂) 5.29~30 第 10 回年次学術講演会 (早稲田大学商学部) 発表論文 143 編 5.31 見学会 (東京電力須田貝発電所工事ほか) 8.25~27 夏期講習会「新材料と新工法」 8.27 見学会 (日本鋼管川崎製鉄所ほか) 9.1~3 第 4 回応用力学連合講 | 3. - 創立 40 周年記念事業土木会館建設委員会 3. - 創立 40 周年記念事業土木工事写真集委員会 6.14 創立 40 周年記念事業資金委員会 6.14 創立 40 周年記念行事委員会 6. - 大正以降土木史編集委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|--|
| <p>6. - John L. Savage 博士文献管理, 東京市政専門図書館内にサベージ博士記念文庫として保管</p> <p>10.22 国際港湾会議(神戸市) 土木系出席者招待午餐会(戦後初の土木系国際会議)</p> <p>10. - 山崎匡輔, 成城学園長に就任</p> <p>11.12 安芸皎一, 昭和27年度毎日出版文化賞受賞</p> <p>*. - アメリカ土木学会, シカゴで創立100周年記念祭を開催</p> <p>*. - 稲浦鹿蔵, 建設事務次官に就任</p> <p>*. - 日本材料学会設立</p> | <p>*. - 福井県を中部支部から関西支部に編入</p> | <p>3. - 七尾市に長生橋(初のPC橋)完成</p> <p>5. - ソ連, ボルガードン運河(延長101km)開通</p> <p>6. - 道路法改正公布</p> <p>6. - 道路整備特別措置法・道路整備事業特別会計法公布(本格的な有料道路制度創設)</p> <p>7. - 電源開発株式会社設立</p> <p>7. - 日本電信電話公社設立</p> <p>9. - 長崎漁港岸壁復旧工事に初のサンドドレーン工法採用</p> | <p>3. - 九州電力(株), 筑上火力発電所で運転開始(初の新鋭火力発電所, 出力35000kW)</p> <p>3. - 北海道十勝地方, 東北三陸地方で激震</p> <p>4. - 木星号, 大島に墜落</p> <p>5. - メーデー事件</p> <p>7. - 東京国際空港(羽田)供用開始</p> <p>9. - 明神礁で海底火山が爆発</p> <p>11. - 東京駅前に新丸ビル完成</p> |
| <p>1. - 日本大ダム会議設立, 国際大ダム会議へ再加入承認</p> <p>5. - 日本鉄道施設協会設立</p> <p>5. - 日本土質基礎工学委員会「土と基礎」創刊</p> <p>12.11 日本学術会議会員に本会の菊池明, 中原寿一郎, 矢野勝正, 田淵壽郎が当選</p> <p>*. - 三浦義男, 小沢久太郎, 鹿島守之助(特別会員)が参議院議員に当選</p> <p>*. - 八田嘉明, 拓殖大学学長に就任</p> | <p>5.23~24 東北支部昭和28年度通常総会, 第9回年講開催に協力</p> | <p>12. 建設省, 参宮国道(松坂-宇治山田間)改良工事を完成(道路整備特別措置法による初の有料道路)</p> <p>*. - オランダに大暴風雨, 187kmの堤防決壊</p> | <p>2. - NHK, 東京地区でテレビの本放送開始</p> <p>6. - 北九州全域に未曾有の豪雨. 死者・行方不明1028人. 全壊・流出家屋11965戸</p> <p>7. - 朝鮮休戦協定調印</p> <p>12. - 奄美群島日本復帰</p> <p>*. - ガソリン税公布</p> |
| <p>3. - 日本建設機械化協会設立</p> <p>4. - 日本測地学会設立</p> <p>9. - 全国防災学会設立</p> | | <p>1. - 営団, 丸の内線池袋-お茶の水間(6.6km)を開通</p> <p>1. - 国鉄, 青函トンネル起工式挙行</p> <p>4. - 関西電力(株), 木曾川に丸山ダム(H=98.2m)完成</p> <p>12. - 中部電力(株), 東上田発電所(岐阜県)第4号トンネル(延長3644m)貫通</p> <p>*. - ローマの地下鉄開通</p> <p>*. - ソ連に初の原子力発電所(出力5000kW)完成</p> <p>*. - ウガンダにオーエン</p> | <p>1. - 日本航空(株), 国際線(東京-サンフランシスコ間)へ進出</p> <p>3. - 第五福竜丸がビキニ環礁で「死の灰」をかぶる</p> <p>6. - 防衛庁設置法, 自衛隊法公布</p> <p>7. - ジュネーブ協定調印</p> <p>9. - 洞爺丸台風襲来, 洞爺丸沈没で死者, 行方不明1155人</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 演会 9.4 第1回橋梁・構造工学研究発表会(共催) 10.27~29 創立40周年記念式典, 見学会 11.20~21 海岸工学研究会(講演16題, 第2回以降海岸工学講演会) 11.25~26 第1回風のシンポジウム(共催) *.- 理事会(この年11回, 臨時1回開催) *.- 常議員会(この年1回, 臨時1回開催) | |
| 1955 (昭和30) | 5.28 会長 菊池 明 副会長 種谷 実 藤井松太郎 12. 末 会員数 13 175名 | 1.- 安東功君より10 000円の寄附金 | 5.28 通常総会(福岡市電気ビル大ホール) 5.28~29 第11回年次学術講演会(九州大学)発表論文183編 5.30~31 見学会(伊之浦橋ほか) 7.19 講演会「ソ連, 中国の土木事業について」矢野勝正 8.17~19 夏期講習会「鋼橋示方書とPC指針」 8.20 見学会(小河内ダム工事ほか) 9.6 構造物の安定度に関する研究発表会(共催), 発表数16編 9.7~9 第5回応用力学連合講演会(講演77題) 10.17~18 風に関するシンポジウム(共催)講演13題 10.28 国際会議報告講演会(講演5題) 11.11~12 秋のエキスカション(五十里ダムほか) 11.21~22 第2回海岸工学講演会(講演19題) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 常議員会(この年3回開催) | 1.19 海難防止港湾施設委員会 2.15 溶接鋼鉄道橋設計示方書委員会 2.15 海岸工学委員会 7.18 土木用語辞典編集委員会 9.- 海岸工学用語集小委員会 10.- 編集企画委員会 10.18 コンクリート標準示方書改訂委員会 10.18 大阪駅地盤沈下対策委員会 11.16 耐震工学委員会 12.16 論文編集委員会(4部会) |
| 1956 (昭和31) | 5.26 会長 平山復二郎 副会長 米田 正文 種谷 実 12.31 会員数 13 235名 | 2.- 論文集を隔月刊とする 3.28 会費を正員1 000円, 准員700円, 学生員500円, 特別員1級10 000円, 2級6 000円, 3級4 000円に改正 5.26 総会において谷口三郎, 島崎孝彦の2名を名誉会員推挙 7.31 土木会館建設工事着工(高野建設(株)修祓式) | 5.14~15 第1回水理研究会講演会(日本地球物理学連合の講演会の一部として, 講演22題) 5.26 通常総会(早稲田大学) 5.26~27 日本工学会大会土木部会に年次学術講演会を振りかえ(早稲田大学) 8.22~25 夏期講習会「災害とその対策」 8.25 見学会(小河内ダム工事ほか) 9.7 橋梁構造工学研究発表会(日本学術会議橋梁構造工学研 | 2.21 水理公式集委員会 7.12 海岸保全施設小委員会 12.18 海岸工学委員会波力小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---|--|
| | | フォールダム完成（貯水容量 2 048 億 m ³ の巨大ダム） | |
| 7.22 Housner, Hudson 両教 授歓迎会 9. - 国際建設技術協会設立 10. - プレストレストコンク リート工業協会設立 12.20 訪日中国科学視察団懇 談会 | 5.28~29 西部支部, 昭和 30 年度通常総会, 第 11 回年講開 催に協力 | 5. - 九州電力㈱, 宮崎県耳川 に上椎葉ダム (H=110 m) 完成 9. - 東京電力㈱, 利根川に須 田貝ダム (H=72.0 m) 完成 10. - 建設省, 長崎県に西海 橋 (橋長: 316.2 m) 完成 12. - 原子力基本法ほか原子 力 3 法公布 | 5. - 宇高連絡船紫雲丸事故, 死者 168 人 7. - 日本住宅公団設立 11. - 保守合同, 自由民主党 結成 *. - 神武景気はじまる |
| 8. - 河川水温調査会設立 12.3 日本水理科学訪中代表団 歓迎午餐会 12.10 日本学術会議会員に本 会の千秋邦夫, 米田正文が当選 *. - 内海清温, 電源開発 (株)総裁に就任 | | 4. - 日本道路公団設立 8. - 電源開発㈱, 天竜川に佐 久間ダム (H=150.0 m) 完成 8. - アメリカよりワトキンス 調査団来日, 道路政策に助言 *. - ソ連, モンゴル-中国 連結鉄道開通 | 3. - 科学技術庁設置 3. - 国産初の本格的電子計算 機完成 4. - 首都圏整備法公布 5. - 海岸法, 空港整備法, 都 市公園法, 公布 6. - 大衆消費時代の始まり 6. - 工業用水法公布 10. - 日ソ国交回復に関する 共同宣言に調印 |

(社) 土 木 学 会 の 動 き

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|---|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 究連絡委員会ほか共催) 9.28 土木工業生産性視察報告講演会(講演4題) 9.29 第1回世界地震工学会議報告会(共催, 講演5題) 10.20 秋のエキスカーション(鳴子ダムおよび発電所工事の見学ほか) 11.12~13 風に関するシンポジウム(講演24題) 11.21~22 第3回海岸工学講演会(講演26題) 11.28~30 改訂コンクリート標準示方書講習会 11.30 国際橋梁構造工学会大会報告講演会(講演5題) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 常議員会(この年2回開催) | |
| 1957 (昭和32) | 6.1 会長 内海 清温 副会長 篠原 武司 米田 正文 12. 末 会員数 13 969 名 | 3.5 土木会館完成(440 m ²) 4.1 新事務所を東京都新宿区四谷1丁目に置く 4.1 特別会費を1級 A 5万円以上, 1級 B 3万円以上, 1級 C 1万円以上, 2級 6 000 円(据置), 3級 4 000 円(据置)と改正および級の変更 4.17 学会会議室使用料を決定 4.- 会誌広告掲載料を改正 5.28 賛助員寄附金値上げに伴う規則改正 6.1 総会において平井喜久松, 永井専三, 小野諒兄の3名を名誉会員推挙 | 1.21 水理科学訪中代表団報告講演会(講演5題) 4.2 土木会館落成披露会 5.13 第2回水理研究会講演会(講演14題) 6.1 通常総会(北海道大学工学部) 6.1~2 第12回年次学術講演会(北海道大学工学部)発表論文195編 6.2~5 見学会(札幌市内コースほか) 8.28~29 夏期講習会「改訂水理公式集ほか」 8.30 見学会(東京・川崎・横浜各港ほか) 9.6 橋梁構造工学研究発表会(講演12題) 9.7~9 第7回応力連合講演会 9.10~12 第1回地震工学研究発表会(講演24題) 10.15 海外建設事情講演会 10.25~26 秋のエキスカーション(電源開発田子倉ダム工事) 10.28~29 第1回材料試験連合講演会(共催, 講演78題) 11.11~12 風に関するシンポジウム(講演15題) 11.25~26 第4回海岸工学講演会(講演22題) *.- 理事会(この年12回開催, 臨時1回開催) | 1.18 土木振興対策委員会 4.17 原子力委員会(32年7月18日名称を原子力土木技術委員会と改称) 4.17 土木設計管理小委員会(土木振興対策委員会の下部組織として設置) 6.18 フライアッシュ小委員会 7.- 文献調査委員会 9.12 コンクリート標準示方書解説改訂小委員会 12.17 高張力鋼鉄道橋研究委員会 |
| 1958 (昭和33) | 5.24 会長 米田 正文 | 5.23 准員制廃止に伴う定款の一部改正 | 5.22 第3回水理研究会講演会(講演19題) | 1.21 土木会館用地委員会 7.24 定款改正特別委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|---|--|
| <p>1. - 日本ダム協会設立 2. 15~21 エカフェ内陸運輸委員会に米田副会長が日本政府主席代表として出席 9.5 永田年（国際大ダム会議日本国内委員会副委員長）国際大ダム会議副総裁に就任</p> | <p>2. - 西部支部が1953年の「西日本水害調査報告書」を自主出版 6. 1~2 北海道支部が昭和32年度通常総会・第12回年講開催に協力 11.9 東北支部が支部創立20周年記念行事（仙台商工会議所）式典、記念講演2題、映画会、懇親会、「創立20周年記念誌」（1957.12） *.- 関西支部が支部専従職員を採用</p> | <p>4. - ~6. - 高速自動車国道法、特定多目的ダム法、水道法、駐車場法、技術士法の各法公布 11. - 名古屋市交通局、地下鉄名古屋一栄町間開業 11. - 東京都、小河内ダム（H=149 m）完成 12. - 上野動物園に日本初のモノレール登場 *.- 中国、武漢長江大橋（鉄道・道路併用橋で全長1670 m）完成</p> | <p>3. - EEC条約調印 8. - 日本原子力発電所で第一号実験炉完成 10. - ソ連、初の人工衛星（スプートニク1号）打ち上げに成功 12. - 新長期経済計画閣議決定 *.- カラーテレビ実験放送開始</p> |
| <p>2. - プレストレストコンクリート技術協会設立</p> | <p>9.15 関西支部が創立30周年記念座談会を開催（米田会長出席）</p> | <p>2. - 関西電力㈱、黒部第四発電所工事用の黒部トンネル（延長）</p> | <p>9. - 狩野川台風、死者・行方不明1269人</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|--|---|---|--|
| | 会 副 会 員 長 会 員 長 数 | 組 織・運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | 副会長 本間 仁 篠原 武司 12. 末 会員数 14 617 名 | 5. 24 総会において福留並喜、 橋本敬之、牧野雅楽之丞、田中 豊の4名を名誉会員推挙 10. 16 定款を一部改正、准員 廃止を決定 | 5. 24 通常総会（早稲田大学小 野記念講堂） 5. 24～25 第 13 回年次学術講 演会（早稲田大学 19 号館）発 表論文 195 編 5. 25～27 見学会（東海村原子 力発電所ほか） 8. 27～28 夏期講習会「新しい 建設工法」 9. 5 第 5 回橋梁構造研究発表 会（講演 14 題） 9. 6～8 第 8 回応用力学連合講 演会 9. 9～10 第 2 回地震工学研究 発表会（講演 21 題） 10. 10～11 秋のエキスカ ーション（相模湖嵐山橋工事ほ か） 11. 11～12 風に関するシンポ ジウム（講演 13 題） 11. 21～22 第 5 回海岸工学講 演会（講演 25 題） * - 理事会（この年 12 回開 催） * - 常議員会（この年 3 回 開催） | |
| 1959 (昭和 34) | 6. 13 会 長 田中 茂美 副会長 富樫 凱一 本間 仁 12. 31 会員数 14 896 名 | 3. 31 准員が全面的に正員に転 格 6. 13 総会において鈴木雅次、 吉田徳次郎、平山復二郎、黒田 武定、堀越清六、高西敬義の 6 名を名誉会員推挙 11. 30 定款を一部改正、専務 理事制設置 11. 30 常議員会、末森猛雄を 初代専務理事に選出 * - 図書貸出規定を決定 | 6. 12 第 4 回水理研究会講演会 (講演 20 題) 6. 13 通常総会（広島大学教育 学部講堂） 6. 13～14 第 14 回年次学術講 演会（広島大学）発表論文 235 編 8. 28～29 夏期講習会「トンネ ルと掘削工法」 8. 29～31 第 9 回応用力学連合 講演会 9. 14 橋梁構造工学研究発表会 「プレストレス構造に関する研 究」講演 17 題 9. 17～18 第 3 回地震工学研究 発表会（講演 27 題） 10. 23～24 秋のエキスカ ーション（黒部川第四発電所） 11. 6～7 第 6 回海岸工学講演 会（講演 22 題） * - 理事会（この年 12 回開 催） * - 常議員会（この年 3 回 開催） | 8. 25 土木会館委員会（のち土 木会館用地委員会と合併） 9. 18 構造物耐震設計研究委員 会 10. - 土木賞規約制定委員会 12. - 災害対策研究委員会 |
| 1960 (昭和 35) | 5. 28 会 長 沼田 政矩 副会長 瀧山 養 富樫 凱一 12. 28 会員数 15 428 名 | 3. 24 外人会員の会費（外貨送 金）を 5 ドルと決定 3. 30 会費を正員 1 200 円、学 生員 600 円に改正 5. 28 総会において池田嘉六、 高橋甚也、菊池英彦、永田民 | 2. 11～13 第 1 回原子力研究総 合発表会（共催、講演 279 題、 うち土木関係 8） 4. 19 フライアッシュのシンポ ジウム（講演 9 題） 5. 27 第 5 回水理研究会講演会 | 5. 18 プレストレストコンク リート設計施工指針改訂小委員 会 5. 18 八郎潟干拓船越水道河口 水理特別委員会 11. 22 PC グラウト専門委員 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|--|--|
| <p>5.7 国際溶接学会 1958 年大会 日本代表として本会推薦の成瀬 勝武を選出</p> <p>10. - 日本工業用水協会設立 *.- 米田正文, 建設事務次 官に就任 *.- 福田武雄, 東大生研所 長に就任</p> | <p>席). この年から各種行事の展 開を開始</p> | <p>長 10 193 m) 貫通</p> <p>3. - 道路公団, 関門国道トン ネル(全長 3 461 m) 完成. 1939 年 5 月着工</p> <p>8. - 道路構造令, 他関連法律 多数公布</p> <p>12. - 道路公団, 自動車専用 の新笹子トンネル(延長 2 953 m) 完成</p> <p>*.- 西ドイツ, テオドール ・ホイス橋架設</p> <p>*.- バリでラ・デファン ス地区整備計画(815 ha に及ぶ 100 年ぶりの改造計画)に着手</p> <p>*.- ソ連で世界最大のクイ ブイシェフ水力発電所完成</p> | <p>12. - 東京タワー(高さ 333 m) 完成</p> |
| <p>3.1 三浦義男, 宮城県知事に 当選</p> <p>6.2 小沢久太郎, 米田正文, 天竺良吉, 参議院議員に当選</p> <p>10. - 吉田徳次郎, 藍綬褒章 を受章</p> <p>11.24 日本学術会議会員に本 会の石原藤次郎, 福田武雄, 吉 藤幸朔が当選</p> | <p>6.13~14 中国四国支部が昭和 34 年度通常総会・第 14 回年講 開催に協力</p> <p>11.8 関西支部年次学術講演会 (47 題), この年から「講演概 要集」を毎年刊行</p> | <p>6. - 首都高速道路公団設立</p> <p>12. - フランスのマルバッセ ダム(H=65.0 m)が決壊</p> <p>*.- カナダとアメリカが共 同し, セントローレンス水路 (五大湖を結ぶ)が完成</p> <p>*.- ロンドンーバーミンガ ム間にイギリス初の高速道路完 成</p> | <p>9. - 伊勢湾台風, 東海地方に 明治以来最大の被害. 死者・行 方不明 5 041, 全壊家屋 36 135 戸.</p> <p>*.- 高度成長時代, 消費革 命始まる</p> |
| <p>1. - 日本応用地質学会設立</p> <p>5.10 大坪喜久太郎, 室蘭工業 大学学長に就任</p> <p>7.11~18 第 2 回世界地震工学 会議(東京・京都)</p> <p>*.- 国際ダム会議年次総</p> | | <p>3. - ビルマのバルーチャン水 力発電所 1 期工事および送電線 工事竣工</p> <p>7. - 建設省, 国土地理院設置</p> <p>10. - 電源開発, 福島県只 見川に田子倉ダム(H=145 m)</p> | <p>5. - チリ地震津波. 三陸に大 被害</p> <p>6. - 日米新安保条約調印</p> <p>12. - 国民所得倍増計画閣議 決定</p> <p>*.- カラーテレビジョン本</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|--|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | 也、齊藤静脩、村山喜一郎、田井九一、山田隆二の8名を名誉会員推挙 7. - 会誌広告料を改正 | (講演18題) 5.28 通常総会(早稲田大学大隈会館) 5.28 第15回年次学術講演会(早稲田大学、発表論文221編) 8.4~5 有志見学会(御母衣ダム工事) 8.25~27 夏期講習会「最近の道路問題と高速道路」 8.27 見学会(京葉道路、土研千葉支所ほか) 9.1~3 第10回応用力学連合講演会 9.10 第4回材料試験連合講演会 10.7~8 第7回橋梁構造工学研究発表会(講演18題) 11.1~6 秋のエキスカーション(東海道視察バス旅行、道路工事その他) 11.4 風のシンポジウム(講演20題) 11.7~8 第4回地震工学研究発表会(講演3題) 11.10~11 第7回海岸工学講演会(講演34題) *.- 理事会(この年11回開催) *.- 常議員会(この年2回、臨時1回開催) | 会 12.21 出版企画委員会(昭和45年5月名称を出版委員会と改称) |
| 1961 (昭和36) | 5.27 会長 永田 年 副会長 山本 三郎 瀧山 養 12. 末 会員数 15 116名 | 1.30 特別会員の級変更および金額を改正 4.15 学会誌定価を200円に改正 5.27 総会において内田泰郎、花井又太郎、内海清温、原口忠次郎、近藤博夫、藤井真透、田淵寿郎、山崎匡輔、萩原俊一の9名を名誉会員推挙 7.31 土木教育に関する建議書を文部大臣に提出(土木技術者不足対策のため) 10.25 吉田徳次郎博士記念事業委員会から申出の「吉田賞および吉田研究奨励賞」設置 | 2.15~18 第2回原子力研究総合発表会 5.26 第6回水理研究会講演会(講演16題) 5.27 通常総会(名古屋工業大学講堂) 5.27~28 第16回年次学術講演会(名古屋工業大学)発表論文172編 5.28 コンクリート懇談会(名古屋工業大学) 8.23~25 夏期講習会「改訂プレストレストコンクリート設計施工指針ほか」 8.30~9.1 第11回応用力学連合講演会 9.7~8 第5回材料試験連合講演会 9.14~15 第8回海岸工学講演会(講演35題) 10.16~17 第5回地震工学研究発表会(講演22題) 10.18 第8回橋梁構造工学研究発表会 10.20 講習会(共催)「プレスト | 1.16 東京湾沿岸地域における貨物流動調査委員会 5.22 異形鉄筋設計研究小委員会 9.27 創立50周年記念事業委員会 10.3 プレストレストコンクリート鉄道橋設計施工基準研究小委員会 10.23 吉田賞選考委員会 10.- 合成桁鉄道橋示方書委員会 11.11 高校土木教育研究会(昭和38年6月委員会に昇格改称) |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|---|---|
| 会（東京） *.- 藤田亀太郎, レジオン ドヌール勲章受章 *.- John L. Savage 博士 記念文庫を当学会で管理 | | 完成 | 格放送開始 |
| 4.14 ギョン氏来日, 各地で講演会 4.29 杉戸清, 名古屋市長に就任 5.7 メナール博士（フランス国立工業大学教授）講演 11.15 Arthur T. Ippen 教授懇談会・歓迎パーティー 8.- 日本埋立浚渫協会設立 8.- 全国測量業協会設立 *.- 山本三郎, 建設事務次官に就任 *.- 特別会員アジア航空測量（株）第13回毎日文化工業技術賞を受賞 | 2.28 北海道支部「第1回支部奨励賞」を3論文に授賞（93年度で34回） 5.27~28 中部支部が昭和36年度通常総会・第16回年講開催に協力 10.1 関西支部が近畿地建内から大阪建設会館地下に独立事務所を開設 | 4.- 名古屋大学に土木工学科設置 9.- 愛知用水事業完成（年間給水量約2億5000万m ³ .1957年着工） 10.- 電源開発㈱, 岐阜県庄川に御母衣（H=131m）ダム完成 *.- シベリア鉄道, モスクワ-バイカル湖間完成 *.- イタリアでアーチ式バイオントダム（H=261.6m）完成 | 6.- 梅雨前線豪雨, 全国で家屋被害43万戸 9.- 第二室戸台風襲来 11.- 災害対策基本法公布 *.- 14型カラーテレビジョン登場 |

(社) 土 木 学 会 の 動 き

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|----------------|---|--|---|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | レストコンクリート改訂設計施工指針を主として」(講演7題) 10.21 関東地区学生のための映画会(62.3まで6回開催) 11.7~8 秋のエキスカッション(関門トンネル,北九州道路ほか) 11.14 風に関するシンポジウム(講演8題) *.- 理事会(この年11回開催,臨時1回開催) *.- 常議員会(この年2回,臨時1回開催) | |
| 1962 (昭和37) | 5.26 会長 藤井松太郎 副会長 岡本 舜三 山本 三郎 12. 末 会員数 15 459名 | 1.16 会費を正員1800円,学生員900円に改正 4.- 土木学会論文集が月刊となり購読料徴収制となる 5.26 総会において池辺稻生,金子源一郎,岩崎雄治,佐藤忠三郎,小野基樹,高橋三郎,大蔵公望,中村廉次,寛斌治,三輪周蔵の10氏を名誉会員推挙 | 4.21 関東地区学生諸君のための映画会(以降62年度に11回41種上映,うち2回は講演会併催) 5.25 第1回異形鉄筋シンポジウム(講演13題) 5.26 通常総会(早稲田大学大隈講堂) 5.26~27 第17回年次学術講演会(早稲田大学)発表論文288編 6.21~22 第1回トンネル工学に関するシンポジウム(講演6題) 8.30 夏期講習会「最近の基礎工法」 9.28~29 北海道見学会(札幌室蘭間弾丸道路,苫小牧港工事ほか) 10.15 第7回水理講演会(講演10題) 10.16~17 第9回海岸工学講演会(講演31題) 10.25~26 秋のエキスカッション(電源開発尾鷲第1,第2発電所ほか) 11.7 国鉄新幹線試乗および工事見学会(鴨宮,相模原左岸往復) 11.10 見学会(国鉄新幹線新丹那トンネル東口) 11.15~17 地震工学国内シンポジウム(共催) 11.29~30 第1回岩盤力学に関するシンポジウム(講演12題) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 常議員会(この年3回,臨時1回開催) | 1.24 本州四国連絡橋技術調査委員会 2.23 トンネル工学委員会 4.25 水理公式集改訂委員会 4.- 学術講演連絡委員会 5.18 衛生工学委員会 8.14 耐震構造設計研究委員会 11.29 コンクリート構造急速施工委員会 11.29 異形鉄筋実験研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|--|--|
| | | | |
| <p>1.3 田淵寿郎「名古屋市の都市計画につくした功績」で昭和36年度朝日文化賞受賞</p> <p>1. - 日本写真測量学会設立</p> <p>6.12 F. A. Camp 教授講演会</p> <p>8.24 J. W. Daily 教授講演会</p> <p>9.1 および13 Leopold Escande 教授講演会・歓迎会</p> <p>9.18 Anton Grzywienski 教授講演会・歓迎会</p> <p>10.14~20 I. R. F. 第4回世界大会に会員5名出席</p> <p>*. - 稲浦鹿蔵, 江藤智, 岩沢忠恭, 参議院議員に当選</p> | <p>6. - 西部支部が専従(嘱託)職員を採用</p> <p>*. - 北海道支部が専従職員を採用</p> | <p>4. - 運輸省, 港湾技術研究所設立</p> <p>4. - 工業高等専門学校発足(5年制)</p> <p>5. - 新産業都市建設促進法公布</p> <p>5. - 水資源開発公団設立</p> <p>5. - 阪神高速道路公団設立</p> <p>6. - 福島県只見川に奥只見ダム(H=157 m)完成</p> <p>6. - 国鉄, 北陸本線北陸トンネル(延長13 870 m)完成</p> <p>9. - 若戸大橋(橋長: 680 m)完成</p> <p>10. - 新潟-東京間に天然ガスパイプライン(335 km)完成</p> <p>12. - 道路公団, 銚子大橋(橋長: 1 203.2 m)完成</p> <p>*. - 激甚災害特例法公布</p> <p>*. - 全国総合開発計画閣議決定</p> <p>*. - スイスの重力式グラントディキサスダム(H=284 m)完成</p> <p>*. - ベネズエラ, 全長8 700 mのマラカイボ橋架設</p> | <p>5. - 三河島事件</p> <p>8. - 初の国産旅客機(YS-11)試験飛行に成功</p> <p>8. - 三宅島が22年ぶりの大噴火</p> <p>10. - キューバ危機</p> <p>*. - 家庭用カラーテレビジョン発売開始</p> |

| 年 | 会 副 会 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1963 (昭和 38) | 5. 24 会 長 山本 三郎 副会長 好井 宏海 岡本 舜三 12. 末 会員数 17 058 名 | 5. 24 関東支部設置を決定 5. 24 総会において阿部一郎、 鷹部屋福平、青木楠男、富永正 義、岩沢忠恭、林千秋、泉谷平 次郎、松尾守治、佐伯利吉、鈴 木角一郎の 10 名を名誉会員推 挙 5. - 2 代専務理事 羽田巖 (~1971.5) 8. 1 定款を全面改正、正員を 正会員(以下同様)と改称、副 会長 1 名増員を含む理事の増員 と監事 2 名の設置、また常議員 を評議員と改称して増加 12. 15 会誌定価を 1 冊 200 円 に改正 | 1. 22 国鉄新幹線試乗会(鴨 宮、相模川左岸往復) 2. 20 国際海岸工学会議報告会 3. 19 最近の基礎工法を主とし た講演会 4. 19 コンクリート用接着剤に 関するシンポジウム(講演 12 題) 4. 20 関東地区学生のための映 画会(以降年度内に 11 回, 34 編上映) 5. 24 通常総会(京都会館) 5. 25~26 第 18 回年次学術講 演会(京都大学)発表論文 347 編 8. 22~24 夏期講習会「最近の 水工学について」 8. 24 見学会(運輸省港湾技術 研究所, 城ヶ島大橋ほか) 10. 17 第 1 回土木工学系学生 のための映画講演会 10. 21 第 8 回水理講演会(講 演 15 題) 10. 21~22 第 6 回地震工学研 究発表会(講演 19 題) 10. 22~23 第 10 回海岸工学講 演会(講演 32 題) 10. 25 構造用軽量骨材に関す るシンポジウム(講演 17 題) 11. 7~8 秋のエキスカーショ ン(日本原子力発電所東海研究 所ほか) 11. 15 工事管理講習会(講演 4 題) 11. 21~22 第 2 回岩盤力学に 関するシンポジウム(講演 13 題) * - 理事会(この年 12 回開 催) * - 常議員会(この年 2 回 開催) | 3. - 原子力関係コンクリート 小委員会 3. - 創立 50 周年記念事業総 務委員会 4. 18 岩盤力学委員会 4. - 創立 50 周年記念事業行 事委員会 4. - 川俣アーチダム編集小委 員会 4. - 創立 50 周年記念事業記 念出版委員会 4. - 建設/創造/技術編集委 員会 4. - 日本の土木技術編集委員 会 7. 25 大学土木教育委員会 7. - 図書館建設委員会 8. - 土木工学ハンドブック改 訂委員会 8. 26 土木用語委員会 |
| 1964 (昭和 39) 創立 50 周年 | 5. 29 会 長 福田 武雄 副会長 大石 勇 山内 一郎 好井 宏海 11. 末 会員数 19 336 名 | 4. - 土木学会・日本建築学会 関係コンクリート用語統一 5. 29 総会において稲浦鹿蔵、 小川敬次郎、岡部三郎、坂上丈 三郎、鮫島茂、高橋嘉一郎、武 居高四郎、沼田政矩、星野茂 樹、三浦義男、鷲尾蟻竜の 11 名を名誉会員推挙 8. 8 定款を一部改正、土木図 書館関係条項追加 8. 28 旧交会より募集 70 万円 の寄附金(真田秀吉、青山士、 谷口三郎記念基金) 11. 24 土木図書館落成式(2 階建て 263 m ² , 大蔵省より寄 | 5. 29 通常総会(仙台市七十七 銀行) 5. 30~31 第 19 回年次学術講 演会(東北大学)発表論文 393 編 6. 19 附属土木図書館起工式 7. 20~25, 27~8. 1 第 1 回水 工学に関する夏期研修会(講演 16 題) 8. 27~28 夏期講習会(第 2 回 トンネル工学に関するシンポジ ウムとして) 10. 5~6 第 7 回地震工学研究 発表会(講演 19 題) 10. 6 東海道新幹線と土木技術 | 2. 28 土木図書館運営委員会 4. 18 河北潟干拓河口工事研究 委員会 5. - ずい道土庄と覆工の所要 巻厚に関する研究小委員会 5. - トンネルの鋼製支保工と 覆工に関する研究小委員会 6. - 水文学小委員会 7. 24 土木振動学便覧編集小委 員会 7. 24 新潟震災調査委員会 7. - プレストレストコンク リート小委員会(昭和 40 年に PC 工法小委員会と改称) 10. - 高速道路トンネルの標 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|---|--|
| <p>1.4 「黒部川第四発電所の建設」(代表 野瀬正儀) 昭和 37 年度朝日文化賞受賞</p> <p>1.8 小沢久太郎, 郵政大臣に就任</p> <p>2.24 三浦義男, 宮城県知事に再選</p> <p>3.7 第 1 回日本産業映画コンクールに土木関係よりワイド・フランジハ橋製鉄(産業映画賞), 静かなる建築方法・竹中工務店, 若戸大橋・日本道路公団(以上奨励賞)が入選</p> <p>3. - 建設コンサルタンツ協会設立</p> <p>5.1~4 第 2 回国際土質工学会アジア地域会議(東京)</p> <p>5.15~21 第 5 回国際かんがい排水会議総会(東京)</p> <p>8. - 地すべり学会設立</p> <p>9.3~8 IAHR キャビテーションおよび水力機械国際会議(仙台市)</p> <p>*. - 山内一郎, 建設事務次官に就任</p> <p>*. - 日本学術会議会員に本会の石原藤次郎, 最上武雄, 真井耕象が当選</p> | <p>5.24~26 関西支部が昭和 38 年度通常総会・第 18 回年講開催に協力</p> | <p>4. - 共同溝の整備等に関する特別措置法公布</p> <p>4. - 大阪梅田地下街(17 758 m で日本最大)完成</p> <p>6. - 関西電力(株), 黒部ダム(H=186 m)および黒部川第四発電所(出力: 25 万 8 000 kW)完成</p> <p>7. - 名神高速道路, 尼崎一栗東間開通(1957 年着工)</p> <p>7. - 近畿圏整備法公布</p> <p>*. - イタリアのバイオントダムが地すべりで大事故を発生(1961 年竣工)</p> <p>*. - 道路交通法改正公布(国道の等級廃止)</p> | <p>1. - 日本海側に豪雪</p> <p>11. - ケネディ米大統領ダラスで暗殺される</p> <p>11. - 鶴見事故</p> <p>*. - 自動販売機登場</p> |
| <p>2.28 Sorevtz 氏を囲む会</p> <p>4. - 日本下水道協会設立</p> <p>6. - 日本橋梁建設協会設立</p> <p>8.23~29 第 2 回国際水質汚濁研究会議(東京)大蔵省により寄付金の免税措置</p> <p>8.31 Talobre 氏を囲む茶話会</p> <p>10.5,6,8 創立 50 周年記念国土開発映画コンクール予備審査, 本審査で最優秀作品 1, 優秀作品 2, 入選作品 3 を決定</p> <p>12.21 特別会員尼崎製鉄(株)が「高強度異形鉄筋の開発と企業化」で第 16 回毎日工業技術</p> | <p>4.30 関東支部設立総会を発明会館で開催(支部長 當山道三)事務所は土木学会内, 本部職員が兼務</p> <p>5.29~31 東北支部が昭和 39 年度通常総会・第 19 回年講開催に協力</p> <p>9.10 関東支部が東海道新幹線試乗式を開催, 会員と家族 880 名参加</p> | <p>1. - 東海道新幹線新丹那トンネル(延長: 7 958.6 m, 1959 年 10 月着工)</p> <p>3. - 日本鉄道建設公団設立</p> <p>4. - 首都高速道路羽田海底トンネル開通</p> <p>9. - 東京モノレール, 浜松町 - 羽田開通</p> <p>9. - 琵琶湖大橋(橋長 1 350 m)完成</p> <p>9. - 運輸省, 伊勢湾高潮防波堤(延長: 8 250 m)完成</p> <p>10. - 東海道新幹線, 東京 - 新大阪間開通</p> <p>*. - アメリカ, ニューヨー</p> | <p>4. - OECD に加盟</p> <p>4. - 日本, IMF 8 条国へ移行</p> <p>6. - 新潟地震(M=7.5). 昭和 大橋落橋</p> <p>8. - 東京, 異常渇水で水不足深刻</p> <p>10. - 第 18 回オリンピック東京大会開催</p> <p>*. - 海外観光旅行自由化</p> <p>*. - 電子レンジ登場</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|---|---|--|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | 付金の免税措置) 12. - 学会誌 50 周年特集号 | 講演会(講演7 題ほか映画) 11.5 創立 50 周年記念親善ゴルフ会 11.6 創立 50 周年記念祝賀会および事業報告会 11.7 創立 50 周年記念講演会。会長講演「構造工学進展のあゆみ」福田武雄, 特別講演「わが国的高速道路について」尾之内由紀夫, 特別講演「東海道新幹線について」藤井松太郎ほか部門講演 9 編 11.8~10 創立 50 周年記念見学会(東京オリンピック関連諸施設の見学ほか) 11.8~12.11 創立 50 周年記念巡回映画会 11.11~12 岩の力学国内シンポジウム 1964 (講演 15 題) 11.25 第 1 回大学土木教育に関するシンポジウム(講演 2 題) 11.25~26 第 11 回海岸工学講演会(講演 42 題) 12.5 第 1 回衛生工学研究討論会(講演 8 題) 12.9 アルミナセメント談話会(講演 6 題) 12.10 土木系学生への講演会「わが国土木の海外進出の現状と将来性について」橋本敏男 *.- 理事会(この年 12 回開催) *.- 評議員会(この年 2 回, 臨時 2 回開催) | 準断面に関する研究小委員会 12. - 構造用軽量骨材に関する研究小委員会 |
| 1965 (昭和 40) | 5.28 会 長 岡部 三郎 副会長 水野 高明 大石 勇 山内 一郎 12. 末 会員数 22 073 名 | 1.21 土木学会役員候補者選考内規を決定 2. - 土木図書館閲覧業務を開始。会員は無料 3.15 会誌定価を 250 円に改正 5.28 総会において Arther Ippen, Leopold Escancde, 岡田信次, 菊池明, 久保田豊, 近藤泰夫, 永田年, 野口誠三の 8 名を名誉会員推挙 8.16 定款を一部改正し, 副会長を 4 名とする 12.18 会費を正会員 2 400 円, 学生会員 1 200 円, 特別特級 15 万円以上, 特別 1 級 A 10 万円, 特別 1 級 B 6 万円, 特別 1 級 C 3 万円, 特別 1 級 D 15 000 円, 特別 2 級 7 000 円に改正 5. - 功績賞, 技術賞を設置 | 2.12~13 第 9 回水理講演会(講演 15 題) 4.23 第 2 回異形鉄筋に関するシンポジウム(講演 19 題) 5.28 通常総会(福岡市明治生命ホール) 5.29~30 第 20 回年次学術講演会(福岡市民会館および九州大学工学部)発表論文 452 編 8.2~7, 9~14 第 2 回水工学に関する夏期研修会(講演 20 題) 8.26~27 夏期講習会「構造力学における最近の諸問題」 9.29~30 秋のエキスカベンション(中央道工事, 小仏トンネル工事ほか) 10.6 国際水理学会出席者報告会 10.18~19 耐震設計講習会(講演 10 題) | 1. - 日本土木史編集委員会 4.23 土木工学叢書委員会(第 2 次) 4.23 わかり易い土木講座編集委員会 4.23 表彰制度審議委員会 7.25 軟弱地盤設計研究委員会 7. - 異形鉄筋コンクリート構造物の設計例集改訂小委員会 8.27 表彰委員会 9.24 トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会 9.24 論文賞選考委員会 10.22 中海干拓事業水理研究専門委員会 10. - 書評小委員会 11. - 相模川河口調査委員会 11.25 シールド工法小委員会 11.25 太極鉄筋研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---|--|
| 賞受賞 *.- 武藤清, 耐震構造に関する研究で学士院恩賜賞 *.- 岡本舜三, 東京大学生産技術研究所長に就任 *.- 「国鉄新幹線を開発した技術グループ」(代表 島秀雄)が昭和 39 年朝日文化賞受賞 | | クにベラザノナローズ橋(最大支間 1 298 m)完成 *.- オーストラリア, シドニーにコンクリートアーチ式のグレイスビル橋(最大支間 305 m)完成 *.- アメリカ, チェサピーク湾に高速道路海底トンネル完成 | |
| 3.26 Arthur T. Ippen 教授講演会 4.20 T. Y. Lin 教授講演会 3.8 丸安隆和(代表), 第 5 回東洋レーヨン科学振興会より研究助成金を受く 4.29 会員へ春の叙勲, 岩沢忠恭 田淵寿郎 宮内義則 内海清温 橋本敬之 西原脩三 久保田豊 岡部三郎 渡辺喜三郎 原口忠次郎 金子源一郎 青木楠男 野口誠三 生野団六 森豊吉 9.1 大野正夫, アラブ共和国大使官一等書記官に就任 *.- 特別会員秩父セメント(株), 昭和 39 年度第 11 回大河内賞記念生産賞受賞 *.- 木下良作, 朝日学術奨励金を受く | 5.28~30 西部支部が昭和 40 年度通常総会・第 20 回年講(明治生命・福岡市民会館・九州大学)開催に協力 6.- 西部支部が九州建設弘済会内事務所へ独立 | 6.- 寝屋川流域下水道工事起工(流域下水道事業はじまる) 7.- 名神高速道路全線(延長: 189.8 km)開通 7.- フランスとイタリアの国境に世界最長のモンブラン道路トンネル(延長 11 600 m)開通 10.- 日本原子力発電(株)東海発電所, 初の商用原子力電気を送電開始(出力: 2 000 kW) | 6.- 日韓基本条約調印 6.- 阿賀野川流域で水俣病に似た有機水銀中毒患者発生 10.- 気象庁, 初の地震予報を発表 10.- 朝永振一郎, ノーベル物理学賞受賞 |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>10.20~21 第8回地震工学研究発表会(講演23題)</p> <p>11.7 第2回衛生工学研究討論会(講演11題)</p> <p>11.15~16 第3回岩盤力学に関するシンポジウム(講演14題)</p> <p>11.18~19 第12回海岸工学講演会(講演39題)</p> <p>*.- 理事会(この年12回開催)</p> <p>*.- 評議員会(この年2回, 臨時3回開催)</p> | |
| 1966 (昭和41) | <p>5.27 会長 篠原 武司 副会長 酒井 忠明 畑谷 正実 最上 武雄 水野 高明</p> <p>12. 末 会員数 23 527 名</p> | <p>2.25 土木図書館利用規定を改正</p> <p>3.30 本州四国連絡橋技術調査委員会, 本四連絡橋は技術的に実現可能と建設省・日本鉄道建設公団に中間報告書を提出</p> <p>5.9 田中豊博士記念事業委員会から申出の「田中賞」設置決定</p> <p>5.27 総会において大島太郎, 田中吉郎, 成瀬勝武の3名を名誉会員推挙</p> | <p>2.18~19 第10回水理講演会(講演22題)</p> <p>5.27 通常総会(札幌市日本生命ホール)</p> <p>5.28~29 第21回年次学術講演会(北海道大学)発表論文606編</p> <p>6.18 在日研修員のための「第1回土木学会のつどい」12か国17名が参加</p> <p>6.28 長径間吊橋の耐風設計に関する講習会(講演8編)</p> <p>8.1~6, 8~13 第3回水工学に関する夏期研修会(講演20題)</p> <p>8.25~26 夏期講習会「土木工学における振動と耐震の諸問題」</p> <p>10.21~22 秋のエキスカッション(東京電力梓川総合建設所ほか)</p> <p>11.16 第4回岩盤力学に関するシンポジウム(講演12題)</p> <p>11.17~18 土木技術者のための岩盤力学講習会(講演11題)</p> <p>11.22 第3回衛生工学研究討論会(講演13題)</p> <p>11.24 第2回国土開発映画コンクール入賞作品発表会</p> <p>11.29~30 第3回トンネル工学に関するシンポジウム(講演12題)</p> <p>12.5~6 第13回海岸工学講演会(講演32題)</p> <p>*.- 理事会(この年12回開催)</p> <p>*.- 評議員会(この年2回開催)</p> | <p>1.28 土木製図基準改訂委員会</p> <p>3.5 土木年鑑編集委員会</p> <p>5.9 田中賞選考委員会</p> <p>8.26 土木計画学研究委員会</p> <p>8.26 土木技術者研修計画委員会</p> <p>10.- 火力発電所の排水に関する研究小委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|---|
| <p>4.29 会員へ春の叙勲, 近藤泰夫 鷹部屋福平 横河時介 久保誠 西尾辰吉 鷺尾螢電 武居高四郎 黒田武定 阿部一郎 高橋三郎 水谷当起</p> <p>9.5~8 第10回国際海岸工学会議(東京)</p> <p>11.3 会員へ秋の叙勲 安倍源三郎 泉谷平次郎 広田孝一 成瀬勝武 稲浦鹿蔵 小池啓吉 星野茂樹 沼田政矩 花井新三</p> <p>11.12 青木楠男, 日本学士院会員に推挙 *.- 富樫凱一, 日本道路公団総裁に就任 *.- 日本学術会議会員に本会の速水頌一郎, 石原藤次郎, 平井敦, 田村徳一郎が当選</p> | <p>2.10 北海道支部が独立した事務所を設置(現長銀ビル), 現在に至る</p> <p>5.27~29 北海道支部が昭和41年度通常総会・第21回年講(日本生命・北海道大学)開催に協力</p> | <p>5.- 建設省, 栗子トンネル(延長5151m)完成</p> <p>7.- 新東京国際空港の建設地を千葉県成田市三里塚に閣議決定</p> <p>7.- 新東京国際空港公団設立</p> <p>8.- 国鉄, 上越線新清水トンネル(延長:13490m)貫通</p> <p>9.- 日本道路公団, 天草五橋完成</p> <p>11.- フランス, ランス潮力発電所完成 *.- ポルトガル, リスボンにサラザール橋架設 *.- イギリス, セバーン吊橋(支間長:985m)架設</p> | <p>2.- 全日空ボーイング727型機東京湾に墜落. 133人全員死亡</p> <p>3.- BOAC ボーイング707型機, 富士山付近で墜落, 124人全員死亡</p> <p>4.- NHK テレビ「おはなはん」大人気</p> <p>9.- 台風26号が関東, 東海地方を直撃死者・行方不明314人 *.- 3C(カラーテレビ, クーラー, カー)時代 *.- この年, 交通事故死者13904人「交通戦争」の用語生まれる *.- マイカー元年 *.- 中国で文化大革命始まる</p> |

(社) 土 木 学 会 の 動 き

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-----------------|--|--|---|---|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1967 (昭和 42) | 5.26 会 長 富樫 凱一 副会長 仁杉 巖 松見 三郎 酒井 忠明 最上 武雄 12. 末 会員数 25 247 名 | 5.26 総会において内林達一、大坪喜久太郎、福田武雄、宮本保の4名を名誉会員推挙 | 1.31 第1回土木計画学シンポジウム(講演19題) 2.3~4 第11回水理講演会(講演15題) 5.17 コンクリート標準示方書改訂主旨説明会 5.26 通常総会(広島銀行本店) 5.27~28 第22回年次学術講演会(広島大学)発表論文728編 7.26~29, 31~8.3 第4回水工学に関する夏期研修会(講演13題) 8.2~4 第1回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.3~4 夏期講習会「コンクリート標準示方書の改訂」 9.2~3 第4回衛生工学研究討論会(講演21題) 10.19~20 第14回海岸工学講演会(講演51題) 10.25~26 第9回地震工学研究発表会(講演28題) 11.21~22 秋のエキスカーション(東名高速道路) 11.21~22 第2回土木計画学シンポジウム(講演12題) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 評議員会(この年2回開催) | 3.24 原子炉用PSコンクリート容器に関する研究小委員会 5.12 空港舗装研究委員会 5.- ずい道覆工の合理的設計施工の基礎的研究小委員会 6.- 橋梁年報編集小委員会 7.28 下水道雨水流出量に関する小委員会 10.27 新高張力鋼を用いた鋼鉄道橋設計および製作示方書に関する研究委員会(鋼鉄道橋示方書委員会) 12.15 コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究小委員会 |
| 1968 (昭和 43) | 5.28 会 長 石原藤次郎 副会長 尾之内由紀夫 国分 正胤 仁杉 巖 松見 三郎 12. 末 会員数 27 050 名 | 5.28 総会において大塩政治郎、徳善義光、下間仲都の3名を名誉会員推挙 *.- 総会(東京,5月)と年次学術講演会(7支部交代9~11月)に分離し全国大会と呼称 *.- 学会活動の活性化のため企画委員会の設置を決定 | 2.5~6 第15回海岸工学講演会(講演57題) 2.9 第12回水理講演会(講演23題) 5.28 通常総会(私学会館) 6.14 第2回大学土木教育に関するシンポジウム(講演8題,パネル討論1題) 6.17~18 第4回トンネルに関するシンポジウム(講演15題) 7.16 応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会(講演9題) 7.31~8.3, 5~8.8 第5回水工学に関する夏期研修会(講演15題) 8.3~5 第2回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.5~7 構造実験に関する講習会 8.8~9 夏期講習会「建設技術者のための測定法」 8.26~27 第1回土木計画学講 | 1.24 トンネル工学委員会トンネル国際会議実行委員会 2.23 耐風設計研究小委員会 2.23 土木用語辞典小委員会 5.- 海岸保全施設設計便覧改訂小委員会 6.- 図書館運営小委員会 6.28 視聴覚教育委員会 8.23 アルミナセメント小委員会 8.23 地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計の研究委員会 9.27 終局強度設計小委員会 9.27 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会 10.- コンクリート用語小委員会 12.19 沈埋トンネル小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|---|
| <p>3.24 M. Abbott 氏講演会 5.8 A. W. Rotz 氏講演会 11.10 トンネル工学委員会による欧米トンネル視察団派遣 10.27 水野高明, 九州大学学長に就任 11.3 会員へ秋の叙勲, 鮫島茂 内田泰郎 井上清太郎 名須川秀二 山田隆二 桜井英記 長沢忠郎 * - 堀威夫, 阪神外貿埠頭公団理事長に就任 * - 尾之内由紀夫, 建設事務次官に就任</p> | <p>5.26~28 中国四国支部が昭和42年度通常総会・第22回年講(広島銀行, 広島大学)開催に協力 11.10 東北支部設立30周年記念式典, 記念出版「東北の土木史」刊行(1967.6)</p> | <p>3. 神戸港摩耶埠頭完成 8. 公害対策基本法公布 8. 京浜外貿埠頭公団, 阪神外貿埠頭公団設立 * - 矢木沢ダム完成(利根川) * - 名護屋大橋完成 * - 下水道行政の建設省一元化を閣議決定 * - ソ連のエニセイ河にクラスノセルスク発電所(出力500万kW)完成</p> | <p>4. - 厚生省, 新潟水俣病は昭和電工(株)鹿瀬工場の廃水が原因と発表 6. - 新潟水俣病患者13人が損害賠償請求訴訟 8. - 羽越豪雨で大水害, 死者・行方不明138人</p> |
| <p>11.13 トンネル工学委員会による欧州トンネル視察団派遣 9.10 海外連絡委員会による外国人実習生見学会 11.3 鈴木雅次, 土木界初の文化勲章を受章 11.3 会員へ秋の叙勲, 比企元 後藤憲 神村孝太郎 平川保一 西松三好 鈴木角一郎 11.30 日本学術会議会員に本会の石原藤次郎, 平井敦, 板倉忠三が当選 4. - 岩の力学連合会設立 10. - 日本流体力学会設立</p> | <p>5.23 関西支部創立40周年記念式典(科学技術センター)記念講演2題, 記念誌「関西の土木100年」(1968.5) 10.11~15 中部支部が全国大会(名古屋大学)開催に協力</p> | <p>4. - 日本初の超高層「霞が関ビル」完成 8. - 水資源開発公団, 利根大堰を完成 11. - 水資源開発公団, 利根川に下久保ダム(H=129m)を完成 * - 中国, 揚子江に道路・鉄道併用の南京長江大橋架設 * - イギリス土木学会(IC-E)が創立150周年を迎える</p> | <p>3. - 厚生省, イタイイタイ病の原因がカドミニウムが主体と発表 5. - 十勝沖地震, 死者52人 6. - 小笠原諸島, 正式に日本復帰 6. - 文化庁発足 8. - 飛騨川バス転落事故 12. - 川端康成がノーベル文学賞受賞 * - 大気汚染防止法公布</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 習会(大阪会場, 講演6題) 8.29~30 第1回土木計画学講習会(東京会場, 講演6題) 10.11~15 全国大会・第23回 年次学術講演会(名古屋大学) 発表論文 779編 10.20 第3回国土開発映画コ ンクール入賞作品発表会 11.14~15 秋のエキスカ ション(新宿副都心, 朝霞浄水 場, 秋ヶ瀬取水堰ほか) 11.21~22 第2回土木計画学 シンポジウム(講演11題) *.- 理事会(この年12回開 催) *.- 評議員会(この年2回 開催) | |
| 1969 (昭和44) | 5.30 会 長 柳沢 米吉 副会長 米谷 栄二 長浜 正雄 尾之内由紀夫 国分 正胤 12. 末 会員数 29 358名 | 1.- 土木学会論文集の名称を 土木学会論文報告集と変更 4.24 故桑原弥寿雄氏ご遺族よ り50万円の寄附金(土木図書 館図書購入費に充当) 5.30 総会において James. W. Daily, Anton Grzywienski, 佐々木銑, 堀威夫, 末森 猛雄, 水谷當起, 西松三好, 藤 井松太郎の8名を名誉会員推挙 9.26 論文の部門別分類を従来 の4部門制から5部門制に改正 | 1.25 不等質流れのシンポジウ ム(講演8題) 1.28~29 第3回土木計画学シ ンポジウム(講演10題) 1.31~2.1 第5回衛生工学研 究討論会(講演19題) 2.7~8 第13回水理講演会(講 演21題) 2.27~28 第5回岩盤力学に関 するシンポジウム(講演18題) 4.1 第2回構造用軽量骨材に 関するシンポジウム(講演32 題) 4.18~19 東名高速道路見学会 (東京~名古屋全線) 5.30 通常総会(麴町会館) 7.15~16 第10回地震工学研 究発表会(講演32題) 8.3~5 第3回高校土木科教職 員を対象とする夏期講習会 8.7~8 夏期講習会「海岸保全 施設と設計」 8.28~29 第2回土木計画学講 習会(東京会場, 講演5題) 9.4~5 第2回土木計画学講習 会(大阪会場, 講演5題) 9.26~30 全国大会・第24回 年次学術講演会(都市センター ほか5会場)発表論文598編 11.26~27 第5回トンネル工 学に関するシンポジウム(講演 16題) 12.11~12 第16回海岸工学講 演会(講演55題) *.- 理事会(この年11回開 催) *.- 評議員会(この年2回 開催) | 1.- 企画委員会 6.- ずい道の合理的設計に関 する研究小委員会 6.24 海洋開発委員会 7.- 電算機の利用に関する懇 談会 7.- JIS規格小委員会 7.25 琵琶湖の将来水質に関す る調査小委員会 7.25 土構造物の設計標準に関 する研究委員会 9.26 プレキャストコンクリ ート杭に関する研究小委員会 9.26 海外活動委員会 10.- 欧文年報編集小委員会 10.22 財政特別委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|--|
| | | | |
| <p>4.25 福田武雄, 日本工学会会長に就任</p> <p>4.29 会員へ春の叙勲, 岡田信次 野坂相如 杉本金吾</p> <p>8.27 Hunter Rouse 教授特別講演会</p> <p>8.31~9.5 第13回国際水理学会 (IAHR) (京都国際会館)</p> <p>10.28 ASCE 名誉会員 Gail A. Hathaway 博士, Arthur J. Fox, Jr. 次期会長来会</p> <p>11.21 スウェーデン技術使節団来日講演</p> <p>11.3 会員へ秋の叙勲, 田中吉郎 那須信治 西島直巳 稲葉通彦 井関正雄 花房利一</p> | <p>4. - 東北支部, 東北地建企画室から事務所を丸七ビルに移転し専従職員を採用</p> <p>9.26~30 関東支部が全国大会 (都市センターほか5会場) 開催に協力</p> | <p>1. - 国鉄, 北陸本線額城トンネル (延長1万1355m) 貫通</p> <p>3. - 農林省, 八郎潟開拓国営工事完了</p> <p>5. - 道路公団, 東名高速道路 (346.7km) を全線開通</p> <p>10. - 鹿島港開港 (1962年5月着工)</p> <p>11. - 東京電力 (株), 梓川電源開発工事完工. 奈川渡ダムなど3ダムによる大容量揚水発電</p> <p>*. - 閣議, 新全国総合開発計画を決定</p> <p>*. - 北京に初の地下鉄 (延長24km) 完成</p> | <p>1. - 東大, 安田講堂で攻防戦</p> <p>6. - 都市再開発法公布</p> <p>7. - 「アポロ11号」が月面に着陸. 人類初の月面第一歩</p> <p>*. - 西日本で豪雨. 死者84名</p> <p>*. - 東京に大雪, 交通機関大混乱</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|---|---|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1970 (昭和 45) | 5. 29 会 長 大石 重成 副会長 河上 房義 齋藤 義治 米谷 栄二 長浜 正雄 12. 末 会員数 31 562 名 | 1. 23 論文報告集購読料を 2 000 円に改正 5. 29 総会において井関正雄、 田中茂美、石田二郎、當山道 三、浦上衛門、松本金吾、三池 鎮浪、米田正文の 8 名を名誉会 員推挙 6. 19 故鈴木公雄氏ご遺族より 50 万円の寄附金(土木図書館 図書購入費に充当) | 1. 30~31 第 6 回衛生工学研究 討論会(講演 16 題) 2. 5~6 第 6 回岩盤力学に関する シンポジウム(講演 18 題) 2. 7 第 4 回土木計画学シンポ ジウム(講演 3 題) 2. 13 第 14 回水理講演会(国 際会議報告 1 題、講演 15 題) 3. 26~27 土質試験法に関する 講習会(講演 5 題) 4. 18 第 1 回海洋開発シンポジ ウム(講演 5 題) 5. 8~9 第 1 回構造物の耐風性 に関するシンポジウム 5. 29 通常総会(麴町会館) 7. 24~25 第 3 回土木計画学講 習会(東京会場、講演 6 題) 7. 28~30 第 4 回高校土木科教 職員を対象とする夏期講習会 7. 29~8. 1, 3~6 第 6 回水工 学に関する夏期研修会(講演 19 題) 7. 29~8. 6 第 6 回水工学に関 する夏期研修会(講演 19 題) 7. 31~8. 1 第 3 回土木計画学 講習会(札幌会場、講演 6 題) 8. 20~21 夏期講習会「土木工 事の積算」 11. 6~9 全国大会・第 25 回年 次学術講演会(大阪日本生命ほ か)発表論文 785 編 11. 26~28 第 17 回海岸工学講 演会(講演 65 題) 11. 12~13 秋のエキスカ ション(東京電力福島原子力発 電所ほか) 11. 20 第 4 回国土開発映画コ ンクール入賞作品発表会 12. 5 鋼鉄道橋設計示方書改訂 に伴う講習会(講演 5 題) *.- 理事会(この年 12 回開 催) *.- 評議員会(この年 2 回 開催) | 3. 20 パイプライン懇談会 4. 24 プレストレストコンク リート杭設計施工指針小委員会 4. 24 青函トンネル土工研究委 員会 4. 25 投稿の手引き小委員会 5. 15 膨張性セメント混和材を 用いたコンクリートに関する研 究小委員会 6.- 会誌・論文集編集委員会 連絡会 6.- 欧文論文集編集小委員会 6. 19 石油類パイプライン研究 委員会 7. 24 原子力土木委員会 7. 24 建設コンサルタント委員 会 7.- 環境問題小委員会 9. 25 国鉄貨物設備アスファ ルト舗装設計に関する研究委員 会 |
| 1971 (昭和 46) | 5. 28 会 長 高野 務 副会長 石川 豊 奥村 敏恵 篠原 謹爾 河上 房義 12. 末 会員数 33 369 名 | 1. 21 会費を正会員 3 600 円、 学生会員 1 800 円に改正 5. 15 会誌定価を 350 円に改正 5. 28 総会において富樫凱一、 真井耕象、松尾春雄、柳沢米吉 の 4 名を名誉会員推挙 5.- 3 代専務理事 下村肇 (~1975.5) 12. 17 論文報告集購読料を 3 000 円に改正 | 1. 29 第 5 回土木計画学シンポ ジウム 1. 30~31 第 7 回衛生工学研究 討論会(講演 16 題) 2. 12~13 第 15 回水理講演会 (講演 9 題) 4. 17 第 2 回海洋開発シンポジ ウム(講演 5 題) 5. 28 通常総会(私学会館) 6. 16 アルミナセメントコンク リートに関するシンポジウム (講演 22 題) | 1.- 創立 60 周年記念事業常 任委員会 2. 26 創立 60 周年記念事業委 員会 3. 5 トンネル覆工における鋼 製支保工の効果に関する研究小 委員会 5. 10 パイプライン技術基準研 究特別委員会 6. 25 移動床流れの粗度と河床 形状研究小委員会 6. 25 土木技術者のための岩盤 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|---|
| <p>3.22 篠原武司, 日本鉄道建設公団総裁に就任</p> <p>4.1 富樫凱一, 本州四国連絡橋公団総裁に就任</p> <p>6.1 熊本政晴, 北海道東北開発公庫総裁に就任</p> <p>6.4 E. タンセラン教授講演会</p> <p>9.14~16 第6回トンネル工学に関するシンポジウム(国際シンポジウムとして開催, 東京)</p> <p>9.17~19 第6回トンネル工学に関するシンポジウムに伴う見学会(青函トンネル工事ほか)</p> <p>10.14 森島宗太郎, 名古屋工業大学学長に就任</p> <p>11.3 会員へ秋の叙勲, 永野重雄 渡辺寛治 安藤楯六 江崎善愛 塩塚重蔵 鈴木清一</p> | <p>3.12 関西支部が事務所を購入し移転(船場センタービル4号館409号室), 現在に至る</p> <p>11.6~9 関西支部が全国大会(日本生命ほか)開催に協力</p> <p>*. - 中国四国支部が事務所を自治会館に設置し専従職員を採用</p> | <p>4. - 過疎地対策緊急措置法公布</p> <p>7. - アラブ連合のアスワンハイダムがソ連の援助で2期工事完了し送電開始</p> <p>7. - 仙台市, 茂庭浄水場完成(日最大給水量34万m³)</p> <p>10. - 名古屋市, 岩塚下水処理場を完成(処理能力20万m³/日)</p> <p>10. - 国鉄, 山陽新幹線六甲トンネル完成(延長16250m)</p> | <p>2. - 国産人工衛星「おおすみ」打ち上げに成功</p> <p>3. - 大阪で日本万国博が開幕</p> <p>3. - 日航機「よど号」赤軍派学生によりハイジャックさる</p> <p>4. - 大阪の地下鉄工事現場でガス爆発事故. 79人が死亡</p> <p>7. - 東京杉並の高校生が光化学スモッグで倒れる</p> <p>11. - 東パキスタンで未曾有のサイクロン発生. 20世紀最悪の災害</p> <p>11. - 三島由起夫, 割腹自殺</p> |
| <p>1.22 ECOR 日本委員会参加を決定</p> <p>3.16 総理府公募の日本の国土と国民生活の未来設計で本会「21世紀研究会(代表鈴木雅次)」が総合賞を受賞</p> <p>4.29 会員への春の叙勲, 芦原義重 司 忠 藤波収 田淵寿郎 真井耕象 伊藤健雄 末松栄 上山鉄之助 芥川暉雄 加藤正晴 杉本培吉 平尾勝</p> <p>6.27 梶木又三, 古賀雷四郎,</p> | <p>10.1~3 東北支部が全国大会(東北工業大学)開催に協力</p> | <p>1. - アラブ連合共和国にアスワンハイダム(H=111m)完成</p> <p>1. - 茨城県鹿島臨海工業地帯合同完工式挙行</p> <p>2. - 千葉県知事, 新東京国際空港(成田)建設予定地点の第一次代執行</p> <p>5. - 水資源開発公団, 利根川河口堰完成</p> <p>6. - 東京新宿副都心に超高層ビル第1号の京王プラザホテル(170m)が開業</p> | <p>6. - 沖縄返還協定に調印</p> <p>7. - 岩手県雫石上空で全日空機が航空自衛隊の練習機と衝突</p> <p>7. - アメリカ「アポロ14号」が初の月面着陸に成功し無事帰還</p> <p>*. - 韓国, ソウルの地下鉄第1号線, 日本の技術協力で着工</p> <p>*. - アメリカ, サンフェルナンド地震発生</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 7.20～21 第11回地震工学研究発表会(講演36題) 7.21～24, 26～29 第7回水工学に関する夏期研修会(講演20題) 8.2～4 第5回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.19～20 第4回土木計画学講習会(東京会場, 講演5題) 8.26～27 第4回土木計画学講習会(九州会場, 講演5題) 9.16～17 夏期講習会「土木技術者のための法律講座」 9.29 水理学に関する国際会議報告会(報告数3題) 10.1～3 全国大会・第26回年次学術講演会(東北工業大学)発表論文894編 10.28～29 第18回海岸工学講演会(講演73題) 11.30～12.1 秋のエキスカッション(新関門トンネルほか) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 評議員会(この年3回, 臨時1回開催) | 力学改訂小委員会 6.25 土木建造物の取替標準に関する研究委員会 6.25 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会 6.25 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 6.- 水資源問題懇談会 7.30 構造工学委員会 7.30 鋼構造委員会 7.30 土木会館建設懇談会 7.30 安全問題研究委員会 7.30 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会 7.30 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 7.30 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 11.26 海洋構造物に関する調査研究委員会 12.17 行事企画委員会 |
| 1972 (昭和47) | 5.29 会長 岡本 舜三 副会長 坂野 重信 横道 英雄 石川 豊 篠原 謹爾 12. 末 会員数 26 797名 | 1.19 特別会員会費を特級25万円以上, 1級A15万円, 1級B9万円, 1級C5万円, 1級D2万5000円, 2級1万円に改正 4.15 会誌定価を450円に改正 4.28 会費滞納会員の大巾な整理を決定 5.18 沖縄県の所属支部を明確にするための規則の一部を改正 5.- 「全国大会実施要項」が決定 | 1.25～26 第6回土木計画シンポジウム 1.28～29 第8回衛生工学研究討論会(講演13題) 2.9～10 水理公式集改訂に伴う講習会(東京会場, 講演18題) 2.18～19 第16回水理講演会(講演25題) 2.21～22 水理公式集改訂に伴う講習会(京都会場, 講演18題) 2.18～19 第16回水理講演会(講演25題) 2.24～25 第7回岩盤力学に関するシンポジウム(講演21題) 5.20 第3回海洋開発シンポジウム(講演7題) 5.29 通常総会(私学会館) 6.27 ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会(課題6題) 7.18～19 第12回地震工学研究発表会(講演31題) 7.26～29, 31～8.3 第8回水工学に関する夏期研修会(講演22題) 8.2～4 第6回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.24 膨張性セメント混和材を | 1.- 創立60周年記念事業総務部会 1.- 創立60周年記念事業行事部会 1.- 創立60周年記念事業記念出版部会 4.- 構造力学公式集編集委員会 6.- 水理公式集小委員会 6.- 密度流研究小委員会 6.23 土木工学ハンドブック編集委員会 7.- 構造物安全性研究小委員会 7.- 鋼構造架設小委員会 9.- 土木計画学シリーズ編集小委員会 9.- 土木計画学用語小委員会 9.- 鋼材規格小委員会 10.- 鋼構造進歩調査小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|---|---|
| <p>山内一郎, 参議院議員に当選 8.18 Weber 教授特別講演会 9.22 Louis Jourmen 氏講演会 10. - 日本水環境学会設立 11.3 会員へ秋の叙勲, 本間嘉平 藤田定市 奥村太平 11.3 赤木正雄 (砂防), 文化勲章を受章 12. - 石田武雄, 青山学院大学学長に就任 * - 堂垣内尚弘, 北海道知事に就任 * - 伊藤三郎, 川崎市長に就任</p> | | <p>7. - 環境庁発足 11. - 北海道福島町で青函トンネル起工式 12. - 札幌市, 市営高速鉄道南北線 (12.6 km) 開通</p> | |
| <p>1. - 林泰造, 国際水理学会の会長に就任 (~1976) 2.26 丸安隆和, 東レ科学技術賞を受賞 4.29 会員へ春の叙勲, 安芸皎一 野田誠三 浦上衛門 當山道三 橋川保 叶 磯 松島清重 小野威 10.18 篠塚正宣, アメリカ土木学会の W. L. Huber 賞を受賞 11.3 会員へ秋の叙勲, 岡部三郎 林猛雄 平井弥之助 渡部弥作 五十嵐真作 伊藤令二 大林勇治 赤羽善治 渡辺貫羽田巖 山下寿郎 11.3 内田祥三 (建築), 文化勲章を受章 12.10 今井勇, 宮崎茂一 衆議院議員に当選 * - 日本学術会議会員に本会の石原藤次郎, 河上房義, 国分正胤, 横道英雄が当選 * - 坂野重信, 建設事務次官に就任</p> | <p>5. - 「全国大会実施要項」が理事会で承認され, 開催地の7支部持ち回りが正式に決定 10.20~22 西部支部が全国大会 (九州大学) 開催に協力 12. - 関西支部「支部だより」を創刊, 以後続刊</p> | <p>2. - 国鉄, 山陽新幹線西明石一姫路間での速度試験で 286 km/h を記録 3. - 国鉄, 新幹線新大阪一岡山の営業開始 5. - 沖縄開発庁設置 6. - 田中角栄, 日本列島改造論を発表 6. - 自然環境保全法公布 11. - 日本道路公団, 東北自動車道路の岩槻一宇都宮間 92.5 km を開通</p> | <p>2. - 札幌市で第 11 回冬季オリンピック開催 2. - あさま山荘で連合赤軍と機動隊が銃撃戦 5. - 沖縄が日本に復帰 9. - 日中国交正常化の共同声明に調印 * - 第 1 回国連人間環境会議がスウェーデンのストックホルムで開催</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>用いたコンクリートに関するシンポジウム(講演24題)</p> <p>8.30~31 夏期講習会「市街地土木工事の仮設と安全対策」</p> <p>9.4~5 第5回土木計画学講習会(東京会場, 講演6題)</p> <p>9.11~12 第5回土木計画学講習会(大阪会場, 講演6題)</p> <p>9.28 第1回土木製図の自動化に関するシンポジウム(講演13題)</p> <p>10.20~22 全国大会・第27回年次学術講演会(九州大学)発表論文1026編</p> <p>11.13~14 第19回海岸工学講演会(講演73題)</p> <p>11.15 波と構造物に関するシンポジウム</p> <p>11.15 大径PC杭設計施工指針講習会(講演7題)</p> <p>11.20 第5回土木学会映画コンクール作品発表会</p> <p>11.27~28 秋のエキスカレーション(松島北上大堰, 大船渡締切堰ほか)</p> <p>*. - 理事会(この年12回開催)</p> <p>*. - 評議員会(この年2回, 臨時1回開催)</p> | |
| 1973 (昭和48) | <p>5.29 会長 飯田房太郎 副会長 荒木 謙一 内田 隆滋 坂野 重信 横道 英雄</p> <p>12. 末 会員数 27 275 名</p> | <p>5.16 定款を一部改正(副会長の定数を5名に増加)</p> <p>5.29 総会において伊藤信 加藤伴平, 大石勇, 羽田巖, 大石重成の5名を名誉会員推挙</p> | <p>1.24~25 第7回土木計画学シンポジウム</p> <p>1.29~30 第9回衛生工学研究討論会(講演25題)</p> <p>2.6~7 地震応答解析と実例講習会(講演15題)</p> <p>2.16~17 第17回水理講演会(講演19題)</p> <p>2.21~22 第8回岩盤力学に関するシンポジウム(講演19題)</p> <p>5.12 第4回海洋開発シンポジウム(講演8題)</p> <p>5.29 通常総会(農協ホール)</p> <p>6.5~8 環境アセスメントセミナー(講演7題)</p> <p>7.25~28, 30~8.2 第9回水工学に関する夏期研修会(講演18題)</p> <p>7.30~8.1 第7回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会</p> <p>8.21~22 第6回土木計画学講習会(東京会場, 講演6題)</p> <p>8.29~30 第6回土木計画学講習会(名古屋会場, 講演6題)</p> <p>8.30~31 第6回土木計画学講習会(広島会場, 講演6題)</p> | <p>2. - 日本の土木技術編集委員会</p> <p>4. - 海洋コンクリート構造物小委員会</p> <p>5.11 環境問題懇談会</p> <p>7. - 土木学会功績賞受賞者「声の記録」編集小委員会</p> <p>7. - 日本の土木地理編集委員会</p> <p>7.27 太径鉄筋小委員会</p> <p>8.24 橋梁用マスコンクリート小委員会</p> <p>11.21 日本土木史研究委員会</p> <p>11. - 海外工事の契約・仕様編集小委員会</p> <p>11.21 定款調査特別委員会</p> <p>2. - 確率統計水文学研究小委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|--|---|
| | | | |
| <p>1.23 自由民主党訪中団の要請を受け中国清華大学へ図書寄贈</p> <p>4.29 会員に春の叙勲, 佐々木大策 大石勇 遠藤貞一 平井寛一郎 大島義愛 佐賀卓 馬淵寅雄</p> <p>9.21 藤井松太郎, 国鉄総裁に就任</p> <p>10.1~10 ヨーロッパコンクリート委員会第16回総会に会員3名出席</p> <p>11.3 会員に秋の叙勲, 柳沢米吉 黒田静夫 杉戸清 浄法寺朝美 広長良一 大野台助 清水又一 堀越一三 鹿島卯女</p> <p>*. - 文化功労者, 鹿島守之助</p> <p>*. - 丸安隆和 (代表), 昭和48年度毎日出版文化賞を受賞</p> <p>*. - 藤田亀太郎, レジオンドヌール勲章受章</p> | <p>10.1~3 北海道支部が全国大会(北海道大学)開催に協力</p> <p>11. - 東北支部が北四ビルに移転, 現在に至る</p> <p>*. - 中部支部が土質工学会中部支部と共同で(財)中部科学技術センターに事務所を設置, 現在に至る</p> | <p>8. - 愛知県, 衣浦海底トンネル完成</p> <p>11. - 日本道路公団, 本州と九州を結ぶ関門自動車道(24.9 km)「うち 関門橋(橋長1068 m)」を開通</p> <p>*. - 東京電力(株)の房総線が運転開始. 50万V級送電の始まり</p> <p>*. - 三菱重工業(株), 長崎造船所100万トンドック完成</p> | <p>11. - 第一次石油ショック. トイレットペーパー, 洗剤等買い占め騒ぎ</p> <p>12. - 江崎玲於奈, ノーベル物理学賞受賞</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 8.31~9.1 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム(共催) 9.6~7 夏期講習会「基礎と地盤」 9.13 海洋鋼構造物設計指針(案)解説講習会(講演8題) 10.1~3 全国大会・第28回年次学術講演会(北海道大学)発表論文1029編 10.18 ベトナム事情シンポジウム(講演2題) 11.13~14 第20回橋梁構造工学研究発表会(講演31題) 11.14~16 第20回海岸工学講演会(講演39題) 11.15 ブラジル事情シンポジウム(講演2題) 11.29~30 第7回トンネル工学に関するシンポジウム(講演12題) 12.3~4 第1回環境問題シンポジウム(講演12題) 12.13 イラン事情シンポジウム(講演2題) *.- 理事会(この年12回開催) *.- 評議員会(この年2回開催) | |
| 1974 (昭和49) 創立60周年 | 5.22 会長 瀧山 養 副会長 高橋国一郎 丸安 隆和 水越 達雄 渡辺 新三 荒木 謙一 12. 末 会員数 28,227名 | 5.13 会費を正会員6,000円、学生会員3,000円に改正 5.22 総会において伊藤令二、飯吉精一、石原藤次郎、大林勇治、叶 磯、今俊三、杉戸清、樋浦大三の8名を名誉会員推挙 12.20 論文報告集購読料を国内5,000円に改正 *.- 石油危機等のため創立60周年事業を縮小、出版・映画製作、巡回映画会のみとすることを決定 | 1.24~25 第8回土木計画学シンポジウム 1.28~29 第10回衛生工学研究討論会(講演19題) 2.15~16 第18回水理講演会(講演40題) 2.18~22 土木技術者のための下水道講習会(講演8題) 5.22 通常総会(私学会館) 6.15 第5回海洋開発シンポジウム(講演4題) 7.16~17 第13回地震工学研究発表会(講演40題) 7.31~8.3, 5~8 第10回水工学に関する夏期研修会(講演22題) 8.5~7 第8回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.29~30 第2回環境問題シンポジウム(講演9題) 9.3~4 第7回土木計画学講習会(東京会場, 講演8題) 9.4~5 第7回土木計画学講習会(大阪会場, 講演8題) 9.12~13 夏期講習会「コンクリート標準示方書の改訂」 | 6.28 鉄骨鉄筋コンクリート構造設計小委員会 8.23 コンクリート固形化小委員会 8.23 電算機利用委員会 9.10 多摩川災害調査委員会 10.- 明石海峡大橋耐震設計小委員会 12.- 水質管理に関する研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---|--|
| | | | |
| <p>3.22 日中友好視察団に羽田巖の参加を決定</p> <p>4.1 巖 巖, 大阪産業大学学長に就任</p> <p>4.29 会員へ春の叙勲, 久保田豊 鈴木雅次 上ノ土実 清水雄吉 大内三郎 牧田甚一 三宅孝雄</p> <p>5.31 猪股俊司, FIP メダルを受賞</p> <p>6.13 江口辰五郎, レジオンドヌール勲章受章</p> <p>7.7 江藤智, 上田稔, 坂野重信, 望月邦夫が参議院議員当選</p> <p>9. - 国際交通安全学会設立</p> <p>9.23~27 第6回国際セメント化学シンポジウム(モスクワ)に国分正胤, 小林正凡, 長瀧重義が出席</p> <p>10.6~20 第1回土木技術者のための海外研修旅行(イギリス, フランス, 西ドイツ, オランダ)森 茂団長ほか 5名が</p> <p>10.11 イギリス土木学会を訪問</p> <p>11.3 会員へ秋の叙勲, 藤井松太郎 米田正文 今俊三 松井</p> | <p>5.27 関東支部が10周年を記念し第1回年次研究発表会(国立教育会館127題, 以後定期開催)</p> <p>10.8~9 中国四国支部が全国大会(広島工業大学)開催に協力</p> | <p>3. - 国鉄, 山陽新幹線新関門トンネル導坑全通(延長18713km)</p> <p>3. - パリのシャルルドゴール空港が開港</p> <p>5. - 水資源開発公団, 香川用水の通水式を挙行</p> <p>8. - 関西電力(株), 奥多々良木発電所第1, 2号機運転開始(出力121万kW)</p> <p>10. - 道路公団, 恵那山トンネル(全長8489m)を貫通</p> <p>*. - 東京新宿副都心に209.4mの新宿三井ビル完成</p> | <p>5. - 伊豆半島中心にM=6.8の地震発生. 死者30人</p> <p>8. - 東京丸の内の三菱重工本社で過激派による爆弾が爆発. 死者8人. 重軽傷376人</p> <p>9. - 東京, 多摩川の堤防が決壊</p> <p>10. - 佐藤栄作がノーベル平和賞受賞</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-----------------|--|--|--|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | | |
| | | | 10.5 創立 60 周年記念映画 「国土をいかす知恵」発表会, 第 6 回映画コンクール入賞作品 発表会 10.8~10 全国大会・第 29 回 年次学術講演会 (広島工業大 学) 発表論文 1165 編 11.14~16 第 21 回海岸工学講 演会 (講演 83 題) 12.3~4 第 1 回環境問題シン ポジウム (講演 12 題) 12.4 期待される新交通システ ム講習会 (講演 3 題) * - 理事会 (この年 12 回開 催) * - 評議員会 (この年 2 回 開催) | |
| 1975 (昭和 50) | 5.22 会 長 尾之内由紀夫 副会長 比田 正 高橋國一郎 丸安 隆和 水越 達雄 渡辺 新三 12. 末 会員数 28 496 名 | 3.28 土木図書館規程および利 用規程を改正 4.15 会誌定価を 650 円に改正 5.22 総会において飯田房太 郎, 岡本舜三, 稲垣茂樹, 高野 務, 岩本常次, 堀越一三, 江口 馨, 山本三郎の 8 名を名誉会員 推挙 5. - 4 代専務理事 川越達雄 (~1985. 5) | 1.24~25 第 9 回土木計画学シ ンポジウム (講演 7 題) 1.27~28 第 11 回衛生工学研 究討論会 (講演 17 題) 2.7~8 第 19 回水理講演会 (講演 33 題) 2.19~20 第 9 回岩盤力学に関 するシンポジウム (講演 27 題) 3.22 沿岸海洋開発の国際協力 と交流の講演会 (講演 6 題) 5.22 通常総会 (私学会館) 5.26~30 土木技術者のための 数値解析法講習会 (講演 14 題) 7.29~30 土木技術者のための 岩盤力学講習会 (講演 12 題) 8.4~6 第 9 回高校土木科教職 員を対象とする夏期講習会 8.20~23 第 11 回水工学に関 する夏期研修会 8.22~23 第 3 回環境問題シン ポジウム (講演 19 題) 8.28~29 夏期講習会「実務者 のための工事管理」 9.8~9 第 8 回土木計画学講習 会 (講演 8 題) 9.12 第 6 回海洋開発シンポジ ウム (講演 9 題) 9.22~23 構造力学公式集発刊 記念講習会 (東京会場, 講演 9 題) 9.25~26 構造力学公式集発刊 記念講習会 (大阪会場, 講演 9 題) 10.16~18 全国大会・第 30 回 | 6. - 高橋脚耐震設計小委員会 7.25 汚泥処理からみた合理的 浄水方法に関する研究 12. - 橋の景観とその形態お よび色彩に関する研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|--|---|
| <p>達夫 秋草勲 太田尾広治 前田一三 横山通夫 時岡収次</p> <p>11.11 江藤智, 運輸大臣に就任</p> <p>11.30 日本学術会議会員に本会の奥村敏恵, 河上房義, 米谷栄二が当選</p> <p>12.21 野田誠三, 野球殿堂入りし特別表彰</p> <p>*. - 岡本舜三, 埼玉大学学長に就任</p> <p>*. - 山田伴次郎, 宇都宮大学学長に就任</p> <p>*. - 山本三郎, 水資源開発公団総裁に就任</p> <p>*. - 高橋国一郎, 建設事務次官に就任</p> <p>*. - 丸安隆和, 土屋清, 中島巖, 渡辺貫太郎が「日本の衛星写真」(朝倉書房)で毎日出版文化賞を受賞</p> | | | |
| <p>4.13 統一地方選挙で北海道知事に堂垣内尚弘(再選), 川崎市長に伊藤三郎(再選)</p> <p>4.29 会員へ春の叙勲, 森田健造 上野省二 遠藤巖 柿徳一 奥村太四郎</p> <p>5.26~6.8 第2回土木技術者のための海外研修旅行(アメリカ西海岸)</p> <p>8. - 日本トンネル技術協会設立</p> <p>9.16 福田武雄, 千葉工業大学学長に就任</p> <p>10.6 Dr. K. J. Ives 講演会</p> <p>10.14 本間仁, ECOR 日本委員会会長に就任</p> <p>10.5~17 第3回土木技術者のための海外研修旅行(ソビエト連邦)</p> <p>11.3 会員へ秋の叙勲, 西畑正倫 堀威夫 庄司光 藤芳義雄 安藤四良 稲垣茂樹 斎藤武幸 青木益次 銭高輝之 浅沼猪之吉</p> <p>11.7 丸安隆和, 紫綬褒章受章</p> <p>*. - 武藤清, 日本学士院会員に推挙</p> <p>*. - 井上孝, 国際住宅・都市計画連盟(IFHP)会長に就任</p> | <p>10.16~18 中部支部が全国大会(名古屋工業大学)開催に協力</p> | <p>3. - 国鉄, 山陽新幹線岡山一博多間(400 km)を開業. 東京一博多間を6時間56分で結ぶ.</p> <p>3. - 首都公団, 湾岸線東京港海底トンネル(延長1 035 m)を貫通</p> <p>4. - 道路公団, 東北自動車道の埼玉岩槻一仙台間(316.3 km)を開業</p> <p>5. - 運輸省, 長崎空港(海上)完成(1972年着工)</p> <p>*. - 農林省, 水窪ダムを完成し米沢平野の慢性的水不足を解消</p> | <p>2. - 自動車排ガスの50年規制実施</p> <p>7. - 沖縄海洋博覧会開幕</p> <p>8. - 台風6号, 35都道府県に被害. 北海道の石狩川の氾濫により33 400 haの田畑が冠浸水</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-----------------|---|--|---|----------------------------|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | | |
| | | | 年次学術講演会(名古屋工業大学) 発表論文 1 253 編 11.12~14 第 22 回海岸工学講演会(講演 97 題) *.- 理事会(この年 11 回開催) *.- 評議員会(この年 1 回開催) | |
| 1976 (昭和 51) | 5.26 会 長 最上 武雄 副会長 石上 立夫 菊池 三男 高橋 浩二 松尾新一郎 比田 正 12. 末 会員数 28 434 名 | 4.15 会誌広告掲載料金を改正 5.19 特別会費を特級 A 50 万円, 特級 B 42 万円, 1 級 A 25 万円, 1 級 B 15 万円, 1 級 C 8 万円, 1 級 D 4 万円, 2 級 2 万円に改正 5.26 総会において Ray. K. Linsley, 上戸 斌司, 上野省二, 末松栄, 藤村久四郎, 田中寛二, 前田一三, 瀧山養の 8 名を名誉会員推挙 9.- 学会事務局, 毎週第一土曜日を休日とする 11.26 会員名簿有料制(1部 1 000 円)となる | 1.26~27 第 10 回土木計画学シンポジウム(講演 7 題) 1.30~31 第 12 回衛生工学研究討論会(講演 24 題) 2.6~7 第 20 回水理講演会(講演 31 題) 2.13 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(大阪会場, 講演 5 題) 2.25~26 第 10 回岩盤力学に関するシンポジウム(講演 24 題) 3.12 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(東京会場, 講演 5 題) 5.26 通常総会(私学会館) 6.4 海洋構造物の設計講習会(講演 7 題) 7.13~14 第 14 回地震工学研究発表会(講演 54 題) 7.16 講習会「鉄筋コンクリート設計法の最近の動向」(講演 9 題) 7.26~28, 28~31 第 12 回水工学に関する夏期研修会(講演 18 題) 8.3~5 第 10 回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.30~31 第 4 回環境問題シンポジウム(講演 19 題) 9.1~2 夏期講習会「地下構造物の設計と施工」 9.18 第 7 回海洋開発シンポジウム(講演 11 題) 9.9~10 第 9 回土木計画学講習会(講演 7 題) 10.8~10 全国大会・第 31 回年次学術講演会(東京工業大学) 発表論文 1 286 題 10.22 講習会「構造物の安全性・信頼性」(講演 9 題) 11.4~5 第 1 回電算機利用に関するシンポジウム(講演 44 題) 11.8~9 講習会「海外建設プロジェクトの進め方と成功へのポイント」(大阪会場, 講演 6 題) | 5.14 定款調査委員会 8.- 座屈小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|--|
| <p>3. 14~20 第4回土木技術者のための海外研修旅行（東南アジア諸国）</p> <p>4. - 尾之内由紀夫，本州四国連絡橋公団総裁に就任</p> <p>4. - 鹿島学術振興財団設立</p> <p>5. 1 国立科学博物館の土木・建築コーナー設置に協力</p> <p>9. 6~11 第10回国際構造工学（IABSE）会議（東京）</p> <p>9. 21 Bruno Thurlimann 教授講演会</p> <p>10. - 金井清，「地震動特性の耐震設計への応用に関する研究」で昭和51年度朝日賞受賞</p> <p>11. 5~18 第5回土木技術者のための海外研修旅行（スイス，イタリア，フランスの各国）</p> | <p>10. 8~10 関東支部が全国大会（東京工業大学）開催に協力</p> | <p>3. - 水資源開発公団，草木ダム（$H=140$ m）貯水開始。利根川総合開発事業の一環をなす多目的ダム</p> <p>4. - 国鉄，北陸北線赤倉トンネル（延長10 334 m）貫通。</p> <p>6. - アメリカ，ティートンダム（$H=80$ m）が決壊事故</p> <p>7. - 大阪府，泉大津大橋（支間長172.6 m）完成</p> <p>7. - 本四公団，大鳴門橋（全長1 629 mの吊橋）の起工式挙行</p> <p>10. - 国鉄，総武線東京一品川間（延長6.6 km）の地下鉄新線開通。</p> <p>*. - フランス，PC斜張橋のプロトンヌ橋架設</p> | <p>7. - アメリカで建国200年記念祭</p> <p>7. - 田中角栄をロッキード事件で逮捕</p> <p>11. - 天皇在位50周年記念式典</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 11.10~12 第23回海岸工学講演会(講演113題) 11.13 第7回土木学会映画コンクール入賞作品発表会 11.29~30 講習会「海外建設プロジェクトの進め方と成功へのポイント」(東京会場, 講演6題) 11.30 シンポジウム「近代土木技術の黎明期を探る(その1古市公威)」 *.- 理事会(この年8回開催) *.- 評議員会(この年2回開催) | |
| 1977 (昭和52) | 5.25 会長 水越 達雄 副会長 井上 孝 後藤 幸正 八十島義之助 高橋 浩二 松尾新一郎 12. 末 会員数 28 225名 | 5.25 総会において伊藤剛, 西村敏男, 上山鐵之助, 本間仁, 大野台助, 渡辺寛治, 近藤勇, 酒井忠明, 立花次郎の9名を名誉会員推挙 | 1.17~18 第8回トンネル工学に関するシンポジウム(講演4題) 1.27~28 第11回土木計画学シンポジウム 1.28~29 第13回衛生工学研究討論会(講演29題) 2.4~5 第21回水理講演会(講演37題) 4.22~23 シンポジウム「近代土木技術の黎明期を探る(その2田辺朔郎)」 5.25 通常総会(主婦会館ホール) 7.18~20, 21~23 第13回水工学に関する夏期研修会(講演18題) 8.2~4 第11回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.23~24 夏期講習会「最近の河川・砂防計画」 8.27 マスコミ界との懇談会 8.30~31 第5回環境問題シンポジウム(講演16題) 9.1~2 第10回土木計画学講習会(講演8題) 9.9 第8回海洋開発シンポジウム(講演11題) 9.20 講習会「土木技術者のためのダムの地質調査」(講演5題) 10.14~16 全国大会・第32回年次学術講演会(神戸大学)発表論文1448題 11.1~2 第2回電算機利用に関するシンポジウム(講演33題) 11.15~16 シンポジウム「近代土木技術の開花期と沖野忠雄」(講演4題) | 3.16 土構造物および基礎委員会 5.- 高炉スラグ小委員会 5.- 亜鉛めっき鉄筋小委員会 6.- Costal Engineering in Japan 査読小委員会 6.- 乱流・拡散研究小委員会 6.24 エネルギー土木委員会 9.24 新体系土木工学編集委員会 11.- エネルギー土木委員会 石油備蓄小委員会 12.- エネルギー土木委員会 L. N. G 地下タンク小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|---|
| <p>5.10 レスリー・コバズナイ博士特別講演会</p> <p>6.7~20 第6回土木技術者のための海外研修旅行（東南アジア、中近東諸国）</p> <p>6. - 阿部英彦, 荒井昌昭, 谷口紀人, 第4回環境優良賞受賞</p> <p>7. - 福岡正巳, 国際土質基礎工学会 (ISSMFE) 会長に就任 (~1981)</p> <p>9.10 日米コンクリート関係者懇談会</p> <p>11.1 山田正男, 首都高速道路公団理事長に就任</p> <p>*. - 吉川泰, イギリス土木学会, (ICE) Overseas Premium 受賞</p> <p>*. - 特別会員の札幌市, 川崎重工 (株), (株) 日立製作所, 第29回毎日工業技術賞受賞</p> | <p>10.14~16 関西支部が全国大会 (神戸大学) 開催に協力</p> <p>11.9 東北支部設立40周年記念行事 (仙台ホテル) 式典および感謝状贈呈, 記念講演会1題, 懇親会, 記念出版「創立40周年記念誌」(1977.12)</p> | <p>4. - 九州電力 (株), 八丁原地熱発電所 (出力5万kW) の試運転開始</p> <p>4. - 日本航空 (株), HSST の高速走行実験に成功 (最高速度138 km/h)</p> <p>7. - 国鉄, リニアモーターカー走行実験に成功 (最高速度97 km/h). この年軌道上か10cmの浮上走行</p> <p>8. - 日本鉄道建設公団, 青函トンネルF1断層突破</p> <p>8. - 森林開発公団, 白山スーパー林道 (33.3 km) 開通</p> <p>9. - 神戸市, 六甲大橋完成 (世界初のトラス形式ダブルデッキ斜張橋)</p> <p>10. - 関西電力 (株), 大飯原子力発電所第1号機 (出力117万5000 kW で国内最大) 発電開始</p> <p>10. - 建設省, 真名川ダム (H=127.5 m) 完成</p> <p>11. - 第3次全国総合開発計画の閣議決定</p> | <p>7. - アメリカのケーブルカナベラルから日本初の静止衛星「ひまわり1号」が打ち上げられる</p> <p>8. - 北海道の有珠山, 34年振りに大噴火</p> |

| 年 | | | | 業 | |
|----------------|--|--|--|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 | | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 | |
| | | | 11.15~17 第24回海岸工学講演会(講演132題) *.- 理事会(この年7回開催) | | |
| 1978 (昭和53) | 5.30 会 長 仁杉 巖 副会長 井上 孝 後藤 幸正 三村 誠三 八十島義之助 吉村 虎蔵 12. 末 会員数 28 152 名 | 4.15 会誌定価を850円に改正 5.30 総会において江藤智, 熊川信之, 黒田静夫, 高津俊久, 中谷茂一, 星治雄, 松井達夫, 松見三郎, 水野高明, 村上正, 最上武雄の11名を名誉会員推挙 *.- 故大浜文彦氏遺族より土木図書館に30万円の寄附金 | 1.24~25 第12回土木計画学シンポジウム 1.28~29 第14回衛生工学研究討論会(講演20題) 2.8~9 第22回水理講演会(講演44題) 2.23~24 第11回岩盤力学に関するシンポジウム(講演25題) 5.16~25 講習会「高炉スラグ砕石コンクリート設計施工指針案」(東京ほか4会場で開催) 5.22~23 シンポジウム「北海道開拓のあゆみと土木技術-その源流-広井勇」 5.30 通常総会(私学会館) 6.9 講習会「鋼構造架設設計指針」(講演8題) 7.17~19, 20~22 第14回水工学に関する夏期研修会(講演18題) 8.21~23 第12回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.28 第6回環境問題シンポジウム(講演17題) 8.31~9.1 第11回土木計画学講習会(講演18題) 9.19~21 全国大会・第33回年次学術講演会(東北学院大学)発表論文1532編 9.30 第9回海洋開発シンポジウム(講演6題) 11.9~10 第3回電算機利用に関するシンポジウム(講演31題) 11.16~18 第25回海岸工学講演会(講演130題) 11.18 第8回土木学会映画コンクール入賞作品発表会 *.- 理事会(この年8回開催) | 2.- 固液二相流研究小委員会 2.- トンネル工学委員会研究開発抄録小委員会 2.- トンネル工学委員会NATM研究小委員会 3.24 海上空港連絡調査委員会 6.- 水理観測における規模の評価研究小委員会 | |
| 1979 (昭和54) | 5.29 会 長 國分 正胤 副会長 浅井新一郎 岡部 保 能町 純雄 三村 誠三 吉村 虎蔵 12. 末 会員数 27 579 名 | 4.- 学会事務局, 第3土曜日を休日化(第1, 第3土曜休日) 5.29 総会において石田聖, 板倉忠三, 河村重俊, 鈴木清一, 平井敦, 水越達雄の6名を名誉会員推挙 | 1.26~27 第15回衛生工学研究討論会(講演29題) 1.26~27 第1回土木計画学研究発表会(講演34題) 2.15~17 第23回水理講演会(講演60題) 2.22~23 第12回岩盤力学に関するシンポジウム(講演26題) 5.25 シンポジウム「明治の鉄 | 1.26 マクディ橋梁技術委員会 7.24 水理委員会河川に関する国際交流小委員会 9.27 衛生工学委員会広域処分小委員会 9.27 鷲羽山トンネル安定委員会 9.27 シールド工用標準セグメントに関する調査研究委員会 *.- 航空写真のみかた編集 | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|--|
| <p>3.27 John. H. Nath 博士講演会</p> <p>4.4 イギリス土木学会国際マーケット部長 Leon Morelli 来会</p> <p>4. - 海洋架橋調査会設立</p> <p>5.28~6.4 ASCE 訪日団第1班に関する諸行事</p> <p>5.30 石綿知治, 今野正喜, 科学技術庁長官賞を受賞</p> <p>6.10~17 ASCE 訪日団第2班に関する諸行事</p> <p>7.27~8.7 海外研修旅行特別コース「高校教職員のための海外研修旅行」(オランダ, イギリス, フランス, 西ドイツ)</p> <p>8.20~9.2 第7回土木技術者のための海外研修旅行団(団長八十島義之助, アメリカ東海岸) 37名が8.28にアメリカ土木学会を公式訪問</p> <p>*.- 篠塚正宣, ASCE の A. M. Freudenthal メダル受賞</p> <p>*.- 石橋多聞, 国際水道協会(IWSA)会長に就任(~1980)</p> <p>*.- 日本学術会議会員に本会の河上房義, 松尾新一郎, 八十島義之助, 岸 力, 成岡昌夫, 伊藤富雄が当選</p> <p>*.- 高橋国一郎, 日本道路公団総裁に就任</p> <p>*.- 井上孝, 建設事務次官に就任</p> | <p>3.17 北海道支部「第1回支部技術賞」を4件に授賞(93年度で17回)</p> <p>4.7 中部支部設立40周年記念式典・特別講演会(愛知県産業貿易館)記念出版「中部における土木学会史」(1978.7)</p> <p>9.19~21 東北支部が全国大会(東北学院大学)開催に協力</p> | <p>3. - 橋梁技術指導のためビルマ出張中の国広哲男, 山木崇史, 椎泰敏, 古屋敏夫ら6名が航空機事故で殉職</p> <p>5. - 新東京国際空港(成田)開港(1966年7月建設地決定, 1971年2月強制着工)</p> <p>10. - 佐賀県, 有明干拓事業完工(1933年着工し45年目)</p> <p>10. - 本四連絡橋公団, 児島一坂出ルートを着工</p> <p>12. - 日本鉄道建設公団, 小本川橋梁連結(世界初の鉄道専用PC斜張橋で橋長177.8m)</p> <p>12. - 東京電力(株), 高瀬ダム(H=176m)の湛水開始</p> | <p>1. - 伊豆大島近海でM7.0の地震発生 死者25人.</p> <p>6. - 宮城沖地震発生, 死者27人</p> <p>8. - 日中平和友好条約に調印</p> |
| <p>4.11 中国土木工程学会訪日友好代表团来会</p> <p>5.21 M. S. Yalin 教授特別講習会</p> <p>5.23 John. W. Fondohl 博士講演会</p> <p>8.3 D. A. Firmage 教授講演会</p> <p>6.23~7.7 第8回土木技術者のための海外研修旅行(南ヨ一</p> | <p>5.23 関東支部のランチ活動として新潟会設立総会(新潟東映ホテル)</p> <p>10.16~18 西部支部が全国大会(九州大学・福岡建設専門学校)開催に協力</p> | <p>1. - 建設省, 会津線向山トンネル(延長1045m)貫通. 全工程をNATMで施工</p> <p>1. - 日本鉄道建設公団, 上越新幹線大清水トンネル(延長22.5km)を貫通</p> <p>2. - 奈良県, 奥吉野発電所(出力120万6000kWの大容量純揚水式)運転開始</p> <p>3. - 千葉県, 人工海浜「幕張</p> | <p>3. - アメリカ, スリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故</p> <p>6. - アジアで初, 東京サミットが開幕</p> <p>7. - ソニーが「ウォークマン」を発売.</p> <p>10. - 木曾御岳山が有史以来初めて噴火</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|---|---|--|
| | 会 副 会 員 長 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | | | 道-その役割と発展過程を探る-」(講演4題) 5.29 通常総会(私学会館) 6.6~7 第13回土木計画学シンポジウム 6.26~29 講習会「現場土木技術者のための仮設構造物」(東京会場, 講演15題) 7.10~13 講習会「現場土木技術者のための仮設構造物」(大阪会場, 講演15題) 7.16~18, 19~21 第15回水工学に関する夏期研修会(講演18題) 7.19~20 第15回地震工学研究発表会(講演68題) 7.20 プレストレストコンクリート標準示方書講習会(講演7題) 7.31~8.2 第13回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.24 第7回環境問題シンポジウム(講演22題) 8.30~31 第12回土木計画学講習会(講演9題) 10.16~18 全国大会・第34回年次学術講演会(九州大学および福岡建設専門学校)発表論文1386編 11.6~7 第4回電算機利用に関するシンポジウム(講演29題) 11.20~22 第26回海岸工学講演会(講演145題) *.- 理事会(この年7回開催) *.- 評議員会(この年2回開催) | 小委員会 *.- 測量実習指導書改訂小委員会 *.- 原子力土木委員会地盤部会 *.- トンネル工学委員会大断面トンネル小委員会 |
| 1980 (昭和55) | 5.27 会長 高橋國一郎 副会長 網干 寿夫 堺 毅 八木 鉄男 岡部 保 能町 純雄 12. 末 会員数 28 219名 | 1.22 論文報告集購読料を6600円に改正 1.22 会費を正会員7800円, 学生会員4200円に改正 1.22 故黒田武定氏遺族より土木図書館へ100万円の寄附金 4.15 会誌定価を1000円に改正 5.- 総会において井上幸太郎, 太田尾廣治, 佐藤寛政, 山崎博, 横道英雄, 米元卓介の6名を名誉会員推挙 10.15 会誌広告料金を改正 12.16 臨時評議員会において役員候補者選考内規の一部変更, 会長ノミネート制度の実施を決定 | 1.14~15 第13回岩盤力学に関するシンポジウム(講演27題) 1.25~26 第16回衛生工学研究討論会(講演25題) 1.29 シンポジウム「土木史学の成立を目指して」 1.31~2.1 第2回土木計画学研究発表会(37題) 2.7~9 第24回水理講演会(講演69題) 5.1~2 最近におけるコンクリート工学の諸問題に関する講習会(大阪会場ほか)5.23~24の福岡まで4会場にて開催 5.27 通常総会(私学会館) 6.3 「地下貯油施設技術指針 | 7.22 コンクリート鉄道構造設計標準に関する研究小委員会 7.22 鋼鉄道橋梁設計標準に関する研究委員会 11.25 地盤の評価手法の標準化に関する研究小委員会 11.25 高炉スラグ細骨材に関する調査研究小委員会 11.25 岩盤タンク貯蔵所調査小委員会 *.- 水理委員会洪水流の三次元流況と流路形態研究小委員会 *.- エネルギー土木委員会石炭小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|---|--|
| <p>ロッパ)</p> <p>6.24~7.12 第2回公共工事請負契約海外調査(アメリカ、西ドイツ、イギリスほか)</p> <p>*.- 特別会員の(株)竹中工務店、竹中土木、第31回毎日工業技術賞受賞</p> <p>*.- 仁杉巖、日本鉄道建設公団総裁に就任</p> | | <p>の浜」完成</p> <p>5.- 本四連絡橋公団、尾道—今治ルートの大三島橋(支間297mのアーチ橋)開通</p> <p>6.- 東京電力(株)新高瀬川発電所(出力128万kW)完成</p> <p>11.- 南アルプススーパー林道(全長56.6km)完成</p> <p>12.- 国鉄のリニアモーターカー、実験走行で512km/hを記録</p> | |
| <p>9.14 Le Mehaute 博士講演会</p> <p>9.20 James W. Daily 教授特別講演会</p> <p>9.29 アメリカ土木学会 J.S. Ward 会長特別講演会</p> <p>6.1 久保起、日本下水道事業団理事長に就任</p> <p>8.5~7 第3回確率過程水理学国際シンポジウム(東京)</p> <p>8.20~9.2 第9回土木技術者のための海外研修旅行(アメリカ合衆国)</p> <p>*.- 山内一郎、郵政大臣に就任</p> | <p>4.- 東北支部「1978年宮城県沖地震調査報告書」を自主出版</p> <p>9.13~15 北海道支部が全国大会(北海道大学)開催に協力</p> | <p>3.- エジプト、スエズ運河—地中海間バイパス運河(延長14.5km)完成</p> <p>9.- スイス、ゴッタルトトンネル(全長16.3kmの自動車トンネル)完成</p> | <p>5.- アメリカのセントヘレンズ山が大噴火、成層圏に吹き上げられた火山灰による気象が心配される</p> <p>*.- 東京都の人口が戦後初めて減少</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|--|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | (案) 講習会 (東京会場) 6.10 「地下貯油施設技術指針(案)」講習会 (大阪会場) 6.12~13 第14回土木計画学シンポジウム (講演13題) 6.17~20 講習会「現場土木技術者のための仮設構造物の計画と施工」(講演16題) 7.28~30, 31~8.2 第16回水工学に関する夏期研修会 (講演18題) 7.31~8.2 第14回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.21 環境問題に関するワークショップ (講演6題) 8.22~23 第8回環境問題シンポジウム (講演22題) 9.13~15 全国大会・第35回年次学術講演会 (北海道大学) 発表論文1499編 10.2~3 講習会「建設プロジェクトの分析と評価」(講演6題) 10.30~31 第5回電算機利用に関するシンポジウム (講演28題) 11.18~20 第27回海岸工学講演会 (講演116題) 11.22 第9回土木学会映画コンクール発表会 *.- 理事会 (この年8回開催) *.- 評議員会 (この年2回、臨時2回開催) | |
| 1981 (昭和56) | 5.26 会 長 八十島義之助 副会長 稲田 裕 佐々木正久 半谷 哲夫 網干 寿夫 八木 鉄男 12. 末 会員数 28 284名 | 3.31 特別会員会費を特級 A 75万円, 特級 B 63万円, 1級 A 38万円, 1級 B 23万円, 1級 C 12万円, 1級 D 6万円, 2級 3万円に改正 5.26 総会において猪瀬寧雄, 鈴木信孝, 北村市太郎, 友永和夫, 高坂紫朗, 仁杉巖, 國分正胤, 野瀬正儀, 佐藤豪, 星埜和, 庄子光の11名を名誉会員推挙 | 1.30~31 第17回衛生工学研究討論会 (講演24題) 1.30~31 第3回土木計画学研究発表会 (講演58題) 2.24~25 第25回水理講演会 (講演94題) 4.16 8大学による「土木学会の活動と学生の結びつきについて」の懇談会 5.26 通常総会 (私学会館) 5.8~9 「環境データ収集とその解析」講習会 (東京会場) 5.15~16 「環境データ収集とその解析」講習会 (大阪会場) 6.25~27 戦前土木「名著100選」展示会 (土木図書館) 6.26~27 第1回日本土木史研究発表会 (講演23題) 7.15~17 第16回地震工学研究発表会 (講演87題) 7.22~24 第17回水工学に関 | 3.24 創立70周年記念事業委員会 3.24 関門トンネル上部航路浚渫調査委員会 9.26 四谷見附橋調査研究委員会 9.29 水理公式集改訂委員会 11.24 エネルギー土木委員会 屋外貯蔵タンク耐震安全小委員会 *.- 70周年事業委員会に経務部会, 行事部会, 事業部会, 出版部会を設置 *.- 土木技術者のための振動便覧編集小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---------------------------------------|--|--|
| | | | |
| <p>3. - 可視化情報学会設立 4. 15 久保宏, 松浦章夫, 山本毅史, 第7回科学技術庁研究功績賞受賞 4. 15 千秋信一, 科学技術功労者長官賞受賞 4. 16 高橋裕, フランス教育功労賞シュバリエ章受章 4. 28 川越専務理事, アメリカ土木学会 1981 “International Convention” に出席 6. 5 植下協, 佐藤健, 第8回環境賞受賞 10. 5~18 第10回土木学会海外研修旅行団(団長田島二郎, オーストラリア, ニュージーランド) 25名が10.6 オーストラリア工学会を訪問 10. 7 久保起, 水質汚濁防止連盟(WPCF) 1981年度名誉会員に選出</p> | <p>10. 6~8 中国四国支部が全国大会(広島大学)開催に協力</p> | <p>2. - 神戸市ポートアイランド完成. ポートライナー運行開始 3. - 大阪市, 自動運転のニュートラム完成 4. - 政府, 環境影響評価(アセスメント)法案を国会に提出 8. - 香川県仁尾町で太陽熱発電開始 9. - フランス, TGV(超高速鉄道)のパリーリオン間(426 km)を開業 *. - イギリス, ハンバー橋(中央支間1 410 m)架設</p> | <p>3. - 神戸市, ポートピア'81開幕 4. - アメリカ, スペースシャトル「コロンビア号」打ち上げに成功 10. - 福井謙一, ノーベル化学賞受賞</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|----------------|---|---|---|---|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | する夏期研修会(講演19題) 7.23~24 第15回土木計画学 シンポジウム(講演8題) 8.3~5 第15回高校土木科教 職員を対象とする夏期講習会 8.21~22 「航空写真のみかた 利用のしかた」講習会(名古屋 会場) 8.24~25 「航空写真のみかた 利用のしかた」講習会(大阪会 場) 8.26~27 「航空写真のみかた 利用のしかた」講習会(東京会 場) 8.24 第2回環境問題に関する ワークショップ(講演4題) 8.25~26 第9回環境問題シン ポジウム(講演22題) 9.8~9 講習会「土木工事の積 算と実際」(講演11題) 10.6~8 全国大会・第36回年 次学術講演会(広島大学)発表 論文1667編 10.6~8 戦前土木「名著100 選」展示会(広島大学) 10.16 講習会「コンクリート 構造の限界状態設計法試案」 (講演10題) 10.29~30 第6回電算機利用 に関するシンポジウム(講演26 題) 11.4~6 第13回土木計画学講 習会(東京会場) 11.9~10 第13回土木計画学 講習会(大阪会場) 11.11 「自動作画の基礎技術」 講習会(東京会場) 11.18 「自動作画の基礎技術」 講習会(大阪会場) 11.17~18 第28回海岸工学講 習会(講演126題) *.- 理事会(この年8回開 催) *.- 評議員会(この年2回 開催) | |
| 1982 (昭和57) | 5.24 会 長 野瀬 正儀 副会長 伊藤 富雄 久保慶三郎 稲田 裕 佐々木正久 半谷 哲夫 12. 末 会員数 28 333 名 | 1.15 会誌定価を1250円に改 正 5.24 総会において小西一郎、 扇田彦一、小林嘉道、田代信 雄、米谷栄二、田中五郎、坂本 貞雄、比田正、城塚孝雄、三浦 文次郎の10名を名誉会員推挙 6.7 岡本舜三名誉会員より耐 震工学委員会に500万円の寄附 金(藤原賞受賞記念) | 1.29~30 第18回衛生工学研 究討論会(講演34題) 1.30~31 第4回土木計画学研 究発表会(講演70題) 2.16~17 第26回水理講演会 (講演102題) 2.25~26 第14回岩盤力学に 関するシンポジウム(講演39 題) 3.11~12 「航空写真のみかた | 1.27 コンクリート細骨材とし てのフェロニッケルスラグに関 する調査研究小委員会 1.27 定期刊行物に関する検討 委員会 1.27 土木技術の発展と社会資 本に関する研究委員会 3.24 軽量骨材コンクリート土 木構造物への適用化と設計施工 の合理化に関する研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|---|
| <p>10.13 大橋康次, 日本雪氷学会功績賞受賞</p> <p>11.1 菊池三男, 首都高速道路公団理事長に就任</p> <p>11.3 今村正孝, 英国土木学会 1981 年度海外部門賞受賞</p> <p>11.17 堀川清司, アメリカ土木学会国際海岸工学賞受賞</p> <p>11.21 アメリカ土木学会 James R. Sims 会長来会</p> <p>11. - 佐伯浩, 昭和 55 年度 (第 13 回) 市村賞受賞</p> <p>*. - 稲田裕, 建設事務次官に就任</p> <p>*. - 日本自然資源学会設立</p> | | | |
| <p>3.5 藤田亀太郎, レジオンドヌール勲章コンマンドール章受賞</p> <p>3.17 ヌガロー教授講演会</p> <p>5.21 Dr. J. Kindler 来会</p> <p>5. - 森田定市, 東海大学学長に就任</p> <p>6.17 岡本舜三, 「土木耐震学の研究」で藤原賞受賞</p> <p>8.23~9.5 第 11 回海外研修旅</p> | <p>10.12~15 中部支部 (名古屋大学) が全国大会開催に協力</p> <p>*. - 関西支部第 1 回技術賞の授賞開始 (93 年度で 12 回)</p> <p>賞牌, 支部シンボルマークを公募し会員の作品を採用</p> | <p>3. - 国鉄, 上越新幹線中山トンネル (延長 14.9 km) 完成 (1972 年着工)</p> <p>3. - 道路公団, 山陽自動車道竜野西一備前間開通</p> <p>5. - 建設省, 宮城県阿武隈川大堰 (全長 750 m のゲート 10 門を備えた多目的堰) 完成</p> <p>6. - 国鉄, 東北新幹線大宮 - 盛岡間 (466 km) を開業</p> | <p>2. - 日航機, 羽田沖に墜落</p> <p>3. - ソ連の「金星 13 号」が軟着陸</p> <p>3. - メキシコのエルチチョン火山が大爆発, 日本に冷夏で「エルチチョン現象」</p> <p>4. - フォークランドで武力衝突</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | 8.19 故広長良一君ご遺族より 200万円の寄附金 11.10 故木村又左衛門君ご遺 族より3000万円の寄附金(故 広長良一君ご遺族からの寄附金 と併せて3200万円の土木振興 基金を設立) | 利用のしかた」講習会(北海道 会場) 5.24 通常総会(私学会館) 6.15 第1回海外活動委員会講 演会「ザイル川のつり橋工事 に参加して」村上温 6.25~26 第2回日本土木史研 究発表会(講演24題) 7.6 美しい橋のデザインマ ニユアル講習会(東京会場) 7.9 美しい橋のデザインマ ニユアル講習会(大阪会場) 7.8~9 第16回土木計画学シ ンポジウム(講演11題) 7.26~28, 29~31 第18回水 工学に関する夏期研修会(講演 18題) 8.17~18 第16回高校土木科 教職員を対象とする夏期講習会 8.23 第3回環境問題ワーク ショップ(講演5題) 8.24~25 第10回環境問題シ ンポジウム(講演21題) 10.1 第2回海外活動委員会講 演会「マレーシアの Birtul 港 建設工事に参加して」 10.12~15 全国大会・第37回 年次学術講演会(名古屋大学ほ か) 発表論文1641編 10.27~29 第29回海岸工学講 演会(講演130題) 10.28~29 第7回電算機利用 に関するシンポジウム(講演32 題) 10.30 第10回土木学会映画コ ンクール入賞発表会 11.25 鉄筋継手の設計施工に 関する講習会(東京会場) 12.15 鉄筋継手の設計施工に 関する講習会(大阪会場) *.- 理事会(この年8回開 催) *.- 評議員会(この年2回 開催) | 7.22 屋外タンクの地震を中心 とした安全性の調査検討委員会 9.24 基礎構造および抗土圧構 造物の設計標準に関する研究委 員会 |
| 1983 (昭和58) | 5.24 会長 高橋 浩二 副会長 岡本 孝平 小坂 忠 八田 晃夫 伊藤 富雄 久保慶三郎 12. 末 会員数 28170名 | 4.- 会誌広告料金を改正 5.18 会費を正会員(正会員で ある個人)9600円、学生会員 5400円に改正 5.24 総会において安藤道夫、 小林二郎、荒木謙一、篠原謹 爾、今岡鶴吉、好井宏海、奥田 教朝、吉田登、尾之内由紀夫、 渡部時也の10名を名誉会員推 挙 5.24 定款を改正(会員の種別 | 1.8~9 第27回水理講演会 (講演124題) 1.28~29 第5回土木計画学研 究発表会(講演105題) 1.28~29 第19回衛生工学研 究討論会(講演24題) 2.8~9 第27回水理講演会 (講演124題) 2.17~18 第15回岩盤力学に 関するシンポジウム(講演48 題) | 4.22 電算機利用委員会を土木 情報システム委員会と改称 5.13 空港舗装に関する研究委 員会 5.13 鶴見航路橋技術検討委員 会 7.27 技術開発賞選考委員会 7.27 著作賞選考委員会 11.25 昭和58年日本海中部地 震被害調査委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|--|---|
| <p>行団(団長中川博次, アメリカ東部) 20名が8.25アメリカ土木学会を公式訪問</p> <p>10.6 Owen Phillips 教授講演会</p> <p>10.29~31 (社)大韓土木学会創立30周年記念式典で野瀬正儀会長が記念講演</p> <p>11.26 中国冶金工業部建築研究総院代表団来会</p> <p>12.- 中村良夫, 樋口忠彦, 第4回サントリー学芸賞受賞</p> <p>*.- オーストラリア工学会編集長 J. Paine 氏懇談会</p> <p>*.- 黒木剛司郎, 茨城大学学長に就任</p> <p>*.- 特別会員 鹿島建設(株), 1982年度デミング賞実施賞受賞</p> <p>*.- 中村良夫, 杉恵頼寧, 56年度国際交通安全学会賞論文賞受賞</p> <p>*.- 樋口忠彦, 田村賞受賞</p> <p>*.- 樋口忠彦, 第1回風土研究賞受賞</p> <p>*.- 梶木又三, 環境庁長官に就任</p> <p>*.- 望月邦夫, 水資源開発公団総裁に就任</p> | | <p>10.- 建設省, 栃木県稲荷川に日向砂防ダム(H=46mの大砂防ダム)完成</p> <p>11.- 国鉄, 上越新幹線大宮-新潟間(270km)を開業</p> <p>11.- 道路公団, 中央高速道路勝沼-甲府石和間を開通し, 1957年着工以来25年目で全線開通</p> <p>11.- ブラジルとパラグアイの国境にイタイプ水力発電所(世界最大の1260万kW)のダム本体が完成</p> | |
| <p>1.- 日本ロボット学会設立</p> <p>1.17 岩崎敏夫, 第32回河北文化賞受賞</p> <p>2.23 中国土木工程学会代表団来会</p> <p>3.15 J. Lindner 博士講演会</p> <p>4.13 Donald R.F. Harleman 教授講演会</p> <p>4.- 仁杉巖, 日本国有鉄道総裁に就任</p> <p>4.- 内田隆滋, 日本鉄道建設</p> | <p>9.28~30 関東支部が関東学院大学で開催の全国大会に協力. ASCE, John H. Wiedeman 会長, 作家・司馬遼太郎の特別講演会開催</p> <p>11.26 関東支部新潟会第1回研究発表会(新潟大25題, 93年度で11回)</p> | <p>1.- 青函トンネル先進導坑が貫通(全長53.8km)</p> <p>3.- 道路公団, 中国自動車道千代田-鹿野間(104.5km)を完成により全線開通</p> <p>8.- 新東京国際空港(成田), 航空燃料パイプライン(延長47km)供用開始</p> <p>10.- 長崎市の重要文化財「眼鏡橋」復元</p> <p>12.- 本四連絡橋公団, 尾道</p> | <p>4.- NHK朝の連続テレビドラマ「おしん」の放送開始</p> <p>5.- 日本海中部地震(M=7.7)発生, 日本海に津波・死者104人</p> <p>9.- 大韓航空機がソ連の戦闘機により撃墜される</p> <p>10.- ビルマのアウンサン廟で爆弾テロ発生</p> <p>10.- 三宅島が大噴火, 溶岩流で阿古地区の9割が焼失</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 業 | |
|---|---------------------------------|---|---|-----------------------|
| | | | 事 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | を 変 更 、 名 誉 会 員 を 称 号 と す る) 12.22 事務局、事務所建替え のための土木図書館へ一時移転 | <p>2.22 第3回海外活動委員会講演会「経済協力による海外建設事情」</p> <p>2.22 鋼構造架設施工指針講習会（講演11題）</p> <p>3.18 フレッシュコンクリートの特性値の測定ならびに挙動に関するシンポジウム（講演13題）</p> <p>4.5 鋼繊維補強コンクリート設計施工指針に関する講習会（札幌会場ほか10.7の金沢まで9会場で開催）</p> <p>4.27～28 建設用ロボットに関する技術講習会（講演5題）</p> <p>5.23 鋼構造シンポジウム「鋼構造における最近の動向」</p> <p>5.24 通常総会（私学会館）</p> <p>6.22～23 第17回土木計画学シンポジウム（講演12題）</p> <p>6.24～25 第3回日本土木史研究発表会（講演26題）</p> <p>7.5 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針講習会（東京会場）</p> <p>7.6 第4回海外活動委員会講演会「海外における建設技術者」</p> <p>7.7 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針講習会（大阪会場）</p> <p>7.8 「トンネルの地質調査と岩盤計測」講習会（講演7題）</p> <p>7.20～22 第17回地震工学研究発表会（講演97題）</p> <p>7.27～29 第19回水工学に関する夏期研修会（講演19題）</p> <p>8.3～5 第17回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会</p> <p>8.8 日本海中部地震に関する報告会</p> <p>8.22 第4回環境問題に関するワークショップ（講演5題）</p> <p>8.23 第11回環境問題シンポジウム（講演24題）</p> <p>9.28～30 全国大会・第38回年次学術講演会（関東学院大学）発表論文1651編</p> <p>10.14 流動化コンクリート施工指針改訂に伴う講習会（東京会場ほか11.1の大阪まで4会場で開催）</p> <p>10.18 岩盤力学委員会研究報告会</p> <p>10.27～28 第8回電算機利用に関するシンポジウム（講演26</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|--------------------------------|---------|
| <p>公団総裁に就任</p> <p>4. - 吉田登, 動力炉・核燃料開発事業団理事長に就任</p> <p>5.7 オーストラリア工学会訪日団歓迎会</p> <p>6.1 片瀬貴文会員ら, ザイール政府から「国民栄誉賞」受賞</p> <p>7.6 大韓土木学会金東漢会長来訪</p> <p>7.9 中国アーチダム考察団(薫団長以下6名)来訪・懇談会開催</p> <p>7.13~20 イスラエル国技術調査団(28名)訪日, 土木学会来訪および見学幹旋(京阪電鉄地下鉄建設現場)</p> <p>8.11 韓国建設技術院院長安京模ほか1名訪日, 土木学会来訪および見学会幹旋(建設省土木研究所ほか)</p> <p>9.5~6 カナダ国公共事業省道路局技師 M. S. Cheung 来訪ならびに講演会(道路協会と共催)を開催</p> <p>9.22~10.25 イスラエル技術調査団(約120名)3班に分けて訪日, 見学幹旋(ヒルトンホテル建築現場および京阪電鉄地下鉄建設現場)</p> <p>9.27~10.7 アメリカ土木学会会長 Dr. J.H. Wiedeman 夫妻訪日, 土木学会全国大会で特別講演(9.28)および夫妻と懇談会(10.7)を開催</p> <p>10.6 John H. Wiedeman 博士特別講演会</p> <p>10.8 前田昌之, トード・パラングー(スウェーデンの経済学者)賞受賞</p> <p>10.18 カナダ国アルバータ大学教授 P.K. Kaiser 特別講演会・懇談会開催</p> <p>10.18 石川六郎, イタリア共和国友好勲章グランデ・ウフィチアーレ受章</p> <p>10.20 香港工学会会長 L.R. Thompson, 同事務局長 T.R. Maclean 来訪懇談会開催</p> <p>10.22~11.5 第12回土木技術者のための海外調査団(団長:高橋裕以下23名, 西ドイツ, フランス, イギリス)が11.1イギリス土木学会を公式訪問</p> <p>11.3 武藤清, 文化勲章受章</p> <p>11.11 イギリス土木学会「英国土木学会誌国際版」編集長</p> | | <p>一今治ルート因島大橋(橋長1.3 km)を完成</p> | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|---|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>題)</p> <p>11.9~11 第30回海岸工学講演会(講演135題)</p> <p>11.10~11 第1回土木工事のマネジメント問題に関する研究討論会(講演30題)</p> <p>11.17~18 第14回土木計画学講習会(講演10題)</p> <p>12.2~3 コンクリート構造物の限界状態設計法指針(案)講習会(東京会場, 講演7題)</p> <p>12.13~14 コンクリート構造物の限界状態設計法指針(案)講習会(大阪会場, 講演7題)</p> <p>12.16 原位置岩盤の変形およびせん断試験の指針-解説と設計への適用-講習会(講演11題)</p> <p>*.- 理事会(この年8回開催)</p> <p>*.- 評議員会(この年2回, 臨時1回開催)</p> | |
| 1984 (昭和59) | <p>5.30 会 長 岡部 保 副会長 岡田 清 高橋 裕 高秀 秀信 松本順一郎 岡本 孝平 会員数 26 894 名</p> | <p>1.- 創立70周年記念事業の実施を会告</p> <p>4.- 論文集部門別分冊化(6部門×2冊)を行い論文集の活性化を図る. 英文論文等を廃止. 投稿要項を大幅に変更</p> <p>5.31 総会において石上立夫, 小野竹之助, 加賀美一二三, 片平信貴, 河上房義, 小池 誉, 後藤正司, 佐藤 肇, 中村 稔, 福山真三郎, 藤田博愛, 横田周平, 渡辺新三. 13名の名誉会員推挙</p> | <p>1.27~28 第20回衛生工学研究討論会(講演24題)</p> <p>1.29~30 第6回土木計画学研究発表会(講演96題)</p> <p>2.9~10 第28回水理講演会(講演132題)</p> <p>2.16~17 第16回岩盤力学に関するシンポジウム(講演65題)</p> <p>4.19~20 第2回建設用ロボットに関する技術講習会(講演9題)</p> <p>6.29~30 第4回土木史研究発表会(講演22題)</p> <p>7.12~13 第18回土木計画学シンポジウム(講演16題, PD1題)</p> <p>7.25~27 第20回水工学に関する夏期研修会(講演18題)</p> <p>8.6~7 第19回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会(講演4題)</p> <p>8.22 第5回環境問題に関するワークショップ(講演3題)</p> <p>8.23 第12回環境問題シンポジウム(講演21題)</p> <p>10.1~3 全国大会・第39回年次学術講演会(京都大学)(発表論文1867題)</p> <p>10.11 岩盤力学委員会第1回研究報告会(講演3題)</p> <p>10.25~26 第9回電算機利用に関するシンポジウム(講演40</p> | <p>2.- 土質工学における情報化施工研究小委員会</p> <p>2.- 日本学術会議対策懇談会</p> <p>3.- マタディ橋建設工事誌編集委員会</p> <p>3.- 鋼構造物設計指針小委員会</p> <p>4.- 土木建築物取替標準に関する研究委員会(受託)</p> <p>4.- 鉄骨鉄筋コンクリート構造物設計標準に関する研究委員会(受託)</p> <p>4.- アンダーソン工法小委員会(受託)</p> <p>4.- PC合成床版工法に関する研究小委員会(受託)</p> <p>4.- 高炉スラグ混和材研究小委員会(受託)</p> <p>5.- 企画委員会第4期委員会</p> <p>5.- 教育問題特別小委員会</p> <p>6.- 構造工学論文集編集小委員会</p> <p>10.- 地中震度部会(受託)</p> <p>10.- 土木施工研究委員会</p> <p>11.- 土木工学用語委員会</p> <p>11.- 建設マネジメント委員会</p> <p>*.- 規準関連小委員会</p> <p>*.- 運営小委員会</p> <p>*.- 第1施工小委員会</p> <p>*.- 第2施工小委員会</p> <p>*.- 第3施工小委員会</p> <p>*.- 第4施工小委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---|--|
| <p>David. J. Hayward 氏との談話会</p> <p>11. - 空港舗装研究委員会、空港舗装海外調査団をアメリカ、ヨーロッパへ派遣</p> <p>*. - 清水建設、「1983年度デミング賞実施賞」受賞</p> <p>*. - 片瀬貴文ほか84名(マタディ橋完成に尽した日本人)ザイル政府より国民栄誉賞受賞</p> <p>*. - 上田稔、環境庁長官に就任</p> | | | |
| <p>1. 13~17 イギリス土木学会会長 Gaffnay 夫妻、同事務総長 Mckenzie 夫妻訪日 両夫妻と懇談会を開催および見学会幹旋(神戸ポートアイランド、本四架橋、京都)</p> <p>1. 17~26 大韓土木学会調査団(申団長以下29名)訪日 土木学会来訪懇談会(1. 21)を開催および見学幹旋(筑波研究学園都市、本四架橋、青函トンネル等)</p> <p>3. 28 ニュージーランド工学会会長 A. G. Stirrat 夫妻来訪懇談会</p> <p>5. 7 Dr. Hipel (カナダ国) 来会</p> <p>5. 7~ - People to Peple International に係る訪米団派遣(団長: 久保田慶三郎)</p> <p>5. 9 CSCE (カナダ国土木学会) 会長ら一行来会に伴う歓迎会</p> <p>5. 9 佐伯浩・中沢直樹・酒井雅史・田中祐人、「アーサー・ルビンスキー賞」受賞</p> <p>6. 5~21 スウェーデン王立工科大学学生訪日(団長 Dr. Anders Bodare ほか学生25名)</p> <p>7. 5~11. 8 イスラエル国技術調査団3班訪日、見学幹旋(新国技館建設現場)</p> <p>8. 16 池田駿介・浅枝隆、AS</p> | <p>10. 1~3 関西支部が全国大会開催に協力、研究討論会に外人講師が初参加</p> | <p>10. - 関西国際空港株式会社設立</p> <p>12. - 首都高速道路公団、高速湾岸線(1, 2期区間、延長26km)を全通</p> <p>*. - ソ連、アーチ式のイングリダム完成</p> | <p>11. - 東京、世田谷区の電話地下ケーブルが火災、電話、オンラインがまひ</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|----------------|---|---|---|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | | |
| | | | <p>題)</p> <p>11.12~14 第31回海岸工学講演会(講演144題, シンポジウム14題)</p> <p>11.15~16 第15回土木計画学講習会(講演12題)</p> <p>11.26~27 第2回土木工事のマネジメント問題に関する研究討論会(講演6題)</p> <p>12.14 講習会「軟岩-調査・設計・施工の基本と事例」(講演12題)</p> <p>12.14 長野県西部地震-メカニズムと災害-報告会(講演6題)</p> | |
| 1985 (昭和60) | <p>5.30 会 長 菊池 三男 副会長 上田年比古 岡田 宏 後藤 績 高橋 裕 松本順一郎 会員数 27 091 名</p> | <p>3.22 功績賞受賞者を名誉会員に加える内規変更を承認(さかのぼって2名を名誉会員に)</p> <p>5.16 企画委員会より学会活性化について提案</p> <p>5.30 総会において荒井 力, 市原松平, 大橋康次, 奥村敏恵, 倉田宗章, 佐藤秀夫, 斎藤義治, 坂本信雄, 田中 茂, 田原保二, 谷藤正三, 中安米蔵, 長谷川盛一, 丸安隆和, 八十島義之助, 山内一郎の16名を名誉員推挙</p> <p>5. - 5代専務理事 八木純一就任(~1993.12)</p> <p>9.27 事務局へ企画広報室の設置と規則の変更を決定, 論文報告集を論文集に改称</p> <p>10.24 土木図書館が文化庁の指定図書館となる</p> | <p>1.19 第7回土木計画学研究発表会(講演98題)</p> <p>1.31~2.1 第21回衛生工学研究討論会(講演22題)</p> <p>2.2 付着微生物による環境浄化に関するワークショップ(講演10題)</p> <p>2.6~8 第29回水理講演会(講演132題)</p> <p>2.14~15 第17回岩盤力学に関するシンポジウム(講演64題)</p> <p>2.21~22 建設におけるクレーンセミナー講習会(講演3題)</p> <p>3.13 岩盤力学委員会第2回研究報告会(講演3題)</p> <p>4.18 最新の施工技術-1985・4講習会第1回(講演8題)</p> <p>5.15~17 講習会 仮設構造物の計画と施工(東京会場, 講演11題)</p> <p>6.4~6 講習会 仮設構造物の計画と施工(京都会場, 講演11題)</p> <p>6.21~22 第10回海洋開発シンポジウム(講演33題)</p> <p>6.27 第1回施工体験発表会(講演9題)</p> <p>6.28~29 第5回土木史研究発表会(講演39題)</p> <p>6.28 国際環境と経済開発講演会(講演1題)</p> <p>7.9~10 土と防災 夏のセミナー(講演6題)</p> <p>7.24~26 第18回地震工学研究発表会(講演132題)</p> | <p>2. - 工事マネジメントシステム小委員会</p> <p>2. - 現場計測システム小委員会</p> <p>2. - 工事原価管理システム小委員会</p> <p>2. - 計画・管理技法小委員会</p> <p>2. - システム開発小委員会</p> <p>4. - 河川の水質保全と下水処理調査研究小委員会</p> <p>6. - 岩盤タンク貯蔵所調査検討委員会(受託)</p> <p>6. - 構造物最適性研究小委員会</p> <p>6. - 構造力学小委員会</p> <p>7. - 建設用ロボット委員会</p> <p>*. - 第5施工小委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|---|---|---|
| <p>CEの「カール・エミル・ヒルガード水理学賞」受賞 8.20 Mr. W. Affelt (ポーランド国) 来会 9.29 久保田豊名誉会員、「韓国・産業金塔勲章」受章 10.3 北村章・竹内雄三, ASCEの「トーマス・フィッチ・ローランド賞」受賞 10.7~21 第13回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 服部昌太郎ほか16名 訪問国: アメリカ 10.13 Mr. Serna (アメリカ土木学会(ASCE)国際担当理事)を迎えて日米土木学会の談話会 11.7 スウェーデン国 AB 社 訪日団との懇談会</p> | | | |
| <p>3.5 中国土木工程学会コンクリート混和剤応用技術考察団 (団長: 石人俊) 来会に伴う懇談会 4.1 イギリス土木学会(ICE) 編集長オニール氏との懇談会開催 4.1~15 チリ地震現地調査員派遣(埼玉大 渡辺, 奥村組 竹内) 4.5 吉良八郎, 「日本農学会賞」受賞 4.15 岡崎登会員, 「科学技術庁長官賞」受賞 5.27~28 第4回構造物の安全性・信頼性に関する国際会議(神戸市) 5.30 第1回海外建設協会・OCAJI」発表(会社名)(株)青木建設, (株)大林組, 鹿島建設(株), 近畿電気工事(株), (株)熊谷組, (株)鴻池組, 五洋建設(株), 佐藤工業(株), 清水建設(株), 住友建設(株), (株)間組JV, 大成建設(株), (株)竹中工務店・(株)熊谷組JV, (株)竹中土木・(株)竹中工務店・日本舗道(株)・P. T. HUTAMA KARYA JV, 戸田建設(株), 東洋建設(株), 飛鳥建設(株), 西松建設(株), 日本国土開発(株)・(株)間組JV, (株)間組, フジタ工業(株), 不動建設(株), 前田建設工業(株)・(株)奥村組JV, 三井建設(株) * - 小林浩, 「科学技術庁長</p> | <p>9.11~13 東北支部が全国大会開催に協力, 市民対象行事が始まる</p> | <p>1. - 東京都, 環状7号線の最終区間2.2kmを完成し, 環状7号線(延長57.2km)を全通 2. - 沖縄県, 本部半島一瀬底島を結ぶ瀬底大橋(橋長762m)を完成 3. - 青函トンネル本坑貫通 3. - 国鉄, 東北新幹線上野一大宮間(27.5km)開業 5. - 農林水産省, 石川県北部の河北瀧干拓事業を完成 6. - 本四連絡橋公団, 神戸一鳴門ルートの大鳴門橋(全長1629m)完成 10. - 道路公団, 関越自動車道完成 * - 名港西大橋(中央支間405mの鋼傾張橋)完成</p> | <p>3. - 筑波で科学万博'85開幕 4. - 日本電信電話会社(NTT)と日本たばこ産業会社がスタート(電信電話115年, タバコ80年の専売制度が終了) 5.8 男女雇用機会均等法成立 5.8 日航ジャンボ機が群馬県御巣鷹山中に墜落</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|---------------------------|---------|--|---------|
| | 会副会 会 員 長 長 数 | 組 織・運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | | | 7.24～26 第21回水工学に関する夏期研修会(講演18題) 7.25～26 第19回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会「これからの港湾整備とみなとみらい21計画」(講演2題) 8.26 第6回環境問題に関するワークショップ(講演4題) 8.27～28 第13回環境問題シンポジウム(講演25題) 9.4 チリ地震震害調査報告会(講演6題) 9.11～14 全国大会・第40回年次学術講演会(東北学院大学)(発表論文2013題) 9.25～26 水理公式集改訂に伴う講習会(東京会場, 講演14題) 9.27 海上工事の施工技術勉強会-本四連絡橋児島～坂出ルートの下部工-(講演8題) 10.8～9 水理公式集改訂に伴う講習会(大阪会場, 講演14題) 10.8～9 第3回建設用ロボットに関する技術講演会(講演9題) 10.22～23 第10回電算機利用に関するシンポジウム(講演36題) 11.7～8 土木技術者のための振動便覧改訂に伴う講習会(講演14題) 11.13～16 第32回海岸工学講演会(講演157題, シンポジウム16題) 11.14 第2回施工体験発表会(講演8題) 11.21～22 第3回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演28題, PD1題) 11.27 コンクリートのポンプ施工指針制定に伴う講習会(札幌会場, 講演6題) 11.28～29 第16回土木計画学講習会「街路の景観設計」(東京会場, 講演11題, PD1題) 12.3 人工軽量骨材コンクリートの設計・施工に関する講習会(東京会場, 講演5題) 12.5 人工軽量骨材コンクリートの設計・施工に関する講習会(大阪会場, 講演5題) 12.5～6 講習会「建設業の国際化とその対応」(講演12題) 12.5～6 第19回土木計画学シ | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---------|---------|
| 官賞」受賞 6.25 インドネシア訪日団 (デュボネグロ大生研修) 歓迎 会開催 7.2 中村英夫, 「シーボルト 賞」受賞 8.15 Prof. Walter A. Lyon との懇談会 9.17 フィンランドオウル大 学生との懇談会 9.29~10.13 第14回土木技術 者のための海外調査団派遣 団 長: 川本朧万ほか 34名 訪問 国: スウェーデン, ノルウェー, オランダ, スイス, フランスの 各国 10.23 篠塚正宣会員, ASCE の「ニューマーク賞」受賞 11.18 中国交通部大学教育視 察団との懇談会開催 12.2 中国土木工程学会総合訪 日代表団との懇談会開催 12.16 星谷勝, 「レイীগプタ 賞」受賞 | | | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|--|---|--|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>ンポジウム (講演 19 題)</p> <p>12.11 コンクリートのポンプ 施工指針制定に伴う講習会 (東 京会場, 講演 6 題)</p> <p>12.12~13 第 16 回土木計画学 講習会「街路の景観設計」(大 阪会場, 講演 11 題)</p> <p>12.13 コンクリートのポンプ 施工指針制定に伴う講習会 (大 阪会場, 講演 6 題)</p> <p>12.17 コンクリートのポンプ 施工指針制定に伴う講習会 (福 岡会場, 講演 6 題)</p> <p>12.18 長野市地附山地すべり -メカニズムと災害- 報告会 (講演 6 題)</p> | |
| 1986 (昭和 61) | <p>5.30 会 長 久保慶三郎 副会長 井上 章平 近藤 和夫 渡辺 昇 上田年比古 後藤 績 会員数 27 661 名</p> | <p>1.24 就業規則の一部変更</p> <p>5.30 総会において市浦 繁, 小林重一, 高畑政信, 村瀬 清 の 4 名を名誉員推挙</p> <p>5.16 広報委員会, 企画調整委 員会を設置</p> <p>6. - 会費の自動振込み制を公 表</p> | <p>1.17~19 第 8 回土木計画学研 究発表会 (講演 101 題)</p> <p>1.20~21 第 16 回土木計画学 講習会「街路の景観設計」(福 岡会場, 講演 11 題, PD 1 題)</p> <p>1.29 新しい材料・工法・機械 講習会-コンクリート混和剤- (8 題)</p> <p>1.30 付着微生物による環境浄 化に関するワークショップ (講 演 7 題)</p> <p>1.30~31 第 16 回土木計画学 講習会「街路の景観設計」(札 幌会場講演 11 題, PD 1 題)</p> <p>1.31~2.1 第 22 回衛生工学研 究討論会 (講演 21 題, PD 3 題)</p> <p>2.5~7 第 30 回水理講演会 (講演 130 題)</p> <p>2.13~14 第 18 回岩盤力学に 関するシンポジウム (講演 91 題)</p> <p>2.19 コンクリート構造物の耐 久性と防食方法に関する講習会 (東京会場, 講演 6 題)</p> <p>2.22 コンクリート構造物の耐 久性と防食方法に関する講習会 (大阪会場, 講演 6 題)</p> <p>2.25 コンクリート構造物の耐 久性と防食方法に関する講習会 (札幌会場, 講演 6 題)</p> <p>3.7 第 2 回新しい材料・工法 ・機械講習会-小口径管の施工 と維持補修- (講演 10 題)</p> <p>3.26~27 フレッシュコンク リートの物性とその施工への適 用に関するシンポジウム (講演 25 題, WG 4 題)</p> <p>4.28 N.J. Gimsing 教授講 演会 (デンマーク工科大学)</p> | <p>4. - 土木建築物取替標準 (鋼 構造) に関する研究委員会 (受 託)</p> <p>4. - 水理公式集例題集編集小 委員会</p> <p>4. - 下水の嫌気性処理に関す る調査研究小委員会</p> <p>5. - 広報委員会</p> <p>5. - 鋼床版の疲労小委員会</p> <p>6. - 土砂生産に関する研究小 委員会</p> <p>6. - 道路地下利用技術小委員 会</p> <p>6. - 新エネルギー技術小委員 会</p> <p>6. - 環境技術小委員会</p> <p>6. - 企画調整委員会</p> <p>7. - 基本問題検討小委員会</p> <p>*. - RC 示方書英文化小委 員会</p> <p>*. - PCM 編集小委員会</p> <p>*. - 調査分科会</p> <p>*. - ASCE 大会準備小委員 会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|--|---|--|
| | | | |
| <p>1. 6～15 メキシコ地震震害調査団派遣 団長：片山恒雄ほか 21名</p> <p>1. 15～17 第1回構造および建設工学に関する東アジア会議(バンコク)をAITと共催で</p> <p>1. 28 アメリカ土木学会(ASCE)編集長との懇談会</p> <p>4. 2 東京電力、「セグメント自動組立ロボット」を開発、「日本機械学会賞」受賞</p> <p>4. 15 イギリス レディング大学訪日調査団との談話会</p> <p>4. 17 伊藤学らにザイール共和国「国民栄誉賞」が贈られる</p> <p>4. 24 チェコスロバキア プラハ工科大学パネック教授との談話会</p> <p>5. 22 アメリカ土木学会(ASCE)役員との懇談会</p> <p>5. 23 アメリカ土木学会(ASCE) E. Bay 会長一行の歓迎会</p> <p>6. 2 イギリス土木学会(ICE)ファーガソン編集長との懇談会</p> <p>6. 18 プリンストン大学 A. M. Abdel-Ghaffar 教授との懇談</p> <p>7. 1 R. Silvester 教授(西オーストラリア大学)特別講演会</p> <p>7. 17 川越達雄、「第1回日本工学会功労賞」受賞</p> <p>8. 18 玉井信行らのグループ、「APD-Award」受賞</p> <p>8. 24～9. 7 第15回土木技術者のための海外調査団派遣 団長：小林正几ほか17名 訪問国：カナダ、アメリカ合衆国</p> <p>8. 29 久保会長アメリカ土木学会(ASCE)本部を表敬訪問</p> | <p>11. 22～24 西部支部が全国大会開催に協力。市民対象行事</p> | <p>3. - 営団、地下鉄7号線駒込一岩淵間(6.7 km)工事着工</p> <p>3. - 埼京線新宿一池袋開業、京葉線西船橋一千葉港間開業</p> <p>3. - 東海北陸自動車道、岐阜各務原 IC—美濃 IC 間(19.1 km) 開通</p> <p>4. - 本四連絡橋公団、明石海峡大橋(全長3 910 m、中央支間1 990 mの道路橋)着工</p> <p>5. - 東京湾横断道路株式会社設立</p> <p>9. - 日本鉄道建設公団、青函トンネル(53.9 km)のレール敷設を終える</p> <p>10. - 国鉄分割・民営化関連8法案可決</p> <p>11. - 日本原子力研究所、国産1号炉として使命を終えた研究用原子炉の一括撤去工事を完了</p> | <p>2. - 英仏両国外相がドーバー海峡横断トンネル建設に調印</p> <p>3. - 気象庁がペルー沖に異常気象を起こす「エルニーニョ」発生を発表</p> <p>4. - ソ連のチェルノブイリ原子力発電所事故</p> <p>5. - 英のチャールズ皇太子ダイアナ妃が来日</p> <p>11. - 伊豆、三原山が209年振りの大爆発</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|--------------------|---------|--|---------|
| | 会副会 員 長 数 | 組 織・運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | | | <p>5.28 第4回建設用ロボットに関する技術講習会(講演6題)</p> <p>5.29~30 第2回建設におけるクレームセミナー</p> <p>6.19~20 第11回海洋開発シンポジウム(講演30題, PD1題)</p> <p>6.27 第3回施工体験発表会(講演9題)</p> <p>6.27~28 第6回土木史研究発表会(講演36題)</p> <p>7.3~4 第20回土木計画シンポジウムA(講演18題, PD3題)</p> <p>7.5 第20回土木計画学シンポジウムB(PD2題)</p> <p>7.9 第9回トンネル工学に関するシンポジウム(講演10題)</p> <p>7.23~25 第22回水工学に関する夏期研修会(講演18題)</p> <p>8.4~5 第20回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会「土木施工一本四架橋児島・坂出ルートの工法及び新岡山空港建設」(講演5題)</p> <p>9.8 第7回環境問題に関するワークショップ(講演5題)</p> <p>9.9~10 第14回環境問題シンポジウム(講演20題)</p> <p>9.11~12 合成構造の活用に関するシンポジウム(講演46題)</p> <p>9.17 最新の施工技術講習会(講演8題)</p> <p>10.2~3 第11回電算機利用に関するシンポジウム(講演34題, PD1題)</p> <p>10.14~15 コンクリート標準示方書(昭和61年版)制定に伴う講習会(講演13題)</p> <p>10.28 「ダム地質調査」改訂に伴う講習会(講演6題)</p> <p>10.30~11.2 第9回土木計画学研究発表会(講演103題)</p> <p>11.5 第1回河川・海岸シンポジウム(講演3題)</p> <p>11.10 第10回トンネル工学に関するシンポジウム(講演6題)</p> <p>11.14 第5回建設用ロボットに関する技術講習会(講演6題)</p> <p>11.18~20 第33回海岸工学講演会(講演130題)</p> <p>11.22~24 全国大会・第41回年次学術講演会(福岡大学七隈</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|---------|---------|
| <p>9.4 国分正胤名誉会員、「IABSE 功績賞」受賞</p> <p>9.4~6 IABSE 1986年シンポジウム「土木建築構造物の安全性と品質確保」(東京)</p> <p>9.26 K.J. Ives 教授(ロンドン大学)をかこむ砂濾過に関する懇談会</p> <p>9.29~30 国際セミナー「土地利用と交通-モデルと政策シミュレーション-」(東京)</p> <p>10.7 ハンガリー G. Kienitz 博士との懇談会</p> <p>10.12 日本鉄道建設公団, 青函トンネルで「C. Colombo 賞」受賞</p> <p>10.24~27 上田副会長, 八木専務理事 大韓土木学会学術発表会および大韓土木学会を表彰訪問(ソウル市)</p> <p>10.28 永倉正, 「原子力安全功労賞」受賞</p> <p>11.4 Norman L. Arno 氏 (U.S. Army) 特別講演会</p> <p>11.4 「World Construction」誌編集長 Newton 氏との懇談会</p> <p>11.4 Jorig Imberger 氏特別講演会</p> <p>11.6 『街路の景観設計』, 「第2回日刊工業新聞技術・科学図書文化賞」に選出</p> <p>11.12~16 久保会長, 中国土木工学会第3次大会に出席(上海市)</p> <p>11.25 南アフリカ J. W. M. Cameron 氏との懇談会</p> <p>12.6 外国人による座談会(会誌編集委員会)</p> | | | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|-----------------|---|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>キャンパス) (発表論文 2 113 編)</p> <p>11.27 青函トンネルの注入技術勉強会-その歩みと明日への展開-(講演 8 題)</p> <p>12.12 シンポジウム「高校土木教育を考える」(講演 6 題)</p> <p>12.15~16 第 17 回土木計画学講習会「海外交通プロジェクトの F/S」(講演 8 題)</p> | |
| 1987 (昭和 62) | <p>5.28 会 長 石川 六郎 副会長 大原 資生 廣瀬 利雄 堀川 清司 近藤 和夫 渡辺 昇 会員数 28 218 名</p> | <p>1.22 規則第 35 条により日本国有鉄道を特別表彰 (第 1 回) を決定, 2 月 2 日に表彰式</p> <p>3. - 総会において岡本孝平, 菊池三男, 小林元椽, 高橋国一郎, 竹ヶ原輔之夫, 長濱正雄, 畑谷正實, 村田清逸, 柳瀬珠郎, 渡辺 豊の 10 名を名誉会員推挙</p> | <p>1.21 講演会「未来に生かす土木構造物-土木構造物の寿命を考える-」(講演 7 題)</p> <p>1.22~23 第 4 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 (講演 6 題, 研究討論 3 題)</p> <p>1.29 第 4 回施工体験発表会 (講演 9 題)</p> <p>1.29~30 第 23 回衛生工学研究討論会 (講演 28 題)</p> <p>2.5~6 第 31 回水理講演会 (講演 136 題)</p> <p>2.12~13 第 19 回岩盤力学に関するシンポジウム (講演 103 題)</p> <p>2.19 コンクリート構造物の耐久性と防食方法に関する講習会 (講演 7 題)</p> <p>3.24 高炉スラグ微粉末のコンクリートへの適用に関するシンポジウム (講演 24 題)</p> <p>3.26 第 5 回施工体験発表会 (講演 9 題)</p> <p>4.1 衛生工学実験指導書 (プロセス編) 改訂に伴う講習会 (講演 6 題)</p> <p>4.24 第 6 回建設用ロボットに関する技術講習会 (講演 6 題)</p> <p>5.13 最新の施工技術講習会 (講演 8 題)</p> <p>6.15 PC 合成床版工法設計施工指針制定に伴う講演会 (東京会場, 講演 5 題)</p> <p>6.17 PC 合成床版工法設計施工指針制定に伴う講演会 (大阪会場, 講演 5 題)</p> <p>6.18~19 第 12 回海洋開発シンポジウム (講演 36 題, PD 1 題)</p> <p>6.19 PC 合成床版工法設計施工指針制定に伴う講演会 (福岡会場, 講演 5 題)</p> <p>6.24~25 第 21 回土木計画学シンポジウム「地方都市の交通</p> | <p>5. - 限界状態設計部会 (受託)</p> <p>6. - 流砂量と河床形状に関する研究小委員会</p> <p>6. - 動的解析とその適用に関する研究小委員会</p> <p>6. - 強震動アレー小委員会</p> <p>6. - シソーラス小委員会</p> <p>6. - 地下空間研究小委員会</p> <p>6. - 遠隔地におけるリゾート構想に関する調査特別委員会 (受託)</p> <p>7. - 耐風工学連絡小委員会</p> <p>7. - 調査・計画支援システム小委員会</p> <p>7. - 設計支援システム小委員会</p> <p>7. - 施工支援情報システム小委員会</p> <p>7. - 維持管理支援システム小委員会</p> <p>7. - 技術情報管理支援システム小委員会</p> <p>9. - 土木の日実行委員会</p> <p>11. - 土木図書館委員会</p> <p>12. - 環境システム委員会</p> <p>*. - 設計一般小委員会</p> <p>*. - 施工一般小委員会</p> <p>*. - 耐久性設計小委員会</p> <p>*. - コンクリート教育研究小委員会</p> <p>*. - 維持管理小委員会</p> <p>*. - PC 工法設計施工指針改訂小委員会 (受託)</p> <p>*. - 土木工学ハンドブック編集委員会</p> <p>*. - 建設プロジェクト企画小委員会 (一部受託)</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|--|
| <p>1. - 八十島義之助、講書始の儀で東京地下鉄につき昭和天皇に進講</p> <p>3.13 カナダ政府公共事業省 D. N. ヘニング部長との懇談会</p> <p>4.2 Udo Vogei 教授講演会 (西ドイツ Karlsruhe 大学)</p> <p>4.15 小柳武和・高田邦道会員、「昭和62年度国際交通安全学会賞」受賞</p> <p>5.15 ジョン・ホプキンス大学 J. L. Cohon 教授との懇談会</p> <p>6.2 大韓土木学会一行との懇談会</p> <p>6.5 三浦裕二、矢島富廣「第14回環境賞優良賞」受賞</p> <p>8.5 瀾津家久会員、ASCEの「Karl Emil Hilgard Hydraulic賞」受賞</p> <p>9.9 Max W. Abrahamson 氏講演会</p> <p>9.21 フィンランド・オウル大学 ロンドン大学学生との懇談会</p> <p>10.8 スウェーデン土木学会事務局長との懇談</p> <p>10.27 87年度 ASCE 年次大会 (アナハイム) にて「青函トンネルの計画と工事」についての発表を行った (団長: ASCE 大会準備小委員会委員長 藤田圭一)</p> <p>11.2 イギリス BBC テレビ一行への取材協力「日本の建設業」</p> <p>11.7~21 第16回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 福本嘸士ほか34名 訪問国: スペイン, ギリシャ, トルコ, フランス</p> <p>11.26 カナダ M. S. Cheung 博士との ICCCE 国際会議開催の打合せ</p> <p>12.11 中国国家計画委員会研修団との懇談会</p> | <p>1. - 中部支部で第1回留学生交歓会 (93年度で8回)</p> <p>9.26~29 北海道支部が全国大会開催に協力。年講にポスターセッション初導入 市民対象行事</p> <p>10.23 関西支部創立60周年記念式典 (大阪建設交流館), 記念講演3題, 祝賀会 (石川会長出席, 前後して懸賞論文公募 (6編), コンクリートに関する講習会, 都市災害防止シンポジウム, 市民見学会, 公開シンポジウム, 学生会員の海外派遣 (以後継続中), 標語「地球が僕らの舞台だ」採用。ポスターを作成し PR, 座談会など, 記念出版「創立60周年記念誌」「土木のはなし-自然と叡知-」</p> <p>11.9 東北支部創立50周年記念式典 (ホテル仙台プラザ) 記念講演1題, 展示会, 見学会など。記念出版「みちのくの散歩道-土木技術を訪ねて-」</p> <p>12.4 北海道支部創立50周年記念式典 (札幌パークホテル) 功労者8名表彰, 記念講演2題, 祝賀会 記念誌「ほっかいどう土木技術のあゆみ」刊行</p> | <p>1. - 関西国際空港 (株), 大阪湾南東部泉州沖5kmの海上で空港建設に着手</p> <p>3. - 茨城県, 霞が浦大橋 (延長1015.6m) 完成</p> <p>4. - 首都高速道路公団, 高速湾岸線鶴見航路橋工事着工</p> <p>9. - エジプトのカイロでアフリカ初の地下鉄 (延長28km) 開通</p> <p>9. - 首都高速道路公団, 葛飾川口線 (16.5km) および江戸川線 (11.2km) を開通</p> <p>10. - 本四連絡橋公団, 神戸鳴門ルートの大鳴門橋関連区間 (延長45km) 全通</p> <p>11. - 運輸省, 志布志港若浜地区竣工</p> <p>12. - タイ, チャオプラヤ川にラマ9世橋が完成</p> <p>12. - 原子力船「むつ」の新母港根根浜港完成</p> <p>*. - 閣議, 第4次全国総合開発計画 (四全総) を決定</p> | <p>2. - 公定歩合2.5%で超低金利時代となる</p> <p>2. - NTT (株) が上場される。買い殺到で取引成立せず</p> <p>2. - NTT, 世界初めて16メガビット DRAM の開発に成功</p> <p>3. - 国鉄が1872年の開業以来115年の歴史に幕。JR6社が発足</p> <p>4. - 国土庁発表の「62年地価公示」で東京都の地価平均が53.9%の上昇</p> <p>10. - 利根川進, ノーベル医学生理学賞受賞</p> <p>10. - ニューヨーク株式市場で株価が大暴落 (ブラックマンデー)</p> <p>11. - 大韓航空機, ビルマ沖で消息不明</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|----------------------------|-----------------------|---|-----------------------|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>を考える」(講演 11 題, PD 2 題, コメント・提言 6 題)</p> <p>6. 26~27 第 7 回土木史研究発表会(講演 36 題)</p> <p>7. 22~24 第 19 回地震工学研究発表会(講演 142 題)</p> <p>7. 22~24 第 23 回水工学に関する夏期研修会(講演 18 題)</p> <p>7. 31 「青函ウォーク」を実施。600 名が 23 キロを走破</p> <p>8. 3~4 第 21 回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会「土木学会コンクリート標準示方書制定に伴う最近のコンクリートの設計と施工の動向」(講演 7 題)</p> <p>8. 24 第 8 回環境問題に関するワークショップ(講演 6 題)</p> <p>8. 25~26 第 15 回環境問題シンポジウム(講演 17 題)</p> <p>9. 17 第 1 回施工トラブルとその対策講習会(講演 8 題)</p> <p>9. 22 トンネルにおける調査・計測の評価利用講習会(講演 9 題)</p> <p>9. 26~29 全国大会・第 42 回年次学術講演会(北海道大学)(発表論文 2 126 題, PS 76 題)</p> <p>10. 8~9 第 3 回建設におけるクレームセミナー</p> <p>10. 21~23 第 12 回電算機利用に関するシンポジウム(講演 45 題)</p> <p>11. 5 第 1 回建設コンサルタントシンポジウム「建設コンサルタントを考える」(講演 8 題)</p> <p>11. 12~13 プロフェッショナル・コンストラクション・マネジメント講習会(講演 7 題)</p> <p>11. 18~20 第 34 回海岸工学講演会(講演 140 題)</p> <p>11. 18~24 「土木の日」および「くらしと土木の週間」を提唱(第 1 回), 以後継続</p> <p>11. 21~23 第 10 回土木計画学研究発表会(講演 104 題, 招待論文 2 題)</p> <p>11. 25~26 第 21 回土木計画学講習会-交通ネットワークの分析と計画: 最新の理論と応用(講演 19 題)</p> <p>12. 1~2 第 5 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演 6 題)</p> <p>12. 15 鋼構造物設計指針講習会(東京会場, 講演 12 題)</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---------|---------|
| 12.14 岡本舜三, 日本学士院 会員に推挙 *、- 横山章, 「科学技術庁長 官賞」受賞 | | | |

(社) 土 木 学 会 の 動 き

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|-----------------|--|--|--|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 12.17 鋼構造物設計指針講習会 (大阪会場, 講演 10 題) | |
| 1988 (昭和 63) | 5.27 会 長 内田 隆滋 副会長 鈴木 道雄 中瀬 明男 藤井 敏夫 大原 資生 杉山 孝雄 会員数 29 884 名 | 3.25 藤井松太郎氏のご遺族および高橋裕氏より土木振興基金に各 100 万円寄付, 感謝状を贈呈。(基金総額 3400 万円) 4.22 就業規則, 図書館規定の一部変更, 日本建築学会首脳部と本会との懇談会 (4.27) 決定 5.26 総会において足立 力, 井口昌平, 石川 豊, 小田英一, 岡部 保, 久保慶三郎, 後藤幸正, 堺 毅, 下村 肇, 杉尾捨三郎, 鈴紀喜久, 福岡正巳, 南 俊次, M.P. O'Brien の 14 名を名誉会員推挙 6.23 規則第 35 条により富樫凱一名会員の特別表彰を決定。宮地鉄工所より同社の創立 80 周年を記念し, 500 万円を田中賞基金に寄付, 感謝状を贈呈。佐々木道夫氏の 10 万円 (5.31) も同様 9.22 土木学会誌, 論文集はじめ学会が編集・出版した著作物の著作権はこれの委任を受けることを承認。学会誌編集方針を 89 年 1 月号より大幅に変更する提案を了承, とともに会告で徹底 12. - 「公益信託・土木学会学術交流基金」(3 億 1 100 万円) 設立 | 1.26 講習会「建設の情報化の現状と将来 (エキスパートシステム)」 1.27 最新の施工技術講演会 (講演 8 題) 1.12 土質工学における情報化施工に関するシンポジウム (講演 11 題) 1.29~30 第 24 回衛生工学研究討論会 (講演 28 題) 2.17~18 第 20 回岩盤力学に関するシンポジウム (講演 73 題, PD 2 題) 3.11 第 6 回施工体験発表会 - 情報化施工事例 - (講演 10 題) 3.14 第 32 回水理講演会 (講演 106 題) 4.7 座屈設計ガイドライン講習会 (講演 13 題) 4.26 第 7 回建設用ロボットに関する技術講習会 (講演 9 題) 5.12 孔内載荷試験法の現状と課題 - 指針化の試み - 講習会 (講演 13 題) 6.8 第 2 回河川・海岸シンポジウム (講演 2 題, 話題提供 3 題) 6.24~25 第 8 回土木史研究発表会 (講演 36 題) 6.24 第 2 回施工トラブルとその対策講習会 (講演 4 題) 7.12 第 2 回海外活動委員会講演会 (講演 1 題) 7.20~21 第 22 回土木計画学シンポジウム (講演 21 題) 8.4~5 第 22 回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会 (講演 4 題) 8.8~10 第 24 回水工学に関する夏期研修会 (講演 18 題) 8.22~23 第 1 回環境システムシンポジウム (講演 30 題, PD 1 題) 9.14 第 7 回施工体験発表会 (講演 8 題) 10.3~5 全国大会・第 43 回年次学術講演会 (広島工業大学) (発表論文 2 325 題, PS 110 題) 10.19~20 地下空間利用に関するシンポジウム (講演 18 題, PD 6 題) | 4. - 鋼構造終局強度研究小委員会 4. - 沿道局地汚染対策特別委員会 (受託) 6. - 建設業の品質確保に関する手引書臨時調査委員会 6. - 斜面安定小委員会 6. - 設備診断・補強技術小委員会 7. - 鋼・コンクリート共通構造設計基準小委員会 7. - 人工知能小委員会 9. - 学術交流基金募金委員会 9. - プロジェクト計画小委員会 (一部受託) 9. - 工事システム小委員会 9. - マネジメント技術小委員会 9. - 運営小委員会 12. - 極大径ねじふし鉄筋設計施工研究小委員会 (受託) * - 美しい橋のデザインマニュアル編集小委員会 * - 土木改名に関する調査・検討専門部会 * - エコポリス計画策定管理調査小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|--|
| <p>2. ー 光易恒, アメリカ気象学会の「Sverdrup Gold Medal」受賞</p> <p>2. 25 Dr. C.J. Sonu 氏特別講演会</p> <p>3. 3 アメリカ土木学会グラント会長一行との日米幹部会議および協力協定の仮調印式, 歓迎会, 記者会見</p> <p>3. 17 日本鉄道建設公団に総理大臣顕彰</p> <p>3. 30 中国土木工学会理事一行との懇談会</p> <p>4. 15 本州四国連絡橋公団に総理大臣顕彰</p> <p>6. ー 田島二郎, エジンバラ公よりメダルを授与する</p> <p>6. 6~8 第5回国際建設ロボットシンポジウム(東京)</p> <p>6. 13 イギリス土木学会(ICE)フッガーソン編集長との懇談会</p> <p>7. 1~10 第16回写真測量・リモートセンシング国際会議(京都)</p> <p>7. 20~22 第6回IAHR太平洋会議(京都)</p> <p>8. 2~6 第9回世界地震工学会議(9 WCEE, 東京・京都)</p> <p>8. 9~16 八木専務理事を内田会長代理としてカナダ土木学会との協力協定調印のためカナダ国バンクーバーへ派遣</p> <p>8. 21 堀井秀之, 「IUTAM Bureau Prize」受賞</p> <p>9. 6 Erich J. Plate 教授特別講演会</p> <p>9. 20 オーストラリア工学会会長との懇談</p> <p>10. 12 スウェーデン土木構造学会訪日視察団の訪問</p> <p>10. 16~30 第17回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 加来照俊ほか19名 訪問国: オーストラリア</p> <p>10. 20 伊東孝, 「日本文化デザイン会議賞」受賞</p> <p>10. 22~30 内田会長代理として堀川次期会長および八木専務理事をアメリカ土木学会との協力協定調印のためセントルイスへ派遣</p> <p>10. 23~11. 3 ASCE セントルイス大会にて「本州四国連絡橋」</p> | <p>2. ー 中部支部創立50周年記念誌「国造りの歴史-中部の土木史」を名大出版会から刊行</p> <p>4. ー 同上「土木学会中部支部10年の記録」刊行</p> <p>4. 22 東北支部「仙台首都構想」をマスコミ等に公表</p> <p>5. 12 関東支部創立25周年記念事業 記念講演2題(主婦会館)祝賀会(私学会館)記念出版「GRAND DESIGN」</p> <p>5. 19 関東支部山梨会が発足</p> <p>10. 3~5 中国四国支部が昭和63年度全国大会にあたり「本四連絡橋開通記念行事」を併催, 本四橋特別連絡記念講義(講義集刊行), 記念展, シンポジウム, 作家・曾野綾子による記念講演会, 見学会など大規模な行事を開催</p> <p>11. 18 西部支部が設立50周年記念式典を開催(全日空ホテル)功労者10名に授賞 記念出版「九州の土木紀行」(1989. 11)刊行</p> <p>*. ー 1988年より「土木の日」および「くらしと土木の週間」行事を各支部で実施中(詳細は第6編参照)</p> | <p>3. ー 青函トンネル(延長53.8km)の開通により北海道津軽海峡線中小国一木古内間全通</p> <p>3. ー 千葉市, 全国初の懸垂型都市モノレール「タウンライナー」一部(延長8km)を開通</p> <p>3. ー 道路公団, 常磐自動車道日立IC-いわきIC(延長51.2km)完成</p> <p>3. ー 道路公団, 東名阪自動車道(延長28.3km)開通</p> <p>4. ー 本四連絡橋公団, 兎島-坂出ルートを開通(瀬戸大橋は道路鉄道併用の吊橋)これにより, JR 四国の本四備讃線茶屋町-宇多津間開業</p> <p>7. ー 日本道路公団, 名立谷浜一朝日間(59.5km)の供用により北陸自動車道476kmの全線開通. この開通で東名-名神-北陸-関越を結ぶ1070kmの大環状高速道路が完成</p> <p>7. ー 東京国際空港(羽田)沖合展開事業第一期工事完成しA滑走路供用開始</p> <p>*. ー 石川島播磨重工(株), 第2ボスボラス橋を完成</p> | <p>1. ー 円相場1ドル=120円となり戦後最高</p> <p>3. ー 東京ドーム落成式</p> <p>6. ー リクルート事件発覚</p> <p>6. ー 牛肉, オレンジ自由化</p> <p>12. ー 消費税導入を柱とする税制改革関連6法案可決</p> |

| 年 | 会 副 会 員 長 会 員 長 数 | | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|---------------|--|---|---|---|-----------|
| | | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | | | |
| | | | | <p>11.9 構造システムの最適化講習会(講演12題)</p> <p>11.14~16 第35回海岸工学講演会(講演171題)</p> <p>11.15 第3回新しい材料・工法・機械講習会(講演9題)</p> <p>11.17~18 第13回海洋開発シンポジウム(講演89題)</p> <p>11.24 第2回岩盤力学委員会特別委員会(講演4題)</p> <p>11.24 第2回建設コンサルタントシンポジウム(講演5題)</p> <p>11.30 第11回土木計画学研究発表会(講演129題)</p> <p>12.6~7 第6回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演20題,招待講演1題)</p> <p>12.13 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(名古屋会場,講演7題)</p> <p>12.16 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(仙台会場,講演7題)</p> <p>12.20 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(新潟会場,講演7題)</p> <p>12.23 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(大阪会場,講演7題)</p> | |
| 1989 (平成元) | 5.26 会 長 堀川 清司 副会長 土居 則夫 秋原 兼脩 室田 明 藤井 敏夫 松浦 聖 会員数 30901名 | <p>1.6 創立75周年記念として「公益信託・土木学会学術交流基金」の公募を決定。基金額3億1100万円。(学会拠出2200万円),個人1口3000円以上。91年末より助成開始</p> <p>3.1 故伊藤文人氏のご遺族より,50万円を田中賞基金へ寄附</p> <p>4.28 鹿島建設創業150周年を記念し2億円の寄付を受け入れ「土木学会学術振興基金」を設立</p> <p>5.28 総会において伊藤直行,石井興良,市田 洋,上田 稔,内田一郎,大串満馬,岡田政三,佐々木正久,佐藤 康,田邊義亮,高橋浩二,成岡昌夫,比留間豊,廣瀬可一,森下卓也,吉開正文,吉村虎蔵の17名を名誉会員推挙</p> <p>6.23 日本土木史研究委員会を土木史研究委員会に名称変更</p> <p>9.6 「瀬戸大橋」に対し日刊工業新聞社より第18回産業技術</p> | <p>1.20 国際建設契約約款の基礎出版に伴う講習会(講演5題)</p> <p>1.26 第25回衛生工学研究討論会(論文部門講演22題,自由投稿部門講演14題,ポスター28題)</p> <p>1.27 第8回施工体験発表会(講演10題)</p> <p>2.1 第8回建設用ロボットに関する技術講習会(講演6題)</p> <p>2.8 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(札幌会場,講演7題)</p> <p>2.9 第21回岩盤力学に関するシンポジウム(講演96題,PD2題)</p> <p>2.16 講習会「建設分野における新材料とその展望」(講演5題)</p> <p>2.21 構造物のライフタイムリスクの評価(東京会場,講演6題)</p> <p>2.23 構造物のライフタイムリスクの評価(大阪会場,講演6題)</p> | <p>3.- 連続繊維研究小委員会(受託)</p> <p>4.- 下水道の高規格化に関する調査研究小委員会</p> <p>4.- 国際委員会</p> <p>4.- 調査企画小委員会</p> <p>4.- 国際委員会 第1部会</p> <p>4.- 特殊水中コンクリート研究小委員会(受託)</p> <p>4.- 国際委員会 第2部会</p> <p>5.- 非線形解析小委員会</p> <p>5.- 非破壊評価小委員会</p> <p>6.- 水理学水文学における数値解析手法研究小委員会</p> <p>6.- 地盤と構造物の動的相互作用小委員会</p> <p>6.- ウォーターフロント開発の土質・基礎技術に関する研究小委員会</p> <p>6.- 舗装機能の評価技術に関する研究小委員会</p> <p>6.- 水工学論文集編集小委員会</p> <p>7.- 振動制御小委員会</p> <p>7.- 構造物安全性連絡小委員</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---|--|
| <p>についての発表を行った(团长: ASCE セントルイス大会準備会 座長: 伊藤学)</p> <p>10.25 ASCE と JSCE の正式協定の調印式が堀川 JSCE 次期会長、八木専務理事、グラント ASCE 会長、フランク事務総長の間で行われる。</p> <p>10.28 富樫凱一, 文化功労者に選定</p> <p>10.31 デンマーク道路騒音調査団との懇談会</p> <p>11.7 中国天津市水利関係者との懇談</p> <p>12.2 大平拓也, 「交通文化賞」受賞</p> | | | |
| <p>1. - 第2回構造および建設工学に関する東アジア会議(チェンマイ)をAITと共催で開催</p> <p>2.6 オーストラリア工学会副会長との懇談</p> <p>4.17 加藤三郎・新谷洋二、田島二郎・伊東孝・昌子住江・窪田陽一・内山久雄・山川仁・福田敦, 「国際交通安全学会賞」受賞</p> <p>5.13~28 土構造物および基礎委員会「地下空間利用施設調査団」-ヨーロッパ班- 団長: 佐藤邦明(団員9名) 訪問国: ノルウェー, スウェーデン, スイス, フランス, イギリス</p> <p>5.15 中国土木水利工程学会(台湾)林貴松会長来会, 懇談</p> <p>6.4~18 土構造物および基礎委員会「地下空間利用施設調査団」-北アメリカ班- 団長: 大西有三(団員9名) 訪問国: カナダ, アメリカ</p> <p>6.12 山根孟, 「George S. Richardson Medal」受賞</p> | <p>3. - 西部支部が福岡鴻池ビル(1978.10~)からタイセイビルに移転, 現在に至る</p> <p>6. - 関東支部新潟会10周年誌刊行</p> <p>7. - 関東支部群馬会が発足, 機関紙「群馬を拓く」刊行</p> <p>10.16~18 中部支部が平成元年全国大会開催に際し ASCE 訪日団(10名)を受け入れ J. A. Focht Jr. 会長が特別講演を行ったほか研究討論会にも参画(ASCE 日本支部が協力)</p> <p>10.20 関西支部編「水のなんでも小事典」(講談社ブルーバックス, 第1刷)刊行。以下2年ごとに「橋のなんでも小事典」「土のなんでも小事典」など続刊</p> <p>*. - 東北支部が技術賞を創設7件に授賞, 以後授賞を継続中</p> | <p>3. - 道路公団, 東名高速道路の新都夫良野トンネル(延長1715m)貫通</p> <p>3. - 都営地下鉄10号線(延長23.5km)全線開業</p> <p>3. - 阪神高速道路, 大阪港線(延長5km)開通</p> <p>4. - 第三セクター運営の秋田内陸線(延長15km)全線開業</p> <p>5. - 東京湾横断道路(川崎-木更津間15.1km)起工式。1996年完成予定</p> <p>7. - 道路公団, 山形自動車道山形北-寒河江間(延長11.1km)および八戸自動車道安代-一戸間(延長26.8km)開通</p> <p>8. - 鉄道公団, 北陸新幹線高崎-軽井沢間(延長41.8km)着工</p> <p>9. - 北海道縦貫自動車道深川-滝川間(延長17.9km)開通</p> <p>9. - 首都公団, 高速神奈川3号狩場線(延長1.4km), 高速湾岸線(2.8km), 高速神奈</p> | <p>1. - 昭和天皇崩御。新元号が平成となる</p> <p>4. - 3%の消費税がスタート</p> <p>6. - 中国の天安門「血の日曜日」事件発生。死者200人余</p> <p>9. - 日米構造協議始まる</p> <p>10. - サンフランシスコ一帯でM=7.1の大地震発生。死者65名</p> <p>11. - 三陸沖地震(M=7.1)発生</p> <p>11. - ドイツ, ベルリンの壁崩壊</p> <p>*. - 東欧, 激動の民主化</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|--------------------|--|---|---|
| | 会副会 員 長 数 | 組 織・運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事・集 会 | 調 査・研 究 |
| | | 大賞が本州四国連絡橋公団へ授与され副賞100万円を田中賞基金へ寄附 * - 橋本経吉, 文江夫妻, 自作の絵画5点を寄贈, 会館ホールに展示(学会誌1989年9月号) | 3.21~22 第33回水理講演会(講演114題) 3.21~22 第4回新しい材料・工法・機械講習会(講演10題) 4.14 鋼・コンクリート合成構造の設計ガイドライン講習会(東京会場, 講演12題) 4.21 鋼・コンクリート合成構造の設計ガイドライン講習会(大阪会場, 講演12題) 5.23 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(岡山会場, 講演7題) 6.9 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(福岡会場, 講演7題) 6.22~23 第9回土木史研究発表会(講演31題) 6.22 土木史研究ワークショップ 6.22~23 第14回海洋開発シンポジウム(講演55題) 6.27 第3回施工トラブルとその対策講演会-近接構造物およびその他構造物編-(講演5題) 7.5 第3回河川・海岸シンポジウム 7.7 コンクリート教育の現状と展望に関するシンポジウム(講演25題) 7.26~28 第20回地震工学研究発表会(講演155題) 7.26~27 第19回土木計画学講習会「水辺の景観設計」(東京会場, 講演9題) 7.27~29 第25回水工学に関する夏期研修会(講演18題) 8.1~2 第23回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会「21世紀の土木を考える-地下・海洋・宇宙空間の開発-」(講演7題) 8.24~25 第2回環境システムシンポジウム(講演31題) 8.30 コンクリート構造物の耐久設計の新しい考え方講習会(講演8題) 9.21~22 第4回建設におけるクレームセミナー(講演2題) 9.21~22 第2回合成構造の活用に関するシンポジウム(講演62題) 9.28~29 第20回土木計画学講習会「活力ある高齢化社会とまちづくり」(講演14題) 10.5~6 第14回土木情報シ | 会 7.- 土木情報支援システム研究小委員会 7.- 土木情報システム研究検討連絡会議 7.- 道路研究小委員会 7.- 重力式コンクリートダム研究小委員会 7.- シールド研究小委員会 7.- 水中基礎工事研究小委員会 8.- CEP改訂編集小委員会 10.- 衝撃問題研究小委員会 10.- プラントンに関する調査研究委員会(受託) 10.- 在来地下鉄道技術委員会(受託) 12.- 鋼構造的極限性状研究小委員会 12.- 高性能コンクリート研究小委員会(受託)膨張コンクリート分科会 12.- 高性能コンクリート研究小委員会(受託)高炉スラグ骨材分科会 12.- 高性能コンクリート研究小委員会(受託)流動コンクリート分科会 12.- 品川台場に関する調査研究委員会(受託) *.- 調査研究部会(受託) *.- 土木史研究編集小委員会 *.- 学術振興基金専門部会 *.- 第6施工小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|--|---------|
| <p>7.7 Chudoba 博士講演会</p> <p>7.10 中川博次, 外務大臣表彰を受ける</p> <p>7.11~14 第5回世界交通会議(横浜)</p> <p>7.17~20 アルカリ骨材反応に関する国際会議(京都)</p> <p>7.31~8.4 第2回塑性力学とその応用に関する国際シンポジウム(津)</p> <p>8.15~27 堀川会長, 八木専務理事カナダ土木学会, アメリカ土木学会の両学会を表敬訪問</p> <p>9.17~10.2 建設マネジメント委員会「欧州視察・交流調査団」団長: 庄子幹雄(団員17名) 訪問国: スウェーデン, イギリス, ドイツ, スペイン, フランス</p> <p>10.10 合田良実, 「国際海岸工学賞」受賞</p> <p>10.15~21 ASCE 会長 John Focht, Jr. 一行来日(全国大会参加), ASCE 歴史的構造物に八幡橋(1878, 東京深川)を顕彰</p> <p>10.15~25 第7回国際かんがい排水会議アジアアフリカ会議(東京)</p> <p>10.22~11.5 第18回土木技術者のための海外調査団団長: 門田博知ほか35名 訪問国: スウェーデン, スイス, イタリア, フランス, イギリス</p> <p>11.13~17 IFHP 千葉国際会議(千葉)</p> <p>11.14 スウェーデンからの訪日研修団の訪問</p> <p>11.17 大韓土木学会 文済吉会長一行来会, 協力協定の締結</p> <p>11.25~30 堀川会長, 中国土木水利工程学会(台湾)へ表敬訪問</p> <p>11.28 岩垣雄一, 「交通文化賞」受賞</p> | | <p>川5号線大黒線(4.6km)開通, 高速湾岸線の横浜ベイブリッジは最大支間460mの最大級斜張橋</p> <p>10. - 道路公団, 関越自動車道関越トンネル第二期線貫通</p> <p>12. - 新高松空港完成</p> | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|--|---|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | テムシンポジウム (講演 39 編) 10.16~18 全国大会・第 44 回 年次学術講演会 (名古屋工業大学) (発表論文 2 332 題, PS 16 4 題) 10.20 動的解析と耐震設計に関する講習会 (東京会場, 講演 5 題) 11.1~2 地下空間利用に関するシンポジウム 1989-地下利用による新しい都市空間を目指して- (講演 17 題) 11.9~10 第 23 回土木計画学シンポジウム-魅力あるまちづくり・まちづくり (講演 15 題) 11.14~16 第 36 回海岸工学講演会 (講演 178 題) 11.15 システム最適化に関するシンポジウム (講演 27 題) 11.15 最新の施工技術・5 講習会 (講演 9 題) 11.18 土木史研究委員会講演会 (講演 5 題) 11.22 耐震工学委員会ロマ・プリータ地震報告会 (講演 18 題) 11.30 動的解析と耐震設計に関する講習会 (大阪会場, 講演 5 題) 12.1~3 第 12 回土木計画学研究発表会 (講演 132 題, PD 1 題) 12.1 講習会「新しい潮流と土木への期待」(講演 5 題) 12.5~6 第 7 回建設マネジメント問題に関する研究発表討論会 (講演 35 題, PD 1 題) 12.12 第 3 回建設コンサルタントシンポジウム (講演 7 題) | |
| 1990 (平成 2) | 5.28 会 長 浅井新一郎 副会長 近藤 信昭 多田 尚夫 中村 英夫 長澤不二男 土居 則夫 会員数 32 786 名 | 1.26 全国大会特別交付金を 92 年度から 500 万円 (現行 200 万円) に増額 4.27 表彰委員会運営内規の一部改正 4.27 論文集選考委員会から各部門ごとに 1 件という申出があり, 全体で 5~6 件を妥当とする旨を回答, 総会ならびに全国大会実施要綱の一部改正, 全国大会参加費 1 人 1000 円を 90 年度から徴収決定 5.29 総会において内田隆滋, 尾崎 晃, 大地羊三, 大橋 健 | 1.25~27 第 26 回衛生工学研究討論会 (講演 12 題, 自由投稿 21 題, 特別シンポジウム 1 題, PS 14 題) 1.27 地球規模環境問題研究分科会ミニワークショップ (講演 5 題) 1.30 第 9 回施工体験発表会 (講演 10 題) 2.8~9 第 22 回岩盤力学に関するシンポジウム (講演 105 題) 2.20~21 第 4 回施工トラブルとその対策講習会 (講演 11 | 1. - 鋼橋の余寿命評価小委員会 1. - 鉄筋のアモルファス接合調査研究小委員会 (受託) 4. - 鋼コンクリートサンドイッチ構造研究小委員会 (受託) 6. - 歴史的鋼橋調査小委員会 6. - Research and Practice of Hydraulic Engineering in Japan 編集小委員会 6. - 鋼・コンクリート複合構造研究小委員会 (受託) 6. - 国際問題小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|---|--|
| | | | |
| <p>1. - 荒津大橋, 「都市景観賞」受賞 1. 23 中国土木工学会一行の歓迎会 2. 7~9 第 14 回構造工学における数値解析法シンポジウム(東京) 3. 30~4. 7 堀川会長, オーストラリア工学会との協定調印のためオーストラリアへ 3. 30~4. 14 土木施工委員会「People to People International, 米国技術交流派遣団」団長: 浜田政則(団員 17 名)</p> | <p>4. 9 中国四国支部内に設置された四国支部の創設に関する特別委員会が金丸支部長に答申書を提出 9. 30~10. 2 関東支部・関東支部新潟会が平成 2 年度全国大会を初めて裏日本の新潟で開催. 多彩な市民対象行事を展開. この年より全員から参加費の徴収を決定 11. 19 関西支部が「土木の日」を記念しフォーラムシビルコスモス(FCC)運動を開始. 以後継続して各種の市民対象の</p> | <p>2. - 神戸新交通六甲アイランド線(延長 4.5 km) 開通 3. - 京王電鉄, 相模原線全線開通 5. - 大阪市に此花大橋(橋長 1700 m) 完成 8. - 本四公団, 本州四国連絡橋西瀬戸自動車道多々羅大橋(中央支間 890 m で世界最長の斜張橋) 着工 10. - 京都市営地下鉄烏丸線(延長 11.1 km) 全線開通 10. - 道路公団, 磐越自動車道郡山 JCT-磐梯熱海 IC(延</p> | <p>3. - 韓国元首として初めて米日の盧泰愚大統領が国会で演説 6. - 日立が世界最初の 64 メガビットの DRAM 試作を発表 5. - 駐車違反一掃の法改正案まとまる 6. - 天皇家の次男礼宮さま, 川嶋紀子さまと結婚 7. - 九州中北部に集中豪雨. 死者 27 人 *.- 日本の海外直接投資額が世界一となる *.- 株価大暴落, バブルはじける</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|----------------------------|--|--|---|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | <p>一、岡田光雄、佐藤清一、佐藤史、豊田栄一、土方大貳、細田和男、三木五三郎の11名を名誉会員推挙</p> <p>9.28 論文集の発行回数を1～3部門については1991年4月よりそれぞれ年4回発行(年間18冊)、他部門も条件を整えば年4回発行とする、著者負担金の減額、投稿者の資格制限廃止を決定</p> <p>11.30 土木図書館規定を一部改訂、文部省学術情報センター・データベース化への参加を決定</p> | <p>題)</p> <p>3.9 岩盤力学委員会研究報告会(講演7題)</p> <p>3.21～22 第34回水理講演会(講演118題)</p> <p>4.6 地球規模環境問題に関するワークショップ(講演11題)</p> <p>5.18 動的解析と耐震設計に関する講演会(講演6題)</p> <p>5.24 最新の施工技術・6(講演9題)</p> <p>6.21～22 第15回海洋開発シンポジウム(講演63題)</p> <p>6.29～30 第10回土木史研究発表会(講演35題)</p> <p>7.4 講習会「地球環境の保全に対する土木の役割」(講演5題)</p> <p>7.5 東京都心線地下部の計画と施工講習会(講演8題)</p> <p>8.2～3 第24回高校土木科職員を主対象とする夏期講習会(講演5題)</p> <p>8.6～8 第26回水工学に関する夏期研修会(講演18題)</p> <p>8.8 水中不分離性コンクリートに関するシンポジウム(講演33題)</p> <p>9.19 「鋼斜張橋」に関する講習会(東京会場、講演15題)</p> <p>9.27 「鋼斜張橋」に関する講習会(大阪会場、講演15題)</p> <p>9.30～10.2 全国大会・第45回年次学術講演会(新潟大学)(発表論文2600題、PS164題)</p> <p>10.25 ニューフロンティア「地下空間」講習会(講演6題)</p> <p>10.26 第10回施工体験発表会—海中工事における契約管理の実態—(講演4題)</p> <p>10.30～31 第15回土木情報システムシンポジウム(査読論文21題、事例報告28題、特別講演1題)</p> <p>11.7～8 第21回土木計画学講習会「交通施設整備のための事業制度の現状と将来展望」(講演16題)</p> <p>11.13～15 第37回海岸工学講演会(講演179題)</p> <p>11.21～23 第13回土木計画学研究発表会(講演171題)</p> <p>11.27 第4回建設コンサルタントシンポジウム(講演7題)</p> | <p>7. — 地球規模環境水理小委員会</p> <p>10. — 創立80周年記念事業準備委員会</p> <p>11. — 海岸工学用語集編集小委員会</p> <p>12. — 下水道の雨水対策の向上に関する調査研究小委員会</p> <p>*. — 企画小委員会</p> <p>*. — 土工小委員会</p> <p>*. — 躯体小委員会</p> <p>*. — 海洋小委員会</p> <p>*. — 学術振興基金穿孔委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|------------------|---|---------|
| <p>訪問国：アメリカ</p> <p>4. - 石川六郎，日本工学会会長に就任</p> <p>4. - 「オーストラリア工学会 (IEAust)」と協力協定締結</p> <p>5.20～26 第 27 回国際航路会議 (大阪)</p> <p>7.16～20 第 4 回海洋科学技術に関する太平洋会議 (東京)</p> <p>7.17 全米科学財団 (NSF)/日本技術評価センター (JTEC) と土木学会との懇談会</p> <p>7.23～27 第 5 回国際都市雨水排除会議 (吹田)</p> <p>7.29～8.3 第 15 回国際水質汚濁研究会議 (京都)</p> <p>8.22 M.A. Foda 博士講演会 (講演 1 題)</p> <p>9.27～10.3 国際防災の 10 年国際会議 (横浜・鹿児島)</p> <p>10.8 ICE Constructin Today 誌 編集長 E. グリーマン氏の来会</p> <p>10.19 ASCE/Civil Engineering Research Foundation とのフォーラム</p> <p>10.26 岡本舜三，文化功労者に選定</p> <p>10.26 「スウェーデン土木構造学会」と協力協定締結</p> <p>10.27～11.10 第 19 回土木技術者のための海外調査団派遣 団長：赤木俊允ほか 24 名 訪問国：アメリカ合衆国</p> <p>10.29 IABSE 事務局長 Alan Golay 氏の来会</p> <p>*. - 明石海峡大橋 (IA) のコンクリートプラント，「神戸景観・ポイント賞特別賞」受賞</p> | <p>行事を積極的に展開</p> | <p>長 9.0 km) 開通</p> <p>10. - 熊本県五家荘に吊り床版橋 (橋長 116 m) が完成</p> <p>10. - JR, 京葉線東京一蘇我間 43 km を全線開通</p> <p>11. - 運輸省，大阪空港は新空港完成後も存続を決定</p> <p>11. - 運輸省，むつ小川原港岸壁，航路泊地完成</p> | |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|---------------|---|---|---|--|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>11.27 第9回建設用ロボットに関する技術講習会「計測の自動化技術の現状と展望」(講演6題)</p> <p>12.4~5 地下空間利用シンポジウム1990-地下空間利用による豊かな国土の建設を目指して-(講演39題)</p> <p>12.6 NATMとシールド工法の境界領域に関するシンポジウム(講演6題)</p> <p>12.6~7 第8回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演33題,特別報告1題)</p> <p>12.7~8 環境システムワークショップ(講演9題)</p> | |
| 1991 (平成3) | <p>5.29 会 長 岩佐 義朗 副会長 尾坂 芳夫 藤野 慎吾 三谷 浩 近藤 信昭 長澤不二男 会員数 33 684 名</p> | <p>1.25 建設コンサルタント協会より役員選考につき要望</p> <p>5.28 総会において伊藤富雄,石川六郎,岩井重久,岩崎敏夫,神田九思男,北郷 繁,左合正雄,佐久間啓,林 泰三,牧野文雄,山岡 勲, J. W. Johnson, 堂垣内尚弘, 村上永一の14名を名誉会員推挙</p> <p>6.25 「特定公益増進法人」文部省より認定</p> <p>9.27 表彰規程を一部変更</p> <p>11.29 学会誌別刷特集の判形をA4に変更,経費の関係から条件つき</p> | <p>1.17~19 第27回衛生工学研究討論会(講演19題,自由投稿発表部門数23題,特別シンポジウム1題,PS4題)</p> <p>1.24~25 第24回土木計画学シンポジウム「新しい沿岸域の創造」(講演8題,PD2題)</p> <p>1.31 講習会「シックデザインを考える」(講演6題)</p> <p>2.8~9 第23回岩盤力学に関するシンポジウム(講演73題)</p> <p>2.27 第11回施工体験発表会-悪条件下の土留工事例-(講演11題)</p> <p>3.16 環境システムワークショップ(講演6題)</p> <p>3.21~22 第35回水理講演会(講演115題)</p> <p>3.22~23 落石等による衝撃問題に関するシンポジウム(講演32題)</p> <p>4.19 プレストレストコンクリート工法設計施工指針講習会(東京会場,講演7題)</p> <p>4.26 プレストレストコンクリート工法設計施工指針講習会(大阪会場,講演7題)</p> <p>5.17 構造工学委員会講演会(講演3題)</p> <p>5.20 水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)講習会(東京会場,講演7題)</p> <p>5.20 水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)講習会(大阪会場,講演7題)</p> <p>5.30 講習会「交通施設整備のための事業制度-その現状と将</p> | <p>1.- 構造システム最適化研究小委員会</p> <p>1.- 民間活動誘導手法検討調査小委員会(受託)</p> <p>3.- 風洞実験相似則検討小委員会</p> <p>4.- 環境にやさしい下水道のあり方に関する調査研究小委員会</p> <p>4.- 環境微生物工学研究法編集小委員会</p> <p>4.- 海岸工事特別小委員会</p> <p>4.- 地球規模環境問題研究小委員会</p> <p>4.- 研究現況レビュー小委員会</p> <p>4.- 社会資本問題研究委員会</p> <p>4.- 地球環境委員会</p> <p>6.- 立地部会(受託)</p> <p>6.- 論文集小委員会</p> <p>6.- トンネル工学研究発表会小委員会</p> <p>8.- 風工学における数値計算の応用と評価研究小委員会</p> <p>9.- 創立80周年記念事業実行委員会イベント部会</p> <p>10.- 創立80周年記念事業委員会</p> <p>10.- 建設マネジメント原論編集委員会</p> <p>10.- 風景叙事詩(仮称)編集委員会</p> <p>10.- 土木用語大辞典編集委員会</p> <p>10.- 鋼構造スライドライブラー作成小委員会</p> |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|---|--|---|
| | | | |
| <p>2.18 John F. Kennedy 博士特別講演会</p> <p>3.5 長崎における「土木の日」、九州地建の「広報グランプリ賞」受賞</p> <p>3.12 国分正胤、「日本学士院賞」受賞</p> <p>4.2 Informacion Tecnologica y Consultaria (INFOTEC, メキシコ)ダビッド・フェルナンデス氏の来会(表敬訪問)</p> <p>5. - 「イギリス土木学会(IC E)」と協力協定締結</p> <p>5.11 Bechtel Corp. (アメリカ合衆国) 副社長 チャールズ・M. スピンク氏の来会(建設マネジメント委員会)</p> <p>7.8 長尾義三、「CZ 91」における表彰</p> <p>7.24 フィンランド土木学会・Partec Concrete Ltd. Olavi Tupamaki 氏の来会(国際委員会)</p> <p>7.29~31 第4回土木・建築コンピュータ国際会議(東京)</p> <p>8.4 首藤伸夫、「HAZARDS '91」における「アダムス賞」受賞</p> <p>8.9 チェコスロバキア科学院 Miroslav Skaloud 氏の来会(表敬訪問)</p> <p>8.21 大韓国土木学会/韓国道路公社 李慶鎮氏, 全喜睦氏, 李卓洙氏, 呉義鎮氏の来会(表敬訪問)</p> <p>8.22 ミネソタ大学助教授(ア</p> | <p>9.17~19 関西支部が平成3年度全国大会開催に協力。開催時を利用し自然災害に関する国際シンポジウムを開催。基調講演, 論文発表ともすべて英語。</p> <p>ガイアート展, 記念講演会など市民対象行事を展開</p> <p>12.3 中国四国支部創立50周年記念式典(広島国際会議場)記念講演, パネルディスカッション, 祝賀会, 記念出版「土木へのいざない-21世紀の夢空間」刊行</p> | <p>3. - 建設省土木研究所に世界最大の風洞実験施設完成</p> <p>3. - 鉄道建設公団, 北総線京成高砂-新鎌ヶ谷間(延長12.7km)全線開通</p> <p>3. - 道路公団, 東名高速道路改築(大井松田-御殿場間25.3km)完了</p> <p>3. - 道路公団, 舞鶴自動車道福知山-舞鶴西間(延長23.7km)全通</p> <p>3. - 広島市で建設中の新交通システム工事現場で重大事故発生</p> <p>4. - 東北・上越両新幹線の上野-東京間3.6kmが結ばれ, 東京始発となる</p> <p>10. - 東京都, 四谷見附橋架替工事完了</p> <p>10. - 山形県庄内空港完成</p> <p>12. - 本四連絡橋公団, 本州四国連絡橋尾道-今治ルートの生口橋完成</p> | <p>6. - 雲仙普賢岳198年ぶりの噴火で大火砕流発生。死者40人</p> <p>6. - フィリピンのピナトゥポ火山で今世紀最大級の火砕流発生。死者・行方不明870人</p> <p>9. - 新幹線鉄道保有機構, JRの東日本, 東海, 西日本の3社に東北, 上越, 東海, 山陽の4新幹線の設備を9兆1767億円で売却</p> <p>11. - 東京-新大阪を2時間30分で結ぶ「スーパーひかり」登場</p> <p>*. - 金融, 証券の不祥事が次々と発覚</p> <p>*. - 景気減速状態に</p> <p>*. - 米軍主軸の多国籍軍がイラクを攻撃(湾岸ハイテク戦争)</p> <p>*. - ソ連で「8月革命」共産党解体</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|---------------------------------|-----------------------|---|--|
| | 会 副 会 員 長 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 来展望-」(講演 10 題) 6.6 水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)講習会(福岡会場, 講演 7 題) 6.7 第 11 回土木史研究発表会(講演 42 題) 6.12 水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)講習会(札幌会場, 講演 7 題) 6.12 講習会「交通施設整備のための事業制度-その現状と将来展望-」(講演 14 題) 6.20 第 5 回海外活動委員会講演会(講演 2 題) 6.20 第 16 回海洋開発シンポジウム(講演 70 題) 6.22 地球規模環境問題に関するミニワークショップ(12 題) 6.27 長大橋下部工の施工技術講習会(講演 5 題) 7.16 講習会「地球新時代におけるエネルギーとその展望」(講演 5 題) 7.18~19 コンクリート教育の取り組み方シンポジウム(講演 27 題) 7.25~26 振動制御に関するコロキウム(講演 41 題) 7.31~8.2 第 21 回地震工学研究発表会(講演 168 題) 8.1 プレストレストコンクリート工法設計施工指針講習会(講演 8 題) 8.1 第 25 回夏期講習会「都市と防災」・見学会(講演 5 題) 8.3 講習会「交通施設整備のための事業制度-その現状と将来展望-」(講演 7 題) 8.7~9 第 27 回水工学に関する夏期研修会(講演 18 題) 8.22~23 第 4 回環境システムシンポジウム(講演 34 題) 8.30 コンクリートの力学特性に関するワークショップ(講演 10 題) 9.12 「新しい時代の契約方式-VE と CM-」講習会(講演 7 題) 9.17~19 全国大会・第 46 回年次学術講演会(関西大学)(発表論文 2 698 題, PS 70 題) 9.26 第 5 回「新しい材料・工法・機械講習会」-コンクリートひびわれ対策技術の現状と適用-(講演 10 題) | 10.- 土木遺産に見る国土形成の歴史(仮称)編集委員会 10.- 土木施工技術編集委員会 10.- 創立 80 周年記念事業実行委員会記念出版部会 10.- 日本土木史編集委員会 10.- ヨーロッパ土木ガイド編集委員会 10.- 創立 80 周年記念事業運営委員会 10.- 鋼構造新技術小委員会(受託) 12.- 土木学会 80 年史編集委員会 *.- 立地小委員会 *.- 波浪・海底地盤・構造物相互作用研究小委員会 *.- フェロニッケルスラグ骨材研究小委員会(受託) *.- 土木施工技術編集小委員会 *.- 地球環境問題研究小委員会 *.- 環境保全型都市研究小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---------|---------|
| <p> メリカ合衆国) Raymond Sterling 氏の来会 (NSF/JTEC 懇談会) 9.5 スタンフォード大学教授 (アメリカ合衆国) Boyd C. Paulson, Jr. 氏の来会 (建設マネジメント委員会) 9.11 前田幸雄, IABSE の名誉会員推挙 9.18 国際シンポジウム「土木における自然災害の防止」(吹田市) 9.26 マサチューセッツ工科大学教授(アメリカ合衆国) Fred Moavenzadch 氏の来会 (表敬訪問) 9.26~29 第3回合成構造国際会議 (福岡市) 10.1 田島二郎, 日本鉄鋼協会「浅田賞」受賞 10.3 河田恵昭, 「第1回日本自然災害学会学術賞」受賞 10.18 大韓国土木学会 訪問団 李慶鎮氏, 吳昌洙氏, 崔鎮澤氏他の来会 (表敬訪問) 10.27 NTT の ACE モール DC 15 M 工法, 「NO-DIG 賞」受賞 10.31~11.1 Jon K. Friend 氏 (英国) の来会 (SCA シンポジウム) 11.9~11.23 第20回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 長瀬重義ほか 28 名 訪問国: イギリス, デンマーク, オランダ, スイス, フランス 11.29 国際水理学会 (IAHR) 事務局長 J. Egbert Prins 氏の来会 (国際水理学会議 1993, 東京の打合せ) 12.2 O.C. Zienkiewicz 教授 講演会 12.3 岡村甫, 米国コンクリート学会より表彰される *.- 篠塚正宣, ASCE の「C. Martin Duke 賞」受賞 </p> | | | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | | |
|---------------|---|---|--|-----------------------|--|
| | 会 副 会 員 長 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 | |
| | | | <p>10.1 構造工学委員会講演会(講演3題)</p> <p>10.25~26 土木工学における非破壊評価シンポジウム(講演39題)</p> <p>10.29~30 第16回土木情報システムシンポジウム(特別講演1題, 査読論文23題, 事例報告19題, 自由投稿13題, PD1題)</p> <p>10.31~11.1 第25回土木計画学シンポジウム-戦略的選択アプローチ(講演9題)</p> <p>10.31~11.1 コンクリート標準示方書の改訂およびコンクリート技術の今後の動向に関する講習会(講演16題)</p> <p>11.12~14 第38回海岸工学講演会(講演199題)</p> <p>11.14~15 第2回システム最適化に関するシンポジウム(講演51題)</p> <p>11.15 軟岩の調査・試験の指針(案)(1991年版)発刊に伴う講習会(講演8題)</p> <p>11.19 人工島の施工技術講習会(講演6題)</p> <p>11.20 第5回建設コンサルタントシンポジウム-建設コンサルタントのソフト化-(講演7題)</p> <p>11.20~22 第14回土木計画学研究発表会(講演182題, 招待講演2題, スペシャルセッション5題)</p> <p>12.3~4 第9回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演33題, PD1題)</p> <p>12.9~10 第1回トンネル工学研究発表会(講演55題)</p> <p>12.10~11 第22回土木計画学講習会「港の景観設計」(横浜会場, 講演7題, PD1題)</p> <p>12.14 ミニシンポジウム「流れと流砂の同時計測」(講演9題)</p> <p>12.16~17 第22回土木計画学講習会「港の景観設計」(大阪会場, 講演7題, PD1題)</p> | | |
| 1992 (平成4) | 5.28 会 長 藤井 敏夫 副会長 岡村 甫 近藤 徹 坂本 好史 尾坂 芳夫 | 1.30 規則を一部変更し、正会員である法人および特別会員の会費を1992年4月より改訂(10年ぶり)。特級A 100万円, B 85万円, 1級A 50万円, B 30万円, C 15万円, D 8万円, 2 | 1.14 第5回環境システムシンポジウム-エコ・シビルエンジニアリング(生態系との共存をめざして)-(講演6題, 基調講演2題) | 1.21 第10回建設用ロボット | 1.- 橋梁交通振動研究小委員会 1.- 木構造小委員会 2.- 交通安全施設調査研究小委員会 4.- 用水廃水の物理化学処理 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|--|
| | | | |
| <p>3.19 カナダ土木学会(CSCE)使節団 L.G. Jaeger 氏(CSCE 次期会長)ほか7名の来会(表敬訪問)</p> <p>4.14 大内一, ASCE の「Moisseiff 賞」受賞</p> | <p>9.28~30 東北支部が平成4年度全国大会開催に協力。年講に6部門のほか共通セッションを導入。展示会など市民対象行事</p> | <p>3.一 東京—新大阪間を2時間30分で結ぶ新幹線「のぞみ」登場</p> <p>6.一 地球サミット(国連環境開発会議)がブラジルで開催「アジェンダ21」を採択</p> | <p>1.一 約50年ぶりに南アフリカと外交関係再開</p> <p>4.一 千葉市が政令指定都市に(1989年の仙台市に続いて全国12番目)</p> <p>8.一 PKO 協力法公布。最初</p> |

| 年 | 会 員 長 副 会 員 長 会 員 数 | | 組 織・運 営 | 事 業 | |
|---|---------------------------|---|--|---|--|
| | | | | 行 事・集 会 | |
| | | | | 調 査・研 究 | |
| | 藤野 慎吾 会員数 35 097 名 | 級 学会誌、論文集購読料見合 い 1. 31 創立 80 周年記念事業の イベントおよび出版の大綱を承 認 4. 24 斜張橋国際セミナー実行 委員会より田中博士記念事業基 金へ 200 万円の寄附を受入れ 5. 31 総会において浅井新一 郎、粟津清蔵、神谷 洋、近藤 和夫、佐用泰司、椿東一郎、戸 谷松司、能町純雄、八田晃夫、 前田幸雄、耳野 慎、山門明 雄、山内豊聰、山本有三、山家 義雄、G.W.Housner の 16 名 を名誉会員推挙 6. - 事務局土曜全体を 1992 年 6 月より実施 11. 27 土木学術資料館（仮 称）の建設予定地決定までの経 過を報告（川崎市浮島地区） | に関する技術講習会（講演 9 題） 1. 23～24 ウォーターフロント 開発シンポジウム（講演 43 題、招待講演 4 題） 1. 23～25 第 28 回衛生工學研 究討論会（論文部門：19 題、 国際セッション：2 題、自由投 稿部門：28 題） 2. 6～7 第 24 回岩盤力学に関 するシンポジウム（講演 105 題、PD 2 題） 2. 28 第 12 回施工体験発表会 - 狭小作業空間における工事例 -（講演 12 題） 3. 19 第 36 回水理講演会（講 演 120 題） 3. 20 第 4 回アゲールシンポジ ウム（講演 3 題） 3. 27 関西国際空港施工技術発 表会 - 大水深、軟弱地盤におけ る海上空港建設技術 -（講演 12 題） 4. 20～21 連続繊維補強材のコ ンクリート構造物への適用に関 するシンポジウム（講演 55 題、報告 8 題） 4. 22 新しい時代の契約方式 - VE と CM -（第 2 回）講習会 （講演 5 題、PD 1 題） 4. 23 土木計画学研究会講演 会「ポーランドを中心とした 東ヨーロッパの道路計画、交通 政策」（講演 3 題） 4. 24 「ダムの岩盤掘削」発刊 に伴う講習会（講演 6 題） 5. 22 舗装機能の評価技術に関 するセミナー（講演 9 題） 5. 29 風工学における流れの数 値シミュレーション法入門講習 会（講演 7 題） 6. 11～12 第 12 回土木史研究 発表会（講演 41 題） 6. 18～19 地下空間利用シンポ ジウム 1992（講演 42 題） 6. 25～26 第 17 回海洋開発シ ンポジウム（講演 83 題） 7. 10 「初期地圧測定法の現状 と課題発刊に伴う講習会（講演 15 題）」 7. 15 講習会「これからの土木 に生かすニューテクノロジー」 - 土木と学際領域 -（講演 5 題） 7. 20 熱環境セミナー（講演 7 題） 7. 24 鋼コンクリートサンド | 研究小委員会 4. - 水系微生物汚染研究小委 員会 4. - 地球規模環境問題小委員 会 6. - 応用固体力学小委員会 6. - 舗装に関する研究小委員 会 6. - LANDFILL による新 しい水辺空間創造研究小委員会 7. - 力学教育に関する小委員 会 7. - 水理公式集改訂検討小委 員会 8. - トンネル耐震性研究小委 員会 8. - 創立 80 周年記念事業実 行委員会 8. - 計算力学とその応用に関 する研究小委員会 9. - 地震・制震研究小委員会 9. - 四谷見附橋架替工事誌編 集委員会（受託） 9. - 創立 80 周年記念事業委 員会 施設拡充部会 9. - 地震荷重研究小委員会 10. - AL（人工生命）技術 の構造システム最適化への応用 研究小委員会 * - コンストラクション・ クレーム小委員会 * - 海洋環境研究小委員会 * - 火山被害と防災・対策 に関する研究小委員会 * - 連続繊維補強材料研究 小委員会（受託） * - シリカフェーム調査研 究小委員会（受託） * - コンクリート調査研究 小委員会 | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|---|--|
| <p>4.23 ワルシャワ工科大学 Prof. Inz. Wojciech Suchorzewski (ポーランド) (岩盤力学委員会研究報告会)</p> <p>5.4 長瀧重義, カナダ資源エネルギー技術センターおよび米国コンクリート学会より表彰される</p> <p>5.13 大韓土木学会会長 鄭然世氏, 事務総長 李慶鎮氏, 韓国大使館 朴慶夫氏の表敬訪問</p> <p>5.17~21 中国土木水利工程学会・台湾(CICHE)と協力協定締結のため, 岩佐義朗会長夫妻が訪台</p> <p>5.28 ミャンマー建設省 ウハンゾー氏総会において田中賞受賞</p> <p>5.28 アメリカ合衆国 Housner 教授, 総会において名誉会員推挙</p> <p>6.3~5 第9回国際建設ロボットシンポジウム(東京)</p> <p>6.9 英国の“Construction Today”誌編集者, Russell Steadman 氏取材のため来会</p> <p>7.13 椎貝博美, 外務大臣表彰を受ける</p> <p>7.27 川村満紀・鳥居和之, 「サンドバーグ賞」受賞</p> <p>8.25~9.8 第21回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 樗木武ほか 23名 訪問国: ノルウェー, スウェーデン, フィンランド, オーストラリア, スイス, フランス</p> <p>9.8 オーストラリア工学会会長 L. M. Gillin 教授一行表敬訪問 Raymond Sterling 氏の来会</p> <p>9.14~20 1992年度 ASCE 年次大会(ニューヨーク)で関西空港研究討論会, 英米土木学会長主催のパミュダ会議へ藤井会長出席, ASCE 公式訪問</p> <p>10.2 韓国建設技術研究院 李教善氏, 建設用ロボット委員会との意見交換参加</p> <p>10.7~8 セミナー・都市における社会基盤整備の諸問題と対策(バンコク)を本会, JICA, タイ国工学会, AIT の共催で開催(200名現地参加)</p> <p>10.21 アメリカ合衆国, スタンフォード大学, P. L. McCarth 教授の講演(土木学会)</p> <p>10.26 アメリカ合衆国, Rob-</p> | | <p>9.- 利根川水系真間川支川の国分川水路工事で事故, 死者7人</p> <p>12.- 新東京国際空港, 第二旅客ターミナルビル完成</p> | <p>の部隊がアンゴラ, カンボジアへ出発</p> <p>9.- 毛利衛さん, スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ</p> <p>*.- 55年体制崩壊</p> <p>*.- 景気の低迷深刻化</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|---------------------------------|-----------------------|---|-----------------------|
| | 会 副 会 員 長 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>イチ構造設計指針(案)の解説と適用に関する講習会(講演 8 題)</p> <p>7. 24~25 港の景観設計講習会(福岡会場, 講演 7 題)</p> <p>7. 30~31 港の景観設計講習会(札幌会場, 講演 8 題)</p> <p>8. 24~25 第 26 回夏期講習会「地球環境と近未来土木技術」・見学会(講演 7 題)</p> <p>8. 25 人工衛生を用いた地球観測データ講習会(講演 6 題)</p> <p>8. 26~28 第 28 回水工学に関する夏期研修会(講演 18 題)</p> <p>8. 27~28 第 20 回環境システム研究論文発表会(講演 58 題, PS 10 題)</p> <p>9. 8 動的相互作用を考慮した土木構造物の耐震設計講習会(講演 11 題)</p> <p>9. 18 原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震設計に関する講習会(講演 7 題)</p> <p>9. 28~30 全国大会・第 47 回年次学術講演会(東北大学)(発表論文 3 092 題, 共通セッション 109 題, PS 62 題, 英語セッション 57 件)</p> <p>10. 8~9 第 26 回土木計画学シンポジウム-社会基盤整備とリスクマネジメント-(講演 14 題)</p> <p>10. 13~14 第 2 回トンネル工学研究発表会(講演 37 題)</p> <p>10. 15~16 土木学会地球環境委員会設立シンポジウム-地球時代の土木-(記念講演 2 題, 基調報告等 4 題, PD 1 題)</p> <p>10. 20 講習会「建設事業の国際化」(講演 5 題)</p> <p>10. 26 沿岸域の開発・利用とミティゲーション(講演 2 題)</p> <p>10. 29~30 第 17 回土木情報システムシンポジウム(講演 69 題, PD 1 題)</p> <p>11. 5 ワークショップ「都市河川・運河の再生」(講演 6 題)</p> <p>11. 11~13 第 39 回海岸工学講演会(講演 219 題)</p> <p>11. 17~19 第 15 回土木計画学研究発表会(講演 221 題)</p> <p>11. 25 第 6 回建設コンサルタントシンポジウム(講演 5 題)</p> <p>12. 1~2 第 10 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演 38 題, 特別対談 1,</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|-----|---------|---------|
| <p>ert S. Grove 氏, C. M. Parr 女史「沿岸域の開発, 利用とミ ティゲーション」講演(土木学 会)</p> <p>10.26~27 「第5回ライフライン 施設の地震災害防除に関する ワークショップ」(建設省土 研)</p> <p>11.5 『港の景観』が「第8回 日刊工業新聞技術・科学図書文 化賞」優秀賞受賞</p> <p>11.7~18 スウェーデンの Sva- nte Roupe 氏, 土木学会学術 交流基金で来日</p> <p>11.15~29 オーストリアの T. W. Macoun 氏, 土木学会学術 交流基金で来日</p> <p>11.27 尾坂芳夫副会長が大韓 土木学会 40 周年記念祝賀会 で記念講演</p> <p>12.1 松本嘉司・堀口孝男, 「交通文化賞」受賞</p> <p>12.7~8 第2回橋梁の免震設 計に関するワークショップ(建 設省土研)</p> <p>12.16 英国の Michael Barn- es 氏, 取材のため来会</p> <p>12.17 ポーランドの Prof. Cl. hav inz Kazimierz Thils 氏, 岩盤力学委員会で講演</p> <p>*. - 熊本港における軟弱地 盤着底式防波堤の設計・施工技 術が「日経 PB 技術賞'92」建 設部門を受賞</p> | | | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|----------------|--|---|---|--|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | PD 1 題) 12.2 軟岩評価-調査・設計・ 施工への適用発刊に伴う講習会 (講演 7 題) 12.2 最新の施工技術講習会 (講演 9 題) 12.14 土木史研究委員会「宮 本武之輔生誕百年シンポジウ ム」(講演 2 題) 12.15~16 地区交通計画講習 会(講演 16 題) | |
| 1993 (平成 5) | 5.28 会 長 竹内 良夫 副会長 堤 一 中川 博次 藤井 治芳 芳村 仁 岡村 甫 近藤 徹 会員数 35 505 名 | 4. - 93 年 4 月号より論文集 を各部門 4 冊計 24 冊発行 5.31 総会において井島武士, 井上 孝, 岡田 清, 片山英 吉, 吉川秀夫, 小松定夫, 後藤 績, 坂野重信, 瀬良 茂, 多 田尚夫, 長尾義三, 樋口芳朗, 平嶋政治, 堀川清司, 町田利 武, 松本順一郎, 八木鐵男の 17 名を名誉会長推挙 5. - 6 代専務理事, 河野宏就 任 6.18 国際貢献賞, 技術功労賞 を新設決定, 1993 年より公募 11.18 土木図書館日録システ ムのサービスを開始 11.26 中国四国支部の分離を 決定, 1995 年 4 月より実施, 表彰規程の一部変更を承認 | 1.12 第 6 回環境システムシン ポジウム-「社会」学習型環境 づくり-(講演 8 題) 1.26 第 11 回建設用ロボット に関する技術講習会(講演 7 題) 2.4~5 第 25 回岩盤力学に関 するシンポジウム(講演 124 題, PD 2 題) 2.23 第 13 回施工体験発表会 (講演 9 題) 3.9 釧路沖地震報告会(講演 7 題) 3.18 第 5 回アゲールシンポジ ウム(講演 3 題) 3.19~20 第 37 回水理講演会 (講演 131 題) 4.23 東京湾横断道路の施工技 術(その 1) 講習会(講演 9 題) 5.20~21 風工学への CFD の 応用入門講習会(講演 11 題) 5.21 地域交通計画講習会(講 演 11 題) 5.27 環境微生物工学研究法講 習会(東京会場, 講演 9 題 総 合討論) 6.2 環境微生物工学研究法講 習会(大阪会場, 講演 5 題 総 合討論) 6.3~4 第 2 回落石等による衝 撃問題に関するシンポジウム (講演 51 題) 6.3 動的相互利用を考慮した 土木構造物の耐震設計講習会 (講演 8 題) 6.11~12 第 13 回土木史研究 発表会(講演 50 題) 6.21~22 地下空間利用シンポ ジウム 1993(講演 44 題) 6.21 地域交通計画講習会(講 演 11 題) 6.24~25 第 18 回海洋開発シ ンポジウム(講演 71 題) 7.1 第 1 回地球環境シンポジ | 1. - 歴史的・文化的土木遺産 調査特別委員会 2. - 地球環境問題と地域水環 境の研究小委員会 4. - 下水道の雨水対策の方向 性に関する調査研究小委員会 4. - 流域水質管理システム開 発小委員会 4. - 機能性材料の水質変換・ 制御の応用に関する研究小委員 会 4. - 建設副産物調査委員会 6. - 水力国際協力小委員会 6. - 土木 CAD 小委員会 6. - 情報活用・教育小委員会 6. - 土木データベース小委員 会 6. - 国際特別小委員会 7. - 技術功労賞選考委員会 7. - 国際貢献賞選考委員会 10. - 地層・地下水の汚染と その浄化に関する研究小委員会 11. - トンネル安全施設調査 研究小委員会 * - 玉川上水調査小委員会 * - 古代道路研究小委員会 * - 港湾歴史文献データ ベース構築調査小委員会 |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|--|---|
| <p>2.9 中村英夫・渋谷実ら、「ポーランド国運輸大臣勲章」受賞</p> <p>2.15 アメリカ合衆国国際担当理事 Patricia D. Galloway 女史来会</p> <p>2.15~19 第1回アジア地域土木研究所長等会議（建設省土研）</p> <p>2.20 アジアにおける国土開発と土木技術に関する国際シンポジウム（北海道開発土研）</p> <p>2.23 カナダ土木学会会長 L. G. Jaeger 博士, Neale 博士, 表敬訪問</p> <p>2.28~3.2 第3回 ASCE Construction Congress (サンフランシスコ)</p> <p>4.21 岡本義喬前事務局長, 「第7回日本工学会功労賞」を受賞</p> <p>4.27 英国土木学会 Mr. Michael N. T. Cottell 氏(婦人同伴)来日, 土木学会表敬訪問</p> <p>4.29 勲2等瑞宝章 尾崎晃</p> <p>5.28 G. W. Housnar 博士を名誉会員に推挙(日本建築学会も同様)</p> <p>6.17 大阪府土木部が箕面川ダムで「環境賞」の優良賞受賞</p> <p>6.30 フランス科学・技術者会議(CNISF) Mr. Jean Roret 副会長来日, 竹内会長との懇談および日仏協力協定調印</p> <p>7.11~23 第4回水文科学協会国際会議(横浜)</p> <p>8.4 オランダ「デルフト大学」R. A. Candansing 教授来日, 土木学会表敬訪問</p> <p>8.9 星谷勝, 「IASSAR Research Prize」受賞</p> <p>8.9 ドイツ「シュツトガルト大学」水工学研究所長 Helmut Kobus 教授講演「ドイツにお</p> | <p>5.7 中国四国支部の役員会で四国支部独立を決定, 95年度実現に向け努力することとなった</p> <p>9.8~10 西部支部が平成5年度全国大会開催に協力, 建設機械展, 学術振興基金受賞作品展など市民対象行事</p> | <p>1. - 青函トンネル先進導坑が貫通(全長53.8km)</p> <p>7. - 北海道南西沖地震(M=7.8)発生, 奥尻島住民ら津波などで死者200余人</p> <p>8. - 首都公団, 高速11号台場線のレインボーブリッジ(全長798m)完成</p> <p>8. - 名古屋高速鉄道第3号線全線完成</p> <p>10. - 羽田空港で新ターミナル完成</p> <p>*. - 建設省, 一般競争入札を本格導入</p> | <p>1. - EC市場統合(12ヵ国, 3億5000万)</p> <p>5. - 初のプロサッカー, Jリーグ開幕</p> <p>6. - 皇太子, 小和田雅子さまと「結婚の儀」</p> <p>6. - 政局混迷で円乱高下</p> <p>6. - 釧路で第5回ラムサール条約締約国会議</p> <p>8. - 38年間続いた自民政権に替わり細川日本新党代表の連立政権が発足</p> <p>*. - アメリカ, ミシシッピ川流域で大洪水</p> <p>*. - インドで大地震(M=6.4)発生 死傷者2万3400余人</p> |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|----------------------------|-----------------------|---|-----------------------|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | <p>ウム (講演 44 題)</p> <p>7.16 地域交通計画講習会 (講演 10 題)</p> <p>7.20 講習会「21 世紀に向けて技術開発の方向を探る」 (講演 6 題)</p> <p>7.20 コンクリート指針「高性能 AE 減水剤・膨張材・高炉スラグ骨材」講習会 (東京会場 講演 4 題)</p> <p>7.22 コンクリート指針「高性能 AE 減水剤・膨張材・高炉スラグ骨材」講習会 (大阪会場 講演 4 題)</p> <p>7.23 コンクリート指針「高性能 AE 減水剤・膨張材・高炉スラグ骨材」講習会 (広島会場, 講演 4 題)</p> <p>7.26~28 第 22 回地震工学研究発表会 (講演 223 題)</p> <p>7.27 コンクリート指針「高性能 AE 減水剤・膨張材・高炉スラグ骨材」講習会 (福岡会場 講演 4 題)</p> <p>7.28~20 第 28 回水工学に関する夏期研修会 (講演 18 題)</p> <p>8.3~4 第 2 回振動制御に関するコロキウム (講演 27 題, 依頼講演 13 題)</p> <p>8.3~4 第 21 回環境システム研究論文発表会 (講演 63 題, PS 11 題)</p> <p>8.19~20 第 27 回夏期講習会「最近の測量技術の動向」 (講演 4 題)</p> <p>8.24 鋼構造物の弾塑性性状と耐震設計法講習会 (東京会場, 講演 13 題)</p> <p>8.27 鋼構造物の弾塑性性状と耐震設計法講習会 (大阪会場, 講演 13 題)</p> <p>9.8~10 全国大会・第 48 回年次学術講演会 (九州産業大学) (発表論文 3 229 題, 共通 S 141 題, PS 39 題)</p> <p>9.9 北海道南西沖地震被害調査速報会 (9 題)</p> <p>9.30 美しい橋のデザインマニュアル-第 2 集-刊行記念講習会 (札幌会場, 講演 8 題)</p> <p>10.22 土木計画学研究委員会第 2 回国際セミナー-ドイツの都市・地域交通計画- (講演 1 題)</p> <p>10.25 美しい橋のデザインマニュアル-第 2 集-刊行記念講</p> | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|---------|---------|
| <p>ける飲料水と地下水源-汚染・戦略・研究の動向-(土木学会) 8.12~13 第6回構造安全性・信頼性国際会議「(ICOSSAR)」(インスブルック) 8.16~18 第9回せん断乱流国際会議(京都) 8.20 学術交流基金 “Study Tour Grant” 助成者 Mr. John L. Thompson 氏来日, 土木学会表敬訪問 8.23~27 国際津波シンポジウム(和歌山) 8.24 英国土木学会 Julianna Fejer 氏来日, 土木学会表敬訪問 8.26~27 「海洋エネルギー開発国際シンポジウム」(室蘭工大) 8.30~9.3 第25回国際水理学会会議 (IAHR) (東京・京王プラザホテル), 9.3に「バングラデシュ洪水に関するワークショップ」を併載 9.3 土岐憲三, 国土庁長官より防災功績者表彰を受ける 9.6 「今後の新たな港湾開発に対応するための水工学セミナー」(日本海運倶楽部) 9.8 スイス工学会 Dr. Babri-iel G. Minder 氏来日, 土木学会表敬訪問 9.12~19 「土木学会ミシシッピ川洪水調査視察団」派遣 団長: 高橋裕 (団員4名) 視察先: 米国・アイオワ州デューモント市, エイムス市, ダavenport市, ミズリー州セントルイス市ほか 9.29~10.13 第22回土木技術者のための海外調査団派遣 団長: 馬場俊介ほか 31名 訪問先: イギリス, ポルトガル, スペイン, スイス, フランス 10.7~8 第1回土木学会海外セミナー」(共催・バンコク) 10.19 間山正一, 「CME ベスト・ポスター賞」受賞 10.22 間山正一が「第1回エマルジョン世界会議 (CME)」(パリ)で CME ベストポスター賞を受賞 10.23 木村孟が, 東京工業大学学長に就任(任期4年間) 10.24~28 竹内良夫会長が, 1993年度 ASCE 年次大会(ダ</p> | | | |

| 年 | (社) 土 木 学 会 の 動 き | | | |
|---|----------------------------|-----------------------|---|-----------------------|
| | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| | | | 習会（東京会場，講演 8 題） 10.26～27 第 18 回土木情報システムシンポジウム（講演 43 題，PD 1 題） 10.27 合成構造用鋼材の利用に関する講習会（東京会場，講演 12 題） 11.2 最新の施工技術 11 講習会（講演 9 題） 11.8 コンクリート教育の可能性に関するシンポジウム（講演 28 題） 11.9 第 3 回地域シンポジウム－都市における廃棄物問題を総合的に考える－（フロアー討論 1 題） 11.9 合成構造用鋼材の利用に関する講習会（神戸会場，講演 12 題） 11.11～12 第 27 回土木計画学シンポジウム－高齢化社会の交通計画－（講演 18 題） 11.12 環境微生物工学研究法講習会（仙台会場，講演 5 題） 11.16～18 第 40 回海岸工学講演会（講演 236 題） 11.17 土木計画学研究委員会第 3 回国際セミナー－航空輸送システムの構造とサービス水準－（講演 1 題） 11.25 第 7 回建設コンサルタントシンポジウム（講演 6 題，PD 1 題） 11.25～26 第 3 回トンネル工学研究発表会（講演 15 題，報告 33 題） 12.1～3 第 16 回土木計画学研究発表会（講演 258 題） 12.9～10 第 11 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会（講演 38 題，PD 1 題） 12.9～11 第 30 回環境工学研究フォーラム（論文 33 題，自由投稿 発表セッション 33 題，新技術・プロジェクトセッション 16 題，国際セッション 1 題） 12.14～15 第 31 回システム最適化に関するシンポジウム（講演 45 題） 12.16 土木計画学研究委員会第 1 回ワイディセミナー－交通計画とマーケティングサイエンス技法－（講演 6 題） | |

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|--|-----|---------|---------|
| <p>ラス) および国際円卓会議へ出席</p> <p>10.25 オランダ Wagening 農業大学 Gatze Lettinga 教授 講演「下水処理におけるメタン発酵プロセスの現在及び将来の役割」(土木学会)</p> <p>10.25 Hans Georg Retzko ドイツ・ダルムシュタット工科大学教授講演会(土木会館 70名)</p> <p>10.28 英国土木学会 Dr. Roger D. Browne 氏来日, 土木学会表敬訪問</p> <p>10.28 米国 Clemson 大学 Prof. Willia A. Ward 教授 講演「途上国の開発環境問題セミナー」(土木学会)</p> <p>10. - 室田明会員が大阪産業大学学長に就任(任期4年)</p> <p>12.3 中瀬明男会員が平成5年(第40回)交通文化賞を受賞</p> <p>*. - 電源開発(株)のダム流木活用が「再資源化アイデアコンクール」で通産大臣賞受賞</p> | | | |

| 年 | 会 副 会 員 長 数 | 組 織 ・ 運 営 | 事 業 | |
|---------------|---|---|--|---|
| | | | 行 事 ・ 集 会 | 調 査 ・ 研 究 |
| 1994 (平成6) | 5.30 会 長 中村 英夫 副会長 河野 清 閔 厚 中川 博次 藤井 治芳 芳村 仁 会員数 | 1.27 会費を正会員(正会員である個人) 12 000 円, 学生会員 6 000 円に改訂を決定, 1994 年 4 月より実施 (10 年ぶり), 新規入会者から入会金 1 000 円を徴収 1.28 論文集購読料を I 部門 4 000 円 (据置), II-VI 部門 4 000 円に改訂, 4 月より実施 1.28 選定映画制度等に関する規程を一部改正, ビデオ作品も選定対象とし「土木学会映画・ビデオコンクール」と改称することに決定 1.28 全国大会参加費を 2 000 円 (現行 1000 円) に改訂, 投稿料は据置きと決定 3.18 会議, 委員会等の旅費規程を改訂, 近地交通費を廃止 4. - 学会誌 1994 年 5 月別冊増刊号に「土木学会地球環境行動計画-アジェンダ 21-」を登載 5.30 定款および規則を一部変更し文部省に申請, フェロー制度に関する規程承認 5.30 総会において安芸恒夫, 岩垣雄一, 若佐義朗, 勝田悦之, 川越達雄, 小坪清真, 円羽義次, 沼田 實, 濱 建介, 藤井敏夫, 村山朔郎, 森 麟, 吉田俊彌の 13 名を名誉会員推挙 5.30 NIIK テクノパワープロジェクトを特別表彰 (1993. 5~8・5 回放映の功績) 6.24 「衛生工学委員会」を「環境工学委員会」に名称変更を承認 | 1.20~21 第 9 回岩の力学国内シンポジウム(共催) (講演 131 題) 1.21 美しい橋のデザインマニユアル-第 2 集- 刊行記念講習会 (仙台会場, 講演 8 題) 1.21 落石等による衝撃問題に関する講習会 (講演 11 題) 1.25 第 12 回発設用ロボットに関する技術講習会 (講演 9 題) 1.28 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (宮崎会場, 講演 4 題) 1.31 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (福知山市会場, 講演 4 題) 2.1 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (東京会場, 講演 4 題) 2.3 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (八戸会場, 講演 4 題) 2.8 鉄筋のアモルファス接合継手設計指針 (案) 講習会-アモルファス接合のデモンストラーション- (講演 6 題) 3.18 第 6 回アゲールシンポジウム (講演 3 題) 3.18~19 第 38 回水理講演会 (講演 139 題) 3.25 第 7 回環境システムシンポジウム-環境基本法時代の展望- (講演 6 題) | 4. - フェロー制審査委員会 4. - 地下空間研究委員会 4. - 応用力学委員会 |

備考: 「土木一般」ならびに「社会一般」に掲げた事項は, 主として次の文献によった. (五老海 正和)

1. 日本土木史-昭和 16 年~昭和 40 年, 土木学会, 昭和 48 年 4 月
2. 土木工学ハンドブック (第 4 版), 土木学会, 1989 年 10 月
3. 土木系大学講義シリーズ 1. 土木工学序論, コロナ社, 1989 年 2 月 10 日
4. 近代総合年表 (第三版), 岩波書店, 1991 年 2 月 25 日
5. 20 世紀全記録 (クロニック), 講談社, 昭和 63 年 1 月 20 日
6. THE・日本, 講談社, 昭和 61 年 7 月
7. 以上のほか, 朝日年鑑, 読売年鑑等を随時参考にした.

| 表彰・海外交流・その他 | 支 部 | 土 木 一 般 | 社 会 一 般 |
|---|--|---------|---------|
| <p>1.10~14 「大水深波浪制御技術」(Wave Barriers 1994) 国際ワークショップ(運輸省港湾技研)</p> <p>1.24 眞柄泰基がタイ・チェンマイ大学より名誉博士号授与</p> <p>2. - カナダ土木学会 L. G. Jaeger 会長ら表敬訪問</p> <p>2.15 韓国土木学会「日本技術視察団」(株)北一開発代表理事 宋汝隻氏ほか 20 名, 土木学会表敬訪問</p> <p>4.29 北郷繁, 久保起, 竹内良夫が勲 2 等瑞宝章を受賞</p> <p>6.6 角屋睦が 1994 年度日本学士院賞に推挙される(極値水文学の展開と水利施設計画設計への応用に関する研究)</p> <p>6.9 山本三郎, 「第 1 回前田工学賞」受賞</p> <p>6.21 高橋裕, 「第 20 回明治村賞」受賞(土木初)</p> <p>10.12 篠塚正宣, ASCE の「Theodor von Karman Medal」受賞</p> | <p>5.30 中国と四国地方の分離案を総会で決議し文部省に定款一部変更を申請することに決定(四国支部は高松市に置く)。なお, 1995 年度全国大会は松山市開催が内定</p> | | |

付・関東支部（1963～93）年表

●1963（昭38）

5.11 第49回土木学会通常総会において定款3条（支部）を改正し関東支部の追加を承認（7支部となる）。事務局は本部総務課内とする。

●1964（昭39） 支部長 當山道三 幹事長 堺 毅

4.30 第1回通常総会（発明会館ホール）、9.10 東海道新幹線試乗式（東京～小田原間）に会員・家族880名が参加。ほか見学会1回、映画会3回。

●1965（昭40） 支部長 當山道三 幹事長 堺 毅

4.28 第2回通常総会（学会講堂）、講演会 6.18「海外進出の問題点（安芸岐一ほか、学会講堂）」、講習会2回 7.7「シールド工法の現状と問題点*（久保慶三郎ほか、発明会館）」、12.8「コンクリート混和剤（国分正胤ほか、学会講堂）」、セミナー 11.16～18「電子計算機（山本欣子・中村慶一、学会講堂・沖電気講堂）——アルゴリズムによるプログラミング*」、見学会3回、映画会7回。

●1966（昭41） 支部長 當山道三 幹事長 堺 毅

4.27 第3回通常総会（学会講堂）、講演会2回 4.27「エジプトの国土開発（太田尾広治、学会講堂）」、11.19「道路と交通（内海倫ほか、ニッショーホール）」、講習会3回 11.11「舗装*（高橋国一郎ほか、ヤマハホール）」、11.18「新しい工程管理*（加藤昭吉ほか、ニッショーホール）」、12.7～9「現場技術者のための測定技術*（中根博司ほか、学会講堂）」、見学会4回、映画会1回。

●1967（昭42） 支部長 松井達夫 幹事長 今井 勇

4.28 第4回通常総会（学会講堂）、講演会 12.5「首都圏の開発（八十島義之助ほか、学会講堂）」、講習会3回 10.12～13「構造物の基礎*（田村浩一ほか、ヤマハホール）」、10.17～18「新しい測定技術—写真測量を中心として*—（丸安隆和ほか、日本化学会講堂）」、11.17～18「近代的管理手法の活用*（加藤昭吉ほか、大和証券ホール）」、見学会3回、映画会5回。

●1968（昭43） 支部長 松井達夫 幹事長 今井 勇

4.27 第5回通常総会（学会講堂）、講演会2回 1.23「アジアの開発（川村満雄ほか）」、10.2「関門架橋と青函トンネル（村上永一・原島竜一）」[学会講堂]、講習会2回 11.5「新しい橋梁施工技術*（安井三雄ほか）」、11.13～14「シールド工法と沈埋工法の施工上の問題点*（西嶋国造ほか）」[安田生命ホール]、見学会2回、映画会5回。

●1969（昭44） 支部長 小林元像 幹事長 水谷充彦

（増村啓一郎）

4.26 第6回通常総会（学会講堂）、講演会2回 2.14「東京湾

の開発（今井勇ほか）」、12.4「東名高速道路の開通（池ノ上雅夫）」、「コンピュータ時代の土木技術（丸安隆和）」[学会講堂]、講習会 12.3「土留工法*（草野一人ほか、発明会館ホール）」、見学会1回、映画会1回。

▶44年度全国大会（9.26～30 都市センターほか）

特別講演会「土木技術者の使命（柳沢米吉）」、「地中における地震動（岡本舜三）」、「建設機械化の推移と今後の動向（伊丹康夫）」・部門講演5題、第24回年次学術講演会598題。PR映画会（安田生命ホール）。総会と全国大会を切り離し、大学紛争のため、麴町付近の4ビル13会場で分散開催[学会誌1969-12]。

●1970（昭45） 支部長 水越達雄 幹事長 佐藤友光

4.28 第7回通常総会（学会講堂）、講習会 12.2～3「土木構造物の新しい設計法*（岡本舜三ほか、紀伊国屋ホール）」、見学会2回、映画会4回。

●1971（昭46） 支部長 水越達雄 幹事長 藤井敏夫

4.28 第8回通常総会（学会講堂）、講演と見学会 2.5「国際空港情勢と成田空港（池田通弘、成田空港事務所）」、講習会 11.25「最近のコンクリートの話題*（三浦一郎ほか、学会講堂）」、見学会1回、映画会3回。

●1972（昭47） 支部長 水越達雄 幹事長 藤井敏夫

4.27 第9回通常総会（学会講堂）、講習会2回、2.16「最近の杭の話題*（藤田圭一ほか）」、9.20「最近の鋼材の話題*（上野誠ほか）」[学会講堂]、懇談会1回 8.4「環境問題と土木（児玉武彦、学会会議室）」、講演と映画会 10.27「外から見た土木技術者（阿部恂、曽野綾子）」、講演と座談会 12.8「コンサルタントの現状と課題（宮崎明ほか）」[学会講堂]、見学会2回、映画会5回。

●1973（昭48） 支部長 八十島義之助 幹事長 片山祐一

4.26 第10回通常総会（学会講堂）、講演会 9.28「自然環境の保全と最近の話題（丸安隆和、学会講堂）」、講習会2回 2.23「軟弱地盤の設計と施工の問題点（池田俊雄ほか、学会講堂）」、12.3「最近の建設機械の話題*（佐藤裕俊ほか、発明会館ホール）」、海外事情に関するシンポジウム3回 10.18「ベトナム（小田親ほか）」、11.15「ブラジル（竹内良夫ほか）」、12.13「イラン（吉井純行ほか）」[学会講堂]、見学会3回、映画会6回。

●1974（昭49） 支部長 八十島義之助 幹事長 片山祐一

4.19 第11回通常総会（学会講堂）、5.27「第1回年次研究発表会*（国立教育会館127題）」、講習会 8.16「土木構造物の最近の諸問題*（知久徳ほか、学会講堂）」、見学会3回、映画会9回。

●1975（昭50） 支部長 難波隼象 幹事長 大野利幸

1.21～22 第2回年次研究発表会*（国立教育会館132題）、5.12 第12回通常総会（学会講堂）、講習会3回 3.14～15「最

近における材料と施工法の話題* (野口功ほか, 学会講堂), 5.28「コンクリート示方書改訂 (村田二郎ほか, 朝日講堂), 11.28「最近の都市土木における諸問題* (田中康之ほか, 学会講堂)」、講演会 2 回 1.31「環境と土木 (村野賢成, 学会講堂)」、12.3「低成長経済の問題点 (穴戸寿雄, 学会講堂)」、見学会 2 回, 映画会 11 回。

●1976 (昭 51) 支部長 大島哲男 幹事長 大字照一
1.20~21 第 13 回年次研究発表会* (国立教育会館 137 題), 5.11 第 13 回通常総会 (学会講堂), 講習会 3.12「海外建設工事成功への鍵をさぐる (本部共催・赤塚雄三ほか, 学会講堂), 11.29~30「海外建設プロジェクトの進め方と成功へのポイント (本部共催, 佐藤光春ほか, 発明会館ホール), 映画会 3 回, 1.31「黒部の太陽, 国土をいかす知恵 (本部共催・ヤマハホール)」ほか, 見学会 2 回, 懇談会 1 回。

▶51 年度全国大会 (10.8~11 東京工業大学ほか)
特別講演会「学校における土木技術者教育 (最上武雄)」、「お雇い外国人と日本の土木技術 (村松貞次郎)」、部門別講演会 3 題, 研究討論会 4 題, 第 31 回年次学術講演会 1286 題, 映画会, 懇親会 (東工大職員食堂), 見学会 1 コース [学会誌 1979-12]。

●1977 (昭 52) 支部長 大島哲男 幹事長 大字照一
1.17~18 第 14 回年次研究発表会* (国立教育会館 116 題), 4.28 第 14 回通常総会 (学会講堂), 講習会 2 回 3.4「最近の施工管理に関する諸問題* (野崎収ほか)」、7.28~29「失敗例と対策による基礎工事の諸問題* (吉田巖ほか) [学会講堂], 講演会 2 回 4.18「地震予知と都市の防災 (大竹政和・佐藤俊一, 学会講堂)」、11.25「建設事業の海外進出 (笹沼允弘・宮崎昭二, 学会講堂)」、見学会 2 回, 懇談会 1 回。

●1978 (昭 53) 支部長 堺 毅 幹事長 島山伸一
1.17~18 第 5 回年次研究発表会* (国立教育会館, 特別講演 1 題, 105 題), 4.25 第 15 回通常総会 (学会講堂), 講習会 2 回 6.8~9「薬液注入工法* (大島重利ほか)」、10.12~13「機械土工の施工計画と問題点* (京牟礼和夫ほか) [学会講堂], 講演会 3 回 11.22「エネルギー問題と土木 (堺屋太一・千秋信一, 学会講堂)」、11.16~18 第 25 回海岸工学講演会 (本部共催 130 題, 神奈川県勤労会館)」、12.12「設計を対象とした構造材料の強度と信頼性 (共催・山口柏樹ほか, 工学院大学), 見学会 5 回, 映画会 5 回, 懇談会 1 回。

●1979 (昭 54) 支部長 堺 毅 幹事長 島山伸一
1.17~18 第 6 回年次研究発表会* (国立教育会館 99 題), 4.16 第 16 回通常総会 (学会講堂)・5.23 新潟会設立総会 (新潟東映ホテル), 講習会 2 回 6.26~29「現場土木技術者のための仮設構造物の計画と施工 (本部共催・野崎収ほか)」、11.28「最近における耐震設計の諸問題* (伯野元彦ほか) [学会講堂],

講演会 11.26「最近の都市問題 (波部与四郎・伊藤善市, 学会講堂)」、見学会 2 回, 映画会 9 回, 懇談会 1 回。

●1980 (昭 55) 支部長 堺 毅 幹事長 島山伸一
1.16~17 第 7 回年次研究発表会* (国立教育会館 94 題), 5.2 第 17 回通常総会 (学会講堂), 講習会 4 回 5.19~20「最近におけるコンクリート工学の諸問題 (国分正胤ほか, 第一生命ホール)」、6.17~20「現場土木技術者のための仮設構造物の計画と施工 (長瀧重義ほか)」、10.2~3「建設プロジェクトの分析と評価 (長尾満ほか) [以上は本部共催, 学会講堂], 11.20~21「首都圏における土地利用と交通に関する現状と問題* (泉達雄ほか, 学会講堂)」、講演会 12.15「首都東京の 20 年後の都市交通 (八十島義之助, 学会講堂), 見学会 2 回, 映画会 5 回 (他に毎月第 2 土曜日・本部共催)。

●1981 (昭 56) 支部長 安藤道夫 幹事長 赤木俊允
1.13~14 第 8 回年次研究発表会* (国立教育会館 104 題), 4.30 第 18 回通常総会 (学会講堂), 講習会 5 回 4.16~17「関東地方の土質と土木技術* (三木五三郎ほか, 学会講堂), 8.26~27「航空写真のみかた・利用のしかた (本部共催・丸安隆和ほか, 全共連ビル), 9.8~9「土木工事の積算と実際 (本部共催・西野文雄ほか, 久保講堂), 10.16「コンクリート構造の限界状態設計法試案 (後援・国分正胤ほか, 第一生命ホール)」、11.19「建設施工技術の現状と動向 (河野彰ほか, 学会講堂), 講演会 11.5「北陸豪雪と土木技術 (諸里正典ほか, 長岡文化会館)」、見学会 4 回, 映画会 2 回。「56 豪雪の記録」を新潟会より刊行。

●1982 (昭 57) 支部長 多田宏行 幹事長 赤木俊允
1.26~27 第 9 回年次研究発表会* (国立教育会館 98 題) 5.6 第 19 回通常総会 (学会講堂), 講演会 3 回 6.15「ザイルの吊橋工事 (後援・村上温, 学会講堂)」、10.1「Biutal 港建設工事 (高力健次郎ほか, 主婦会館)」、11.24「上越新幹線のトンネルと軟弱地盤対策 (共催・大貫富夫ほか, 新潟市), 講習会 2.21~22「管理者のための小型コンピュータ入門と利用* (安田寿明ほか, 学会講堂)」、見学会 2 回, 映画会 3 回。

●1983 (昭 58) 支部長 多田宏行 幹事長 茨木龍雄
1.12~13 第 10 回年次研究発表会* (国立教育会館 88 題) 5.2 第 20 回通常総会 (学会講堂), 講演会 7.6「海外における建設技術者 (高田邦昭, 学会講堂)」、見学会 1 回, 映画会 11 回 (本部共催を含む)。懇談会 1 回。11.26「新潟会第 1 回研究発表会 (25 題・新潟大学)」

▶58 年度全国大会 (9.28~30・関東学院大学ほか)
特別講演会「鉄道高速化のゆくえ (高橋浩二)」、「アメリカ合衆国における土木工事の失敗例 (J. ウィードマン)」、「歴史の中の自然 (司馬遼太郎)」、研究討論会 7 題, 第 38 回年次学術講演会 1651 題, 見学会 3 コース, ビデオ・映画会, 懇親会 (H. ホリディー・イン横浜), 展示会「横浜市の土木

事業展」(関東学院大) [学会誌 1983-12]

●1984 (昭59) 支部長 多田宏行 幹事長 茨木龍雄

1.11~12 第11回年次研究発表会(国立教育会館78題), 5.1 第21回通常総会(主婦会館), 講習会2回 1.25~26「熟年者のためのパーソナルコンピューター入門(富士通)」, 11.9「新設計法に関する講習会*(池田尚治ほか, 学会講堂)」, 講演会2回 4.20「海外建設工事3題(大和文哉・佐藤光春・笹沼充弘, 主婦会館)」, 3.26「土木工事と新素材(太田健二)」, 「にいがた夢ものがたり(小林正久)[新潟会共催・イタリヤ軒]」, 9.20「東京湾横断道路の概要(多田宏行)」, 「京都インクライン物語(田村喜子)[主婦会館]」, 見学会2回, 映画会10回, 懇談会2回, 「59豪雪の記録」を新潟会より刊行。10.27「新潟会第2回研究発表会(45題・長岡技大)」。

●1985 (昭60) 支部長 多田宏行 幹事長 茨木龍雄

3.15~16 第12回技術研究発表会(新潟大学・特別講演1題, 119題・見学会) 5.9 第22回通常総会(主婦会館), 講習会2回 3.5~6「建設廃棄物に関する問題*(入江登志男ほか, 主婦会館)」, 10.28「土と防災(宮沢清治ほか, 主婦会館)」, 見学会4回, 映画会11回。10.26「新潟会第3回研究発表会(37題・新潟大学)」。

▶学会創立70周年記念関連

特別講演会2.9「先端技術の社会的意義(林雄二郎)」, 「中国の経済と建設事情(小林実)」, 「地域と交通(八十島義之助)」 「学会製作映画・明日を創る人と技術」[主婦会館]・2.27記念講演と映画の会「克雪について(広瀬利雄, 新潟東映ホテル)」

●1986 (昭61) 支部長 中瀬明男 幹事長 高柳義隆

3.11~12 第13回技術研究発表会*(足利工業大学・特別講演2題, 119題・懇親会・見学会) 5.9 第23回通常総会(主婦会館), 講習会3回 2.28「セスムについて*(三輪匡ほか, 主婦会館)」, 11.17・12.5「コンクリート標準示方書制定に伴う講習会(岡村甫ほか, 前橋市・新潟市)」, 講演会3回 2.1「気象予測の变せんと将来(山本孝二)」, 「レーダー雨量計について(武田宏)」, 「建造物と時間(江藤淳)」[私学会館], 5.21「これからの国土建設と山梨(山本三郎)」, 「将棋と土木(米長邦雄)[山梨文化ホール]」, 11.26「湖水誕生をめぐって(水越達雄・曾野綾子, 主婦会館)」, 見学会2回, 映画会17回(本部共催を含む)。10.25「新潟会第4回研究発表会(46題・長岡技大)」

●1987 (昭62) 支部長 岩橋洋一 幹事長 高柳義隆

4.8~9 第14回技術研究発表会*(山梨大学・特別講演2題, 137題・懇親会・見学会) 5.8 第24回通常総会(主婦会館), 講習会3回 1.29「維持管理分野の現状と展望(栢原英郎ほか, 主婦会館)」, 2.6・11.6「コンクリート標準示方書制定に伴う講習会(岡村甫ほか・山梨県民ホール・海運クラブ)」, 講演会

10.8「リモートセンシングとあいまい工学(丸安隆和)」, 「間宮林蔵をめぐって(吉村昭)」[主婦会館], 見学会3回, 映画会6回, 懇談会18回(本部共催を含む)。11.14「新潟会第5回研究発表会(39題・長岡高専)」

●1988 (昭63) 支部長 岩橋洋一 幹事長 西川 肇

3.10~11 第15回技術研究発表会*(東洋大学工学部, 特別講演2題, 164題・見学会・懇親会) 5.18 第25回通常総会(主婦会館), 5.19 山梨会発足, 講習会2回 3.9「建設廃棄物に関する講習会*(綿貫茂ほか, コクヨホール)」 11.21「都市NATMの設計と施工(土木の日関連・吉村恒ほか, 全共連ビル)」, 講演会 10.13「美しい橋のデザイン(大野美代子)」, 「都市の色彩環境(尾崎真理)」[主婦会館], 見学会3回, 映画会13回(共催を含む)。懇談会3回。10.29「新潟会第6回研究発表会(58題・新潟大学)」

▶支部創立25周年事業(5.12)

記念講演会「ビル需要と25年後の東京(石沢卓志)」, 「東京湾横断道路と25年後の首都圏(岡田哲夫)」[主婦会館], 祝賀会 私学会館, [記念出版物] GRAND DESIGN (1988.5)

▶第1回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

土木系学生との対話集会(11.18), 記念講演会2題, 見学会・映画会(11.19), 群馬県講演会(11.16), 山梨会見学会(11.19)

●1989 (平1) 支部長 山口甚郎 幹事長 西川 肇

3.28~29 第16回技術研究発表会(木更津高専, 特別講演3題, 202題・見学会・懇親会・土木技術フェア) 5.16 第26回通常総会(主婦会館), 7月群馬会発足, 講習会3回 3.3「都市計画概論(依田和夫ほか, コクヨホール)」 9.22「土木技術フロンティア3題(高木肇・原田宏・水谷敏則)」 12.1「新しい潮流と土木への期待(共催・鈴木忠義ほか, 津田ホール)」, 講演会2回 7.1「京都インクライン物語(田村喜子)・群馬県建設会館」, 7.6「土木の魅力・やりがいと(多田宏行)・土浦市民会館」, 映画会15回(共催を含む), 懇談会等4回。11.11「新潟会第7回研究発表会(62題・長岡技大)」(89.6) 土木学会新潟会10周年誌

▶第2回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

見学会(11.17), 記念講演会2題(11.21), 土木系学生との対話集会(11.22), [地域行事]群馬会 講演会2回(11.10・22), 山梨会見学会(11.25)。新潟会 街頭キャンペーン(11.18), 見学会2回(11.24・28), 屋外文字放送と懸垂幕によるPR(10.18~11.18)

●1990 (平2) 支部長 松延正義 幹事長 西川 肇

3.13~14 第17回技術研究発表会*(法政大学工学部, 特別講演2題, 168題・留学生討論会・懇親会・見学会・企業展示), 5.15 第27回通常総会*(主婦会館), 講習会2回 2.26「土木技術者に求められる資質と素養*(渡辺重幸ほか, 全共連ビ

ル)], 9.27「土木景観 Landscape and Civic Design* (中村良夫ほか, 全共連ビル)], 見学会2回, 映画会17回(共催を含む), 懇親会4回.

▶第3回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

記念講演会2題(11.15), 土木系大学生との対話集会・シンポ(11.16), 見学会(11.17, 29), 夢とくらしコンテスト入賞作品展示(11.29共催), [地域行事]群馬会シンポ(11.17), 写真展(10.20~22), 講演会(11.17), 山梨会・見学会(11.17)

▶平成2年度全国大会(9.30~10.2新潟大学ほか)

特別講演会「日本の道路(浅井新一郎)」, 「日本が熱帯であったころ(津田禾粒)」, 第45回年次学術講演会2600題・ポスターS93題, 研究討論会11題, 懇親会, 学生懇談会, 映画会, 見学会4コース. [市民参加行事] 記念シンポジウム(9.29ステキな土木へ, 女性からの提言), 9.30記念講演会「信濃川の流れに挑んだ人々(田村喜子)」, 「二十一世紀のゆたかさの構造(草柳大蔵)」[新潟県民会館], 9.27~10.2おもしろDOBOKU展[新潟大和デパート]. [学会誌1991-2付録]

●1991(平3) 支部長 岡村 甫 幹事長 織田直正

3.8「新潟会第8回研究発表会(69題・長岡技科大)」3.19~20第18回技術研究発表会*(群馬大教養部, 特別講演2題, 183題, 懇親会・見学会・展示会) 5.15 第28回通常総会(主婦会館) 9.23~10.4 第1回技術調査団(ヨーロッパ・団長 駒田敬一ほか24名), 講習会4回 2.26「土木技術者に求められる資質と素養(第2回)*(渡辺重幸ほか, アルカディア市ヶ谷), 11.27・12.2・12.13「コンクリート標準示方書の改訂およびコンクリート技術の今後の動向(長瀧重義ほか, 新潟自治会館・前橋建設会館, 山梨県民ホール), 見学会2回, 映画会10回(共催を含む), 懇親会2回. 10.26「新潟会第9回研究発表会(64題・新潟大学)].

▶第4回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

屋外文字放送と懸垂幕によるPR(10.18~11.18), 見学会2回(11.18・22), 映画会1回(11.9), 展示会2回(3.9・4

~15, 11.14・15), [地域行事] 山梨会・見学会1回, 群馬会・講演会2回, 新潟会・写真展, 街頭PR, 見学会3回.

●1992(平4) 支部長 池田尚治 幹事長 織田直正

3.13~14 第19回技術研究発表会*(関東学院大, 182題, 懇親会・見学会・展示会, シンポジウム「土木の自己評価」4名, 優秀発表者表彰5名) 5.20 第29回支会通常総会(主婦会館) 10.1~14 第2回技術調査団(アジア・オセアニア, 団長 岡村甫ほか14名), 講習会1回 2.17「土木技術者に求められる資質と素養(第3回)*(7題, アルカディア市ヶ谷), 見学会3回, 映画会9回(共催を含む), 企画助成テーマ11件, [地域行事] 懇親会1回. 11.4「新潟会第10回研究調査発表会」(研究討論会1, 特別講演会1, 87題, ハイブ長岡), 山梨会・群馬会, 新潟会などで講演会, 映画会, 見学会など

▶第5回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

見学会2回(11.14, 11.18~26), [地域行事] 山梨会・見学会1回, 群馬会・講演会1回, 映画会2回, 体験ツアー1回, 新潟会・おもしろ土木展(11.18~23ジャスコ) 見学会2回.

●1993(平5) 支部長 関 厚 幹事長 三木千寿

3.12~13 第20回技術研究発表会*(千葉工大, 特別講演1, 見学会, 懇親会, 展示会, 映画会, シンポジウム「東京湾の環境と土木」4名, 優秀発表者表彰4名). 5.19 第30回支会通常総会(主婦会館)・講習会1回 3.5「土木技術者に求められる資質と素養(第4回, 6題, アルカディア市ヶ谷), 見学会1回, 懇親会2回. 11.9「新潟会第11回研究調査発表会(研究討論会1, 特別講演会1, 83題・ハイブ長岡), (地区行事) 群馬会, 山梨会, 新潟会など

▶第6回「土木の日」「くらしと土木の週間」関連

見学会7回(11.13, 11.5~25), [地域行事] 群馬会・講演会, 映画会各1回, 見学会2回, 座談会1回, 山梨会・見学会1回, 新潟会・講演会1回, 見学会3回.

* 刊行物あり